



RHYTHM PROGRAMMER

**RY9**

OWNER'S MANUAL

取扱説明書

# 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いを発生することが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

- △ 記号は、危険、警告または注意を示します。
- ⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
- 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

\* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。

浴室や雨天時の屋外など湿気が多いところで使用しない。また、本体の上に花箱や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。

電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおい煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

電源は必ず交流 100V を使用する。エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

電源アダプターを使用する場合は、指定の電源アダプター(PA-3B)以外を使用しない。(異なった電源アダプターを使用すると)故障、発熱、発火などの原因になります。

手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。感電やショートのおそれがあります。

## 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

電源アダプターコードをストープなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。

タコ足配線をしてない。音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。

使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電、ショート、発火などの原因になります。

乾電池はすべて + / - の極性表示通りに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。

乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)と一緒に使用しない。発熱、発火、液漏れの原因になります。

乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入ると破裂するおそれがあります。

使い切りタイプの乾電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。

長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

乾電池は子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)に、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。感電または機器の損傷のおそれがあります。

直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストープの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に湿度が極端に低いところ、またはほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。

不安定な場所に置かない。機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。コードをいためたため、お客様が転倒したりするおそれがあります。

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。聴覚障害の原因になります。

## 作成したデータの保存について

乾電池が入っていない場合、または電源アダプターが接続されている場合は、電源を切ってもRY9のメモリーがバックアップされます。乾電池も電源アダプターもない状態で、メモリーが初期化(工場出荷時の状態)されます。大事なデータは別売のヤマハ MIDI データファイラー-MDF3などに保存されることをおすすめします。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。また、使用済みの乾電池は、各自体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

## はじめに

このたびは、ヤマハリズムプログラマー RY9 をお買い求めいただきまして、  
まことにありがとうございます。

RY9 は、ハンディサイズのコンパクトなボディの中に 200 種類にもおよぶ  
バラエティあふれるリズム / パッキングパターンと、洗練された 128 種類のドラムボイスを  
はじめ多彩なパッキング用ボイスを満載しています。さらにギターシンセサイザーや  
チューナー機能までも内蔵しており、コストパフォーマンスの高いリズムプログラマーです。

またシンプルなデザインと操作性を兼ね備えた RY9 は、場所を選ばず、  
いつでも気軽に音楽制作をお楽しみいただけます。

RY9 の優れた機能を使いこなしていただくために、  
この取扱説明書をご活用いただきますようご案内申し上げます。

また、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備え、  
この取扱説明書を大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

## 取扱説明書の使い方

取扱説明書は、大きくマンガ編とリファレンス編の  
2 つにわかれています。

### マンガ編

マンガを読み進めていくだけで、RY9 の基本的  
な概念や特長を一通り理解していただけるように  
構成してあります。まず、最初にご覧ください。

### リファレンス編

RY9 の全機能について細かく解説しています。  
わからないところや、調べたいところを、辞書の  
ように探してお使いください。

調べたい用語や機能を探すとき、

「目次」( P5)

「50音順索引」( P124 )

「アルファベット順索引」( P124 ) をお使  
いになると便利です。

## RY9 の同梱品

乾電池(単 3 × 6 本)

(梱包箱の底に入っています。お確かめください)

取扱説明書

保証書

## 表記について

本書では、次に示すアイコンを使用しています。

 **NOTE** その機能に関する補足説明を示してい  
ます。

 **HINT** その機能に関する応用例や、使い方のヒ  
ントを示しています。

 その機能を使う上での重要な注意を示  
しています。

## 音楽を楽しむエチケット



これは日本電子  
機械工業会「音  
のエチケット」  
キャンペーンの  
マークです。

楽しい音楽も時と場所によっては、  
大変気になるものです。隣近所へ  
の配慮を充分にいたしましょう。静  
かな夜間には小さな音でもよく通  
り、特に低音は床や壁などを伝わり  
やすく、思わぬところで迷惑をかけ  
てしまうことがあります。夜間の演奏  
には特に気を配りましょう。窓を閉め  
たり、ヘッドフォンをご使用になるの  
も一つの方法です。お互いに心を  
配り、快い生活環境を守りましょう。

## RY9 の全体構成

RY9には全部で128種類のドラムボイス(打楽器音色)があり、その中から選んだドラム系ボイス12種類+パーカッション系ボイス12種類=24種類をひとつのグループにしています。これをドラムキットと呼びます。プリセットのドラムキットがジャンル別に12グループ用意されています。また、自分で好きなドラムボイスを割り当て、4グループまでオリジナルのキットを登録しておくこともできます。

128種類のドラムボイスから作られたリズムパターンと多彩なバックギング(伴奏)をあわせて、1つのパターンになります。バックギングは、プリセットで、ベース、コード1、コード2で構成されています。

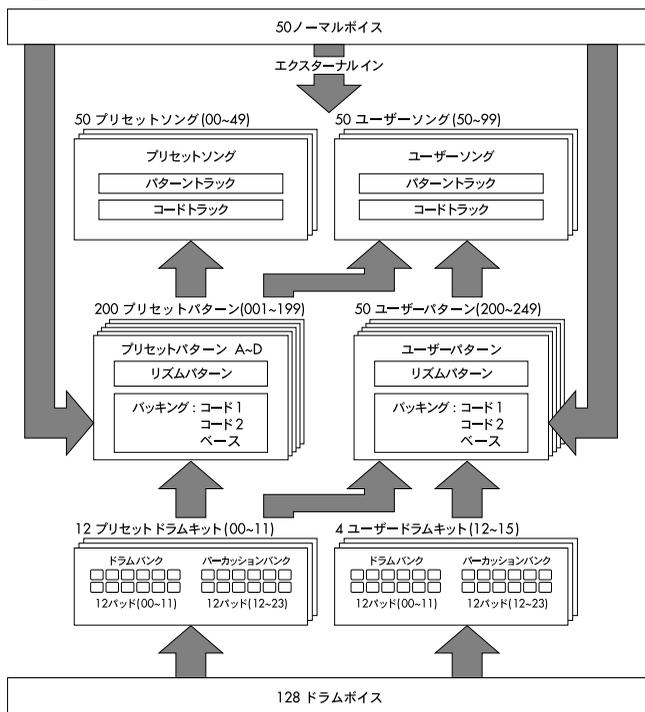
パターンはあらかじめ200種類(50タイプ×4セクション)のリズムパターンと各リズムパターンにマッチした200種類のバックギング(伴奏)を組み合わせてプリセットされています。その他にオリジナルのリズムパターンを50種類作成することができ、好きなバックギングと組み合わせて登録することができます。

これらのパターンにコード(和音)を設定して順番に並べていったものが1つのソングになります。コードはそれぞれのコードルートと24種類のコードタイプを組み合わせて設定します。

もともとプリセットパターンを使った50種類のプリセットソングが用意されていますが、すべてのパターンの中から好きなものを使って、50種類のオリジナルソングを別々に作成/登録することができます。

さらに、外部からエレクトリックギターの信号を入力して50種類のノーマルボイスを使った演奏も楽しめます。

### RY9 の構成図



# 目次

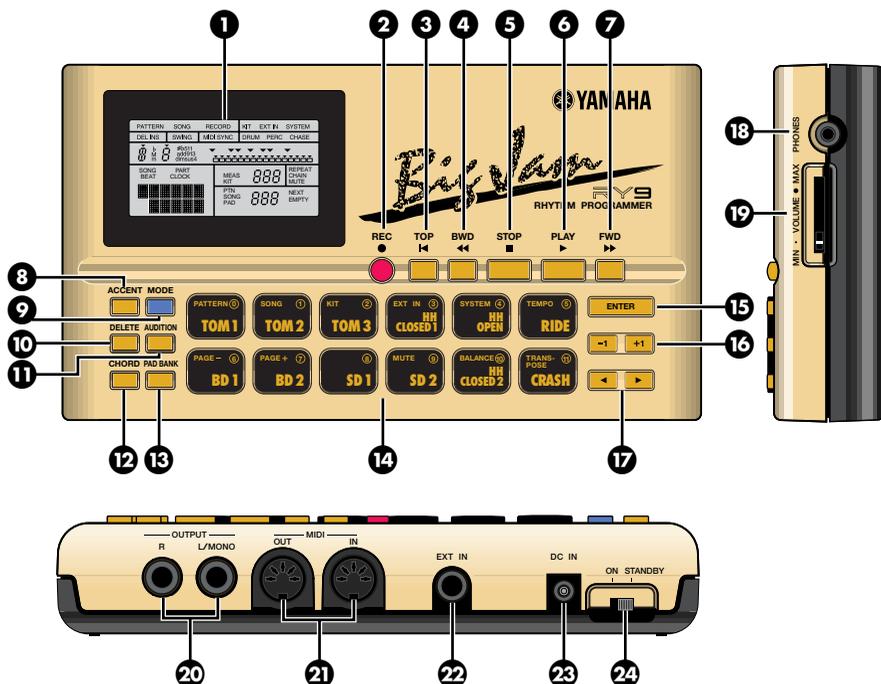
---

はじめに .....	3
RY9 の全体構成 .....	4
各部の名称と機能 .....	6
音を出す準備 .....	8
電源の準備 .....	8
電源 ON について .....	8
接続のしかた .....	9
RY9 クイックガイド .....	10
<b>マンガ編</b> <b>RY9 STORY</b> .....	<b>14</b>
<b>リファレンス編</b> .....	<b>65</b>
RY9 のモードについて .....	66
ドラムパッドについて .....	68
パターンモード (PATTERN) .....	69
パターンプレイモード .....	69
パターンレコードモード .....	74
ソングモード (SONG) .....	80
ソングプレイモード .....	80
ソングレコードモード .....	85
ドラムキットモード (KIT) .....	92
エクスターナルインモード (EXT IN) .....	98
システムモード (SYSTEM) .....	102
テンポモード (TEMPO) .....	107
ミュートモード (MUTE) .....	108
バランスモード (BALANCE) .....	109
トランスポーズモード (TRANPOSE) .....	110
<b>資料編</b> .....	<b>111</b>
LCD ディスプレイメッセージ .....	111
故障かなと思ったら .....	112
仕様 .....	113
ドラムボイスリスト .....	114
ノーマルボイスリスト .....	115
ドラムキットリスト .....	116
パターンリスト .....	118
MIDI データフォーマット .....	120
MIDI インプリメンテーションチャート .....	122
索引 .....	124
ユーザーサポートサービスのご案内 .....	125

\* この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。  
\* 「MIDI」は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。

# 各部の名称と機能

## フロント/サイド/リアパネル



- 1** LCD(液晶ディスプレイ)  
さまざまなデータや情報が表示されます。
- 2** REC(レコード)キー  
パターン/ソングの録音を開始します。  
RECキーを押すと、LCDの最上段に“RECORD”が表示されます。
- 3** TOP(トップ)キー  
パターン/ソングの先頭に戻します。
- 4** BWD(巻戻し)キー  
このキーを押すたびにソングの現在の位置を1パート(1小節)ずつ前に戻します。パターンプレイモード時にこのボタンを押すと、小節の先頭に戻ります。また、パターン/ソングのステップ録音時に入力位置を戻すときにも使います。
- 5** STOP(ストップ)キー  
パターン/ソングの演奏、リアルタイム録音を停止します。
- 6** PLAY(プレイ)キー  
パターン/ソングの演奏を開始します。また、リアルタイム録音を開始します。一度STOPキーで演奏を停止したあともう一度PLAYキーを押した場合、停止した位置から演奏がスタートします。
- 7** FWD(早送り)キー  
このキーを押すたびにソングの現在の位置を1パート(1小節)ずつ後に進めます。パターンプレイモード時にこのボタンを押すと、小節の先頭に戻ります。また、パターン/ソングのステップ録音時に入力位置を進めるときにも使います。

**8** ACCENT(アクセント)キー( P68, 80)  
ドラムパッドでドラムボイスを鳴らすときやパターン録音時にアクセント(音の強弱)をつけることができます。ドラムキットモードでドラムパッドごとにアクセントレベルを調節することができます。

**9** MODE(モード)キー( P68)  
このキーと特定のドラムパッドを押すことによって9種類のモードを選択したり、モードの中のいろいろな機能を選択することができます。

**10** DELETE(デリート)キー  
パターンレコードモードではカーソル位置の不要なドラムボイスデータやアクセントデータをデリート(削除)します。ソングレコードモードでは、カーソル位置のコードデータをデリートすることができます。

**11** AUDITION(オーディション)キー( P77)  
パターン録音時に実際にドラムボイスを入力する前に音色やアクセントを確認することができます。

**12** CHORD(コード)キー( P71, 89)  
このキーを押すとバックアップ用のコード(ルート / タイプ)指定機能になります。もう一度押すとコード指定機能から抜けます。

**13** PAD BANK(パッドバンク)キー( P68, 93)  
このキーを押すたびに12個のドラムパッドに割り当てられている音色を、一斉にドラムボイスがパーカッションボイスに交互に切り替えることができます。

**14** ドラムパッド( P68)  
ドラムパッドをたくさんこすことで、各ドラムパッドに割り当てられているドラムボイスを鳴らすことができます。各ドラムパッドには好きなドラムボイスを割り当てることができ、演奏したり、パターンを録音するのに使用します。また、MODEキーを押しながら、各モードやモードの中の機能を選択する場合にも使用します。( P68)

**15** ENTER(エンター)キー  
選択したデータを実際に入力したり、コピー / デリートを実行することができます。

**16** [+1]/[-1]インクデックキー  
パターンやソングを選択したり、さまざまなデータの値を増加(+1)、減少(-1)させることができます。(押し続けると連続的に変化します。)

**17** [◀]/[▶]カーソルキー  
LCD内のカーソル(点滅表示箇所)を上下、左右に移動させます。カーソルを移動することによって、いろいろな項目を選択することができます。

**18** PHONES(ヘッドフォン)端子( P9)  
ヘッドフォンを接続する端子(ミニステレオ)です。

**19** VOLUME(ボリューム)スライダー( P9)  
RY9のヘッドフォンの音量やアウトプットL/R端子からの出力レベルを調節します。MAXで最大です。

**20** OUTPUT L/MONO, R(アウトプット左 / モノラル、右)端子( P9)  
外部オーディオシステムやミキサーなどにオーディオ信号をステレオ出力します。モノラル出力の場合は、L/MONO端子をご使用ください。端子からの出力音量は、VOLUMEスライダーで調節します。

**21** MIDI IN/OUT(ミディイン / アウト)端子( P9)  
外部MIDI機器と接続して、MIDI情報を送 / 受信することができます。

**22** EXT IN(エクスターナルイン)端子( P9)  
エレクトリックギターを接続する端子です。パターンやソングに合わせてギター演奏したり、チューナー / ギターシンセサイザー機能を使用することができます。

**23** DC IN(ディーシーイン)端子( P8)  
(DC IN 12V)  
別売の電源アダプター(PA-3B)をご使用になる場合に接続します。乾電池が入っている場合でも、電源アダプターを使用すると、自動的に乾電池接続から電源アダプター接続に切り替わります。

**24** ON/STANDBY(オン / スタンバイ)スイッチ( P8)  
電源のオン / オフを行います。



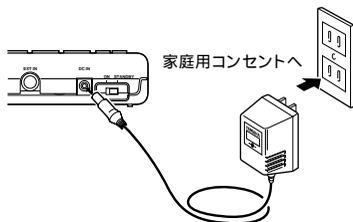
スイッチが「STANDBY」の状態でも微電流が流れています。RY9を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。

# 音を出す準備

## 電源の準備

### 電源アダプター(別売)でご使用になる場合

本体の ON/STANDBY(オン / スタンバイ)スイッチが STANDBY になっていることを確認して、別売の電源アダプター(PA-3B)を本体リアパネルの DC IN 端子に接続します。

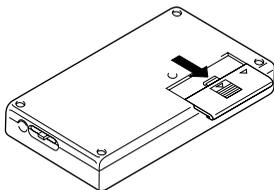


電源アダプターは必ず別売の PA-3B をお使いください。他の電源アダプターをご使用になりますと、故障の原因となり、たいへん危険です。また、長時間ご使用にならないときは、電源アダプターをコンセントから外してください。

### 乾電池でご使用になる場合

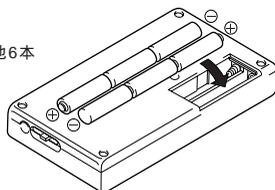
1. 本体の ON/STANDBY(オン / スタンバイ)スイッチが STANDBY になっていることを確認します。

2. 本体裏側のバッテリーカバーを、→ 表示の方向に押ししてスライドさせ、取り外します。



3. 市販の単3乾電池6本を、本体裏側の +/- の表示に合わせて正しくセットします。

単3乾電池6本



4. バッテリーカバーを、手順 2. と逆にスライドさせ、閉めます。

**NOTE** 乾電池が消耗して寿命が近づいてくると、LCD に “ BATT LOW ” というメッセージが表示されます。



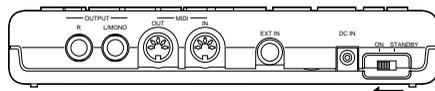
消耗した電池を使用すると、誤動作やデータ破壊の原因となりますので、すぐにすべて新しいものとお取り替えください。なお、大変危険ですので、乾電池は新しいものと古いもの、種類の違うもの(アルカリとマンガンなど)、メーカーの違うものを一緒に使用しないでください。また、長期間ご使用にならない場合は、乾電池を本体から抜いてください。



乾電池が入っている場合、または電源アダプターが接続されている場合は、電源を切っても RY9 のメモリーがバックアップされます。乾電池も電源アダプターもない状態では、メモリーが初期化(工場出荷時の状態)されます。大事なデータは別売のヤマハ MIDI データファイラー MDF3 などに保存されることをおすすめます。

## 電源 ON について

乾電池、または電源アダプターを正しくセットし、本体リアパネルの ON/STANDBY(オン / スタンバイ)スイッチを ON にしてください。LCD に “ YAMAHA RY9 ” の表示が現れた後、パターンモードの状態になります。



スイッチが「STANDBY」の状態でも微電流が流れています。RY9 を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。

## 接続のしかた

### オーディオ接続

RY9のOUTPUT L/MONO, R(アウトプット左/モノラル、右)端子とオーディオシステムやキーボードアンプのLINE IN(ライン イン)端子を市販のオーディオ変換ケーブルで接続します。モノラル接続の場合は、RY9のL/MONO端子をご使用ください。

### ヘッドフォンの接続

RY9のPHONES(ヘッドフォン)端子にミニステレオタイプのヘッドフォンを接続します。RY9を一人で楽しんだり、屋外で使うときに便利です。



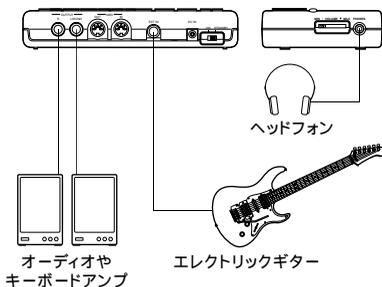
オーディオ機器との接続は、すべての機器の電源を切った上で行ってください。また、スピーカー保護のために、RY9の電源を入れたあと、オーディオシステムの電源を入れるように心がけてください。また、電源を切る場合は、オーディオシステムの電源を先に切ってください。

### エレキギターとの接続

RY9のEXT IN(エクスターナルイン)端子とギターのOUTPUT(アウトプット)端子を市販のギターケーブルで接続します。



ギターとの接続は、RY9とギターのボリュームを両方とも下げた状態で行ってください。接続したあとはRY9のボリュームをある程度まで上げ、それからギターのボリュームを徐々に上げて好みの音量に調節します。

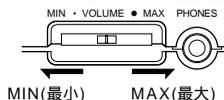


### ボリューム調節

本体サイドパネルにあるボリュームスライダーを動かし、音量を調節します。



いきなり大きな音が出ないように最初はスライダーを小さめにセットし、実際に音を聞きながら上げていくようにしてください。

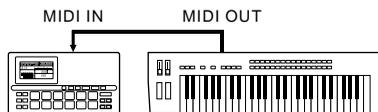


### MIDI 接続

MIDI IN/OUT 端子はMIDI信号(デジタル信号の一種)を送信 / 受信するために使われる端子で、専用のMIDIケーブルを使って以下のように接続します。

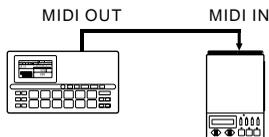
#### 接続 1.

RY9のMIDI IN端子と他のMIDI機器のMIDI OUT端子をMIDIケーブルで接続します。この接続で、コンピュータやシーケンサーなどの外部MIDI機器を使ってRY9をコントロールすることができます。



#### 接続 2.

RY9のMIDI OUT端子と他のMIDI機器のMIDI IN端子をMIDIケーブルで接続します。この接続で、RY9やRY9に接続したギターで他のMIDI音源を演奏したり、RY9のデータをヤマハ MDF3などのデータファイラーへ送ったりすることができます。



**NOTE** RY9のMIDI機能についてはP102のシステムモードで説明しています。

# RY9 クイックガイド

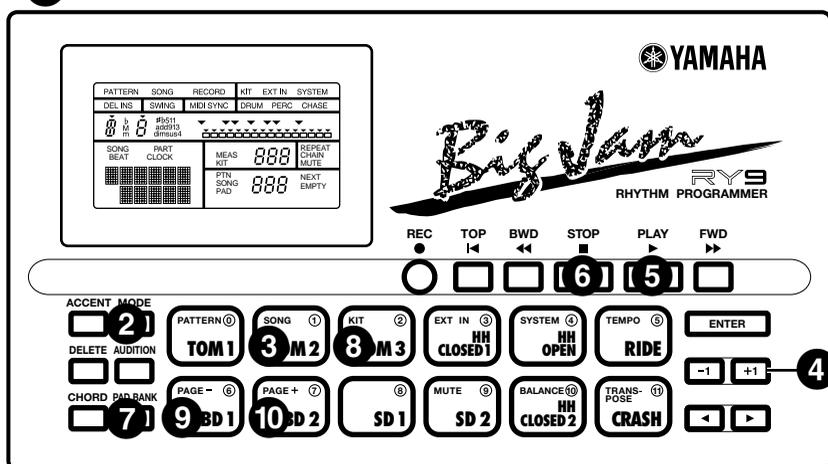
## スイッチON!

接続を確認して電源①をONにします!

(接続 P9)

(電源について P8)

①



## デモソングを聞いてみよう ( P80 )

まずはデモソングを再生させて、RY9のパワフルなサウンドをさっそく楽しんでみましょう。

1. MODE(モード)キー②を押しながらドラムパッド1(SONG)③を押します。これでソングモードに入ります。
2. [+1]キー④を押し続け、LCDの左下側に“ DEMO ”を表示させます。“ DEMO ”は一番最後のソングナンバー“ 99 ”の次に表示されるようになっています。
3. PLAY(プレイ)キー⑤を押すと、デモソングの演奏が始まります。
4. STOP(ストップ)キー⑥を押すとデモソングの演奏が止まります。  
もう一度PLAY(プレイ)キー⑤を押すと、停止した位置からデモソングの演奏が続きます。

SONG		DRUM		CHASE	
SWING					
A	M 7				
SONG	PART	MEAS	---	REPEAT	---
---	---	BFN	---		---
DEMO					

# ドラムパッドをたたいてみよう ( P 68 )

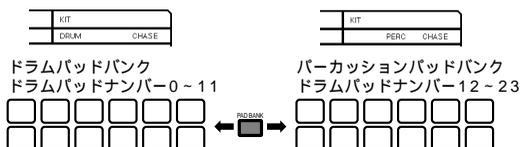
12個のドラムパッドにはそれぞれ多彩なドラムボイス(打楽器音色)が割り当てられています。これらは電源をONにした後ならどのモードにいるときでも、たたいて演奏することができます。さっそく、各ドラムパッドに割り当てられているサウンドを鳴らしてみましょう。

## パッドバンクを選ぶ

各ドラムパッドには、それぞれドラム系とパーカッション系の2種類ずつのボイスが割り当てられています。PAD BANK(パッドバンク)キー⑦を押すたびに、これら12個のパッドを一齐にドラム系のボイスかパーカッション系のボイスに交互に切り替えることができます。

この12種類のドラム系ボイス+12種類のパーカッション系ボイス=24種類をひとまとめにしたものをドラムキットと呼んでいます。

現在選ばれているパッドバンク(DRUMまたはPERC)は、LCD上段に表示されます。



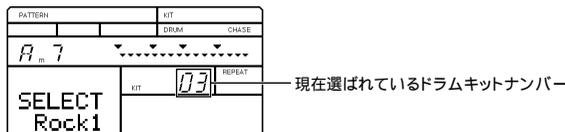
## ドラムキットを選ぶ

現在選ばれているドラムキットは、どのパターンが選ばれているかによって決まります(チェイス機能オン時 P97)。

ドラムキットは、プリセットドラムキット12種類+ユーザードラムキット4種類=計16種類があり、ドラムキットモードで好きなキットに切り替えることができます。

1. MODE(モード)キー②を押しながらドラムパッド3(KIT)⑧を押します。これでドラムキットモードに入ります。

ドラムキットの選択画面は、ドラムキットモードの最初のページにありますが、別のページが開く場合がありますので、その場合はMODE(モード)キー②を押しながらドラムパッド6(PAGE-)⑨またはドラムパッド7(PAGE+)⑩を何度か押し、ドラムキットの選択画面(SELECT)を表示させます。

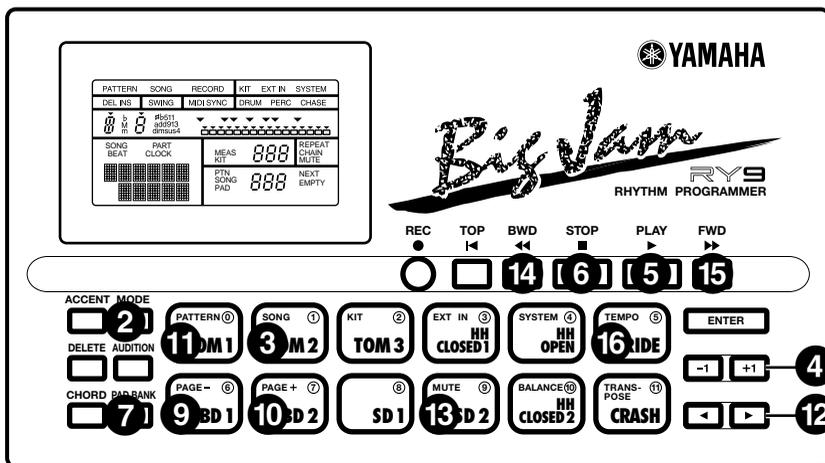


2. [+1]または[-1]キー④を押して好きなドラムキットナンバーを選びます。00番から11番までが、あらかじめ用意されているドラムキット(プリセットドラムキット)、12番から15番までがユーザードラムキットです。

**NOTE** 工場出荷時には、プリセットドラムキットの00番から03番と同じ内容が、ユーザードラムキット(12番から15番)に割り当てられています。

**NOTE** 各ドラムキットの内容について詳しくはドラムキットリスト( P116)をご参照ください。





# ソングを鳴らしてみよう ( P 80 )

RY9には、さまざまなリズムパターンとバックイングを組み合わせで作られた、50種類のプリセットソングが用意されています。代表的な音楽スタイルをカバーしていますので、音楽制作や楽器練習に活用すると便利です。

## ソングを選んで鳴らす

1. MODE(モード)キー②を押しながらドラムパッド1 (SONG)③を押します。これでソングモードに入ります。

ソングの選択機能は、ソングモードの最初のページにありますが、別のページが開いている場合は、MODE(モード)キー②を押しながらドラムパッド6(PAGE-)⑨またはドラムパッド7(PAGE+)⑩を何度か押して、最初の画面を表示させます。

現在選ばれている  
ソングナンバー

SONG		DRUM		CHASE
A	6	-----		
SONG	PART	MEAS	REPEAT	
00	001	000		
Rck1A		PTH	000	

2. LCDの“ SONG ”(ソング)が点滅している状態で、[+1]または[-1]キー④を押して好きなソングナンバーを選びます。“ SONG ”のすぐ下に表示された00番から49番までが、あらかじめ用意されているソング(プリセットソング)です。なお、50番から99番は、オリジナルソングを録音するエリアです(P85)。

**NOTE** “ SONG ”の表示が点滅していない場合は、◀ / ▶カーソルキー⑫を押してカーソル(点滅しているところ)を“ SONG ”に合わせてください。

3. PLAY(プレイ)キー⑤を押すと選んだソングの演奏が始まります。
4. STOP(ストップ)キー⑥を押すとソングの演奏が止まります。PLAY(プレイ)キー⑤をもう一度押すと、停止した位置からソングの演奏が続きます。

**NOTE** 演奏停止中にTOP(トップ)キー⑧を押すと、ソングの先頭に戻ります。

**NOTE** 演奏停止中にBWD(巻戻し)キー⑭やFWD(早送り)キー⑮を押して、ソング演奏を始めるパート(小節)を選ぶことができます。

**NOTE** ソングの演奏中/停止中を問わず、リズムパターンを変えたり( P82)、リズムパターンを変えずにバックイングだけを変えたりすることができます( P81)。

原作：藤岡洋

YOH FUJIOKA

画：山桃浩司

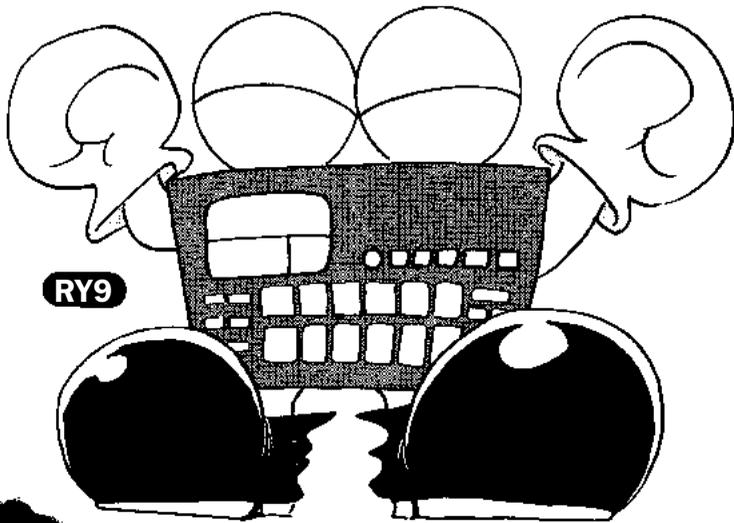
KOJI YAMAMOMO

バリバリ

弾き男

マンガ編





RY9

— 四角い憎いあんちくしょう —

# RY9 STORY

RY9 ストーリー

おやし

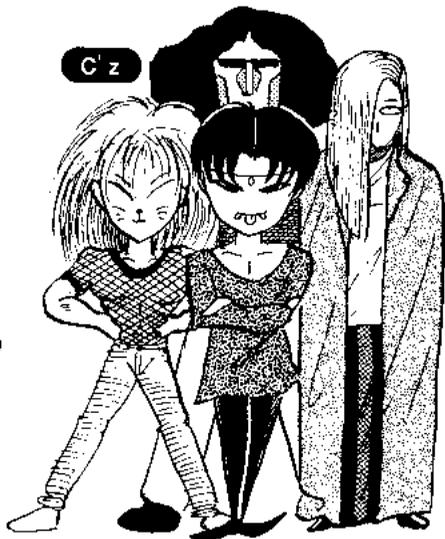


ロディ

夢香ちゃん



C'z



しやうじあ!!!





イツパああつ!!!



オレっのう  
歌はっ  
いっだつてっ

イエッ

元気炸裂!!  
サイコーさっ!!





バリバリよ  
しよせん  
おまえは井の中の  
カエルのウンコ以下の  
ゾーリ虫

おれたちC'zの  
テキではない

夢香ちゃんは  
もらっていくぞ



やーいやーい  
くやしかったら  
4人バンド  
つくってみろ~

てっ  
てめえー  
までコラC'zっ!!



何してんだ  
ボケッ!!

ぐわっち  
ちよっと  
まって

早く  
帰れ

ひっこめ  
ヘタクソ



だっだっ  
誰か

失格

×人間

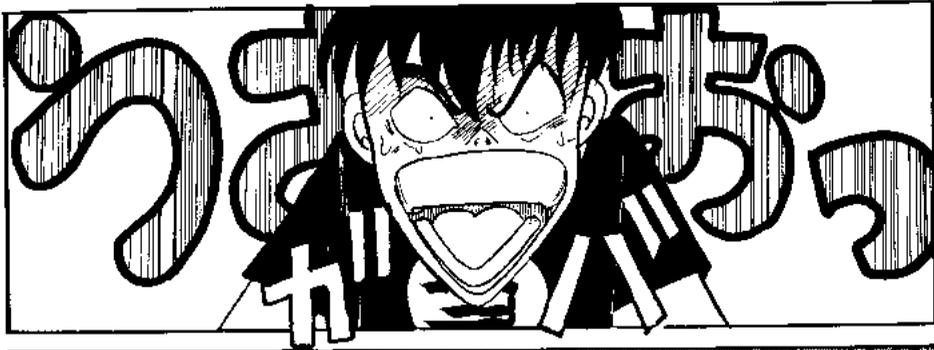
不合格

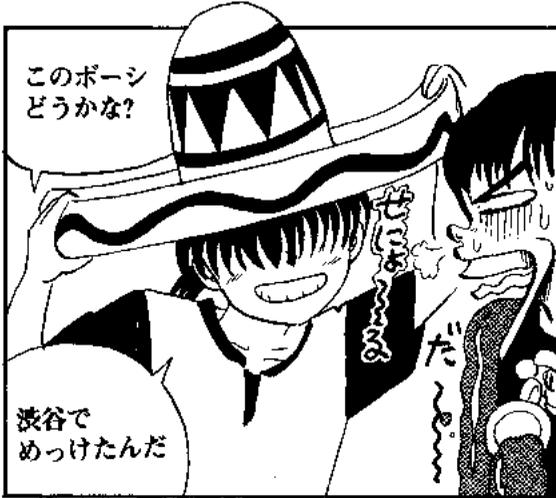
助けて



手をかすぞな  
少年よっ!

OH!  
ありがたや







よお



おい!

明日の  
予約ある?



シカトしてんじゃ  
ねーよ!このヤロ

えっ?  
ああ

何か?



てめーら  
ちっと金とルックスが  
あるからって  
いい気になんよ

いいか!!  
米週  
ロックコンテストの  
優勝は!!

必ず!!

このバリバリ率いる  
超硬派バンド  
パリスが  
いただくかな!!



ええ!!  
そりゃー  
大変だあ!!

オレたち  
絶対  
負けちゃうな

すごい  
強敵が  
現れた  
もんだ

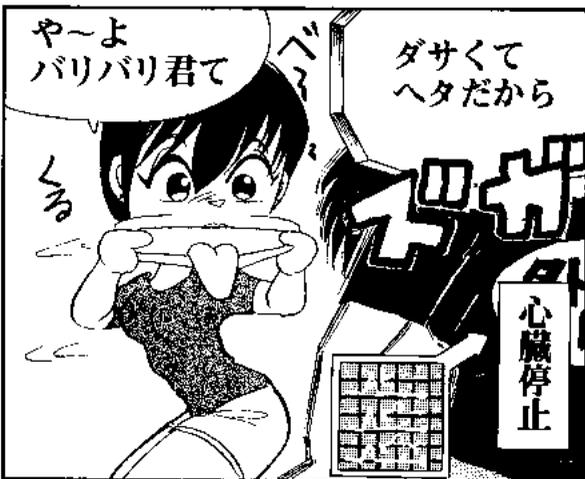


なんだその  
ヨユー全開な  
態度はア!!

すた  
すた  
すた

はなせ!  
オレは  
あーいうのが  
大きらい  
なんだあつ

よしなって



ちくしょー  
こうなったら

なにがなんでも  
ビッグになって

当

夢香ちゃんの  
ハートをつかんで  
やるぜ

Czを  
見返して

ムリムリ  
それより  
このポーシ  
どうかな?

バケツでも  
かぶっとれ

意気込みは  
わかるけどさ

ボクたちって  
バンドとして  
大きな欠点か  
あんだよね

なんだよ?  
言ってみろ

ドラムと  
ベースが  
いない

んなこと  
十億年前から  
わかってんだよ

ふげげ

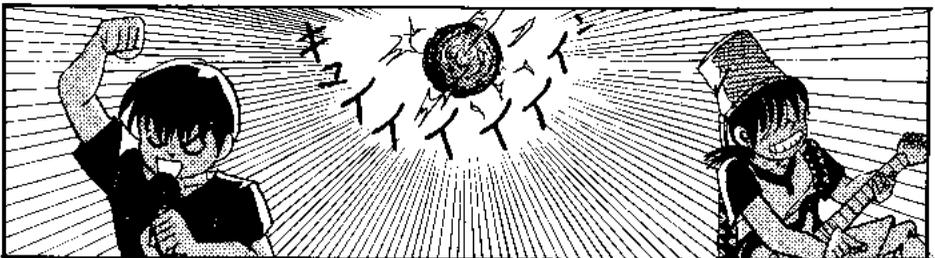
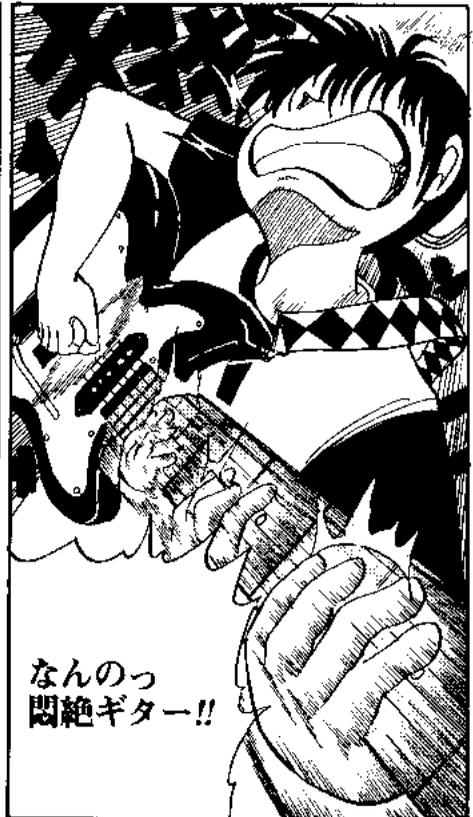
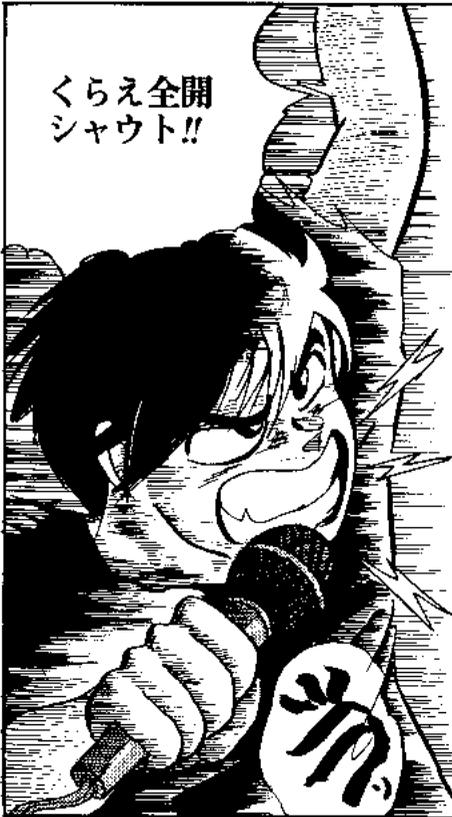
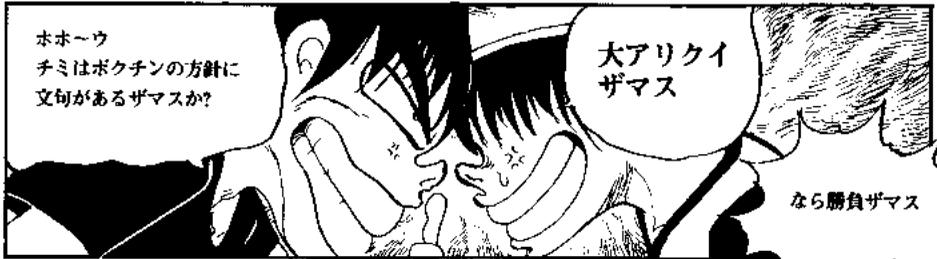
ずいずい

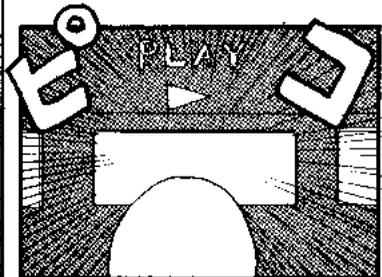
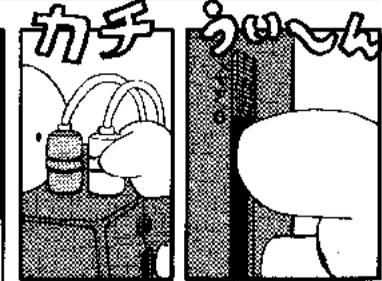
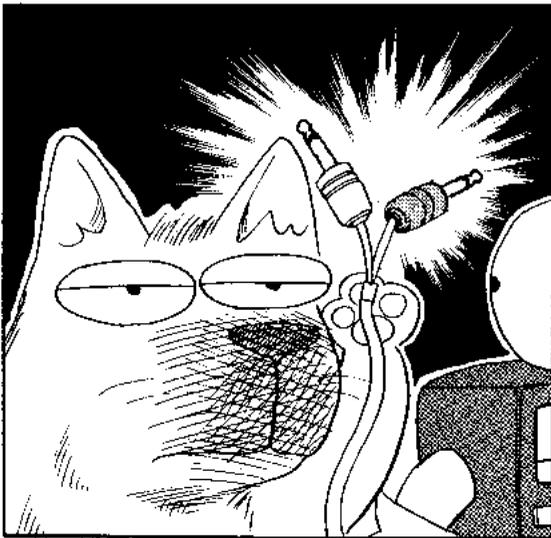
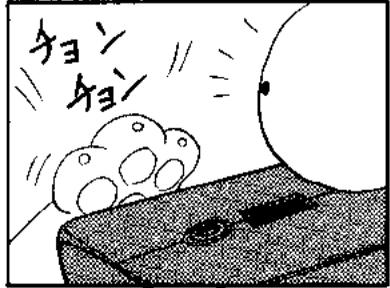
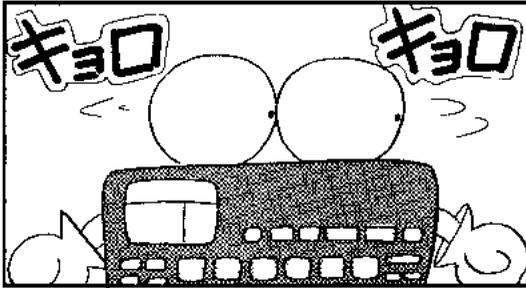
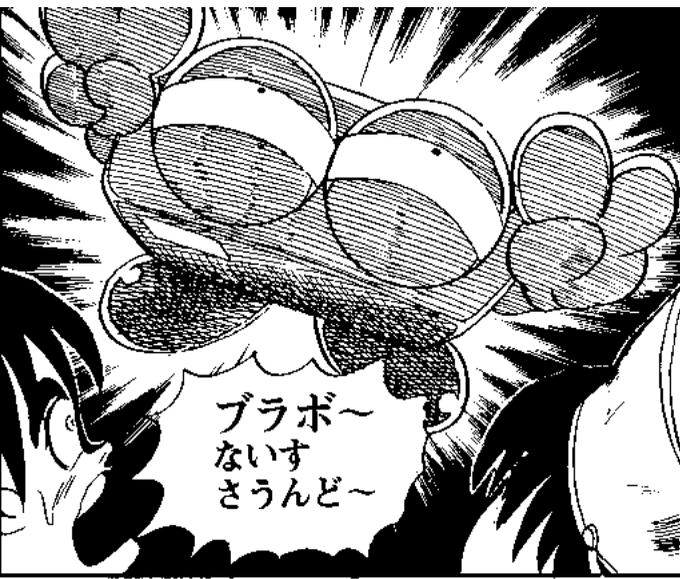
だからちゃんと  
募集だって  
してるだろ

求ム!

気合と根性  
は絶対必要

あんな運動部  
みたいので  
来るもんか





聞いて驚け  
尊敬しろ!!

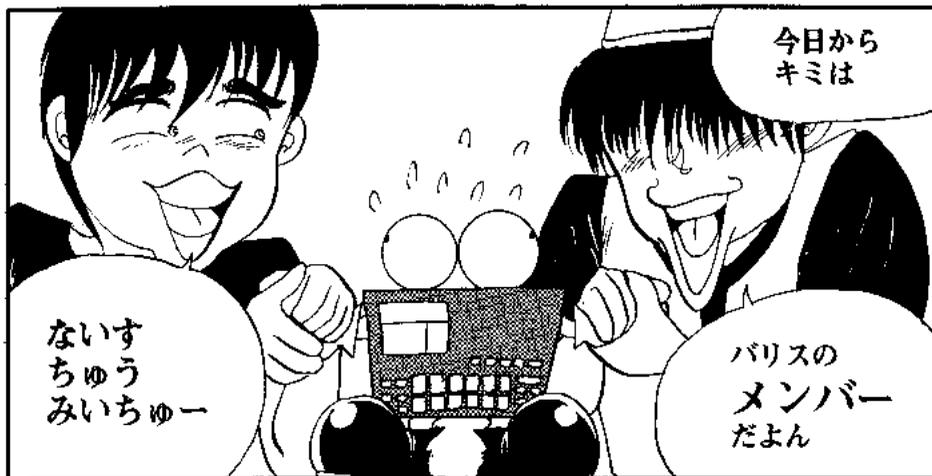
ワシこそは  
全宇宙一の  
ミュージシャン

次元を  
越えて  
やってきた

RY9様  
であ〜る!!

スゲエ!!  
コイツ一人で  
いろんな音を  
自由自在に!!

しかもテクも  
あるっ!!



今日から  
キミは

ないす  
ちゅう  
みいちゅー

パリスの  
メンバー  
だよん



どおしよ  
かなあ

バンドの  
かけもちとか  
忙しんだよね  
いろいろ

ここここ  
このヤロー

おさえろ!!  
おさえろんだ  
パリパリ

ふ〜む

ほらワシって  
人気者だしさ  
テクもあっから

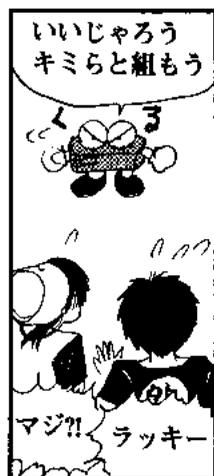
キミたち  
ボクのレベルに  
ついてこれる?



じゃが…  
あの少年の歌が  
ワシのハートを  
ゆさぶったのも  
また事実

うがへ

ふーむ



いいじゃろう  
キミらと組もう

くろ

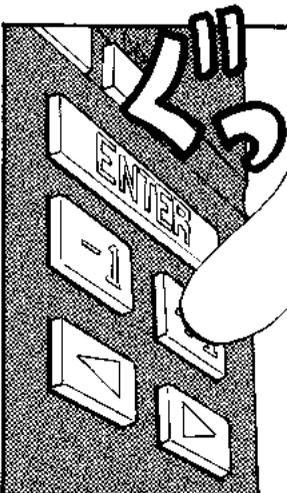
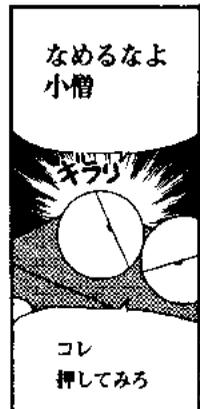
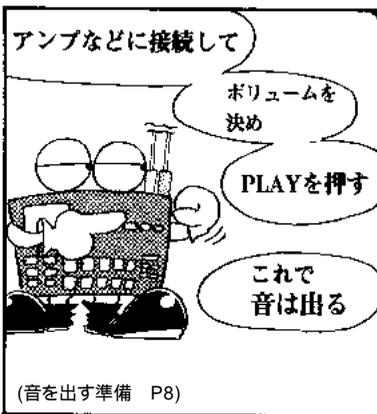
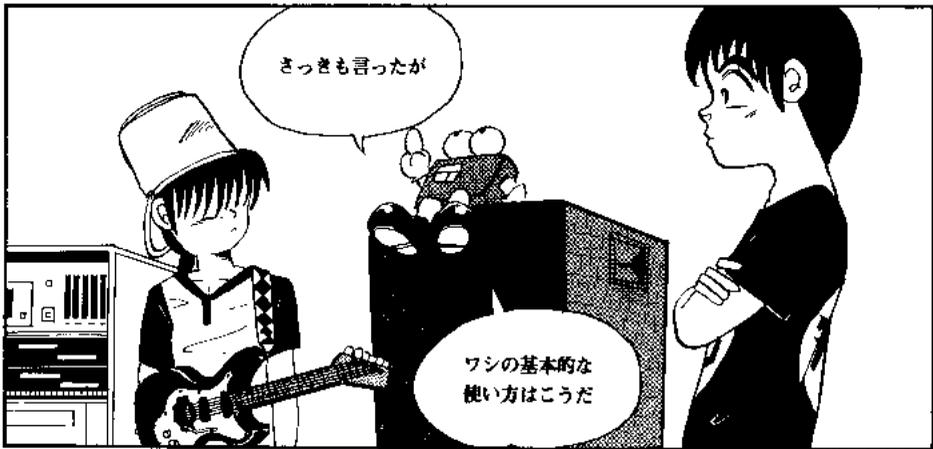
マジ!! ラッキー

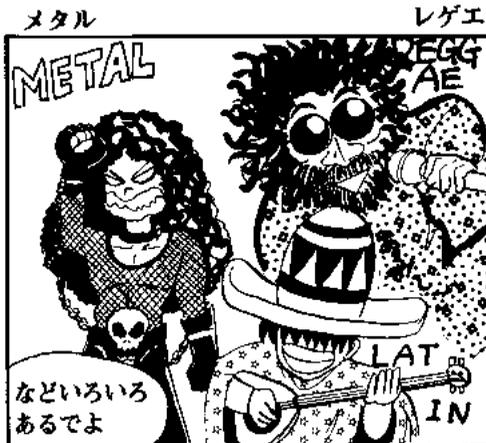
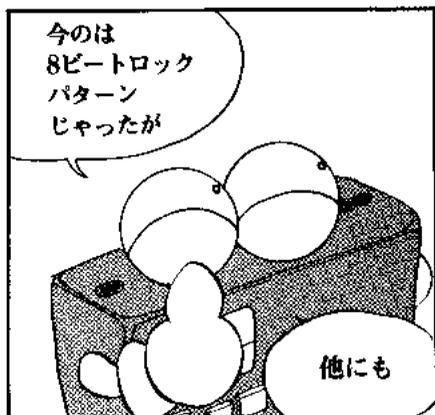


ついて来い!!  
ワシの事を  
もっと知って  
もらわねば

なーんか  
えらそーだぞ  
コイツ

しーっ  
いーだろ  
この際





(パターンリスト P118)

ラテン



ズバリ、  
パターンとは

リズムパターン

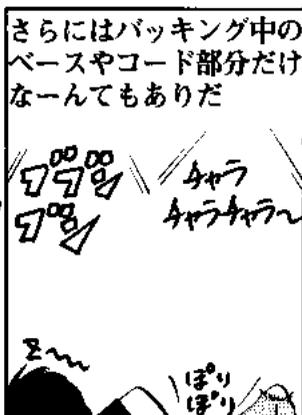
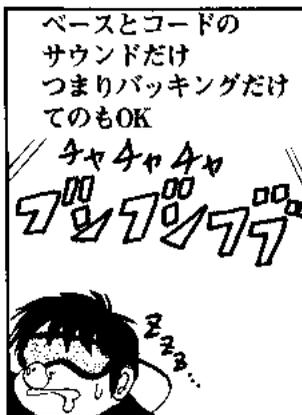
+

バックギンク  
(ベース、コード1、コード2)

リズムパターンと、  
ベースやコード1、2から  
できたバックギンクが  
一つになったものって  
ワケだな  
重要なのはこの2つが  
それぞれ独立している  
ということ!!

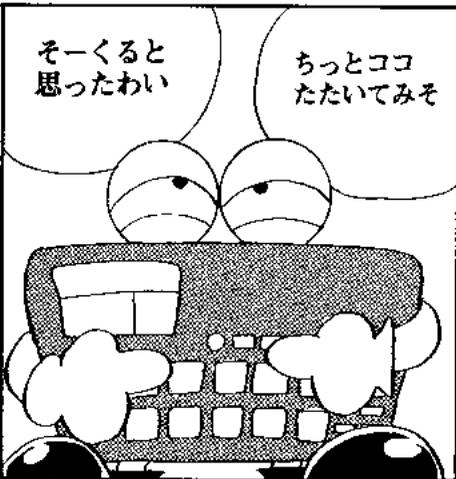
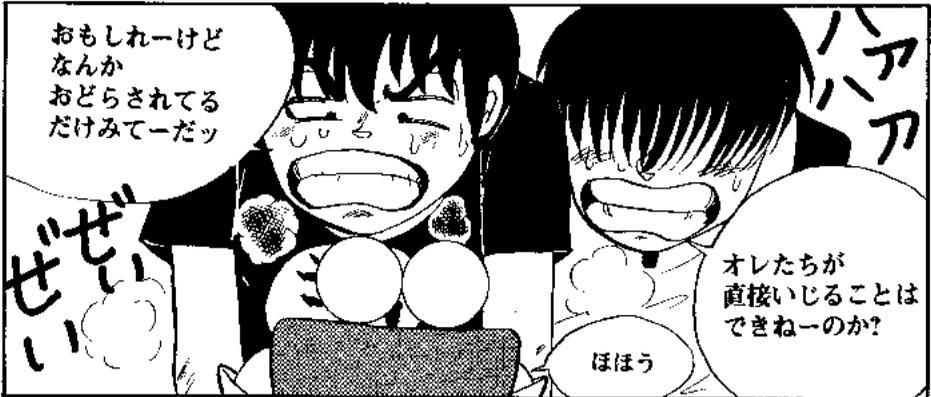


(バックギンクの変更 P71)

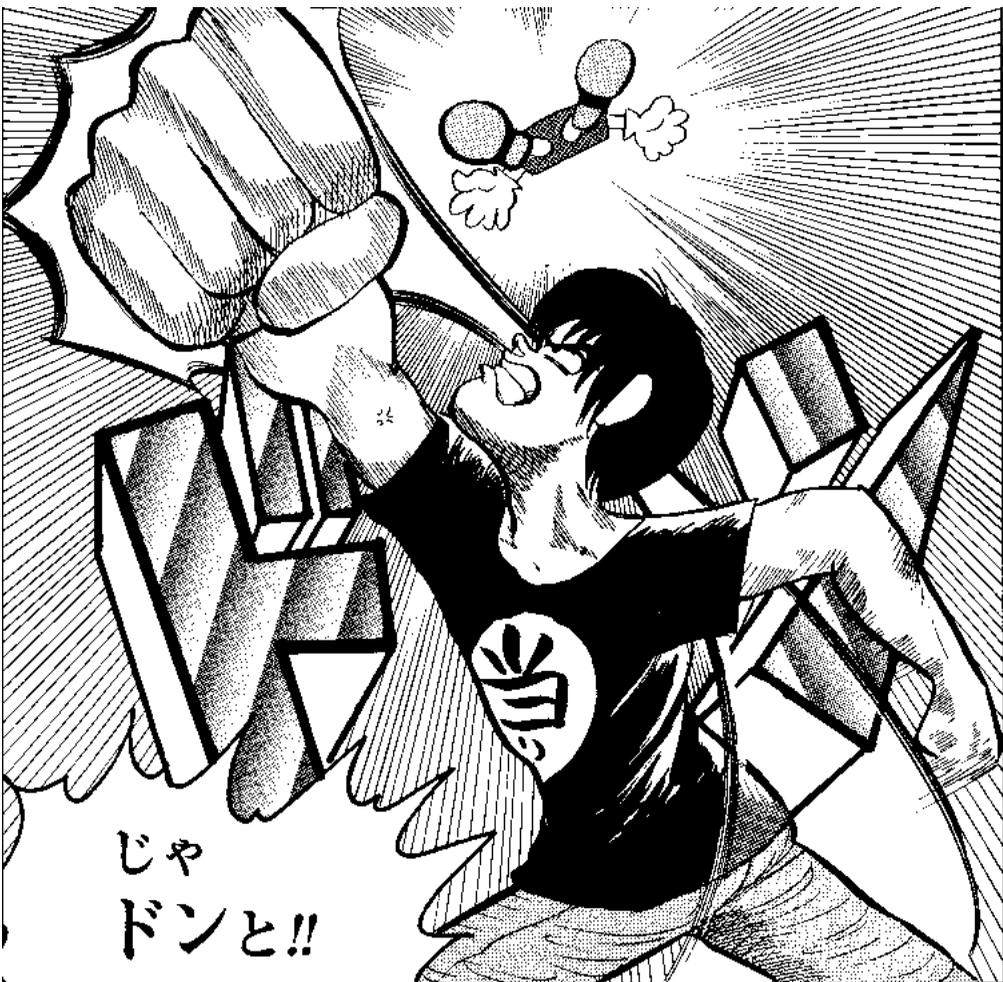


(ミュートモード P108)

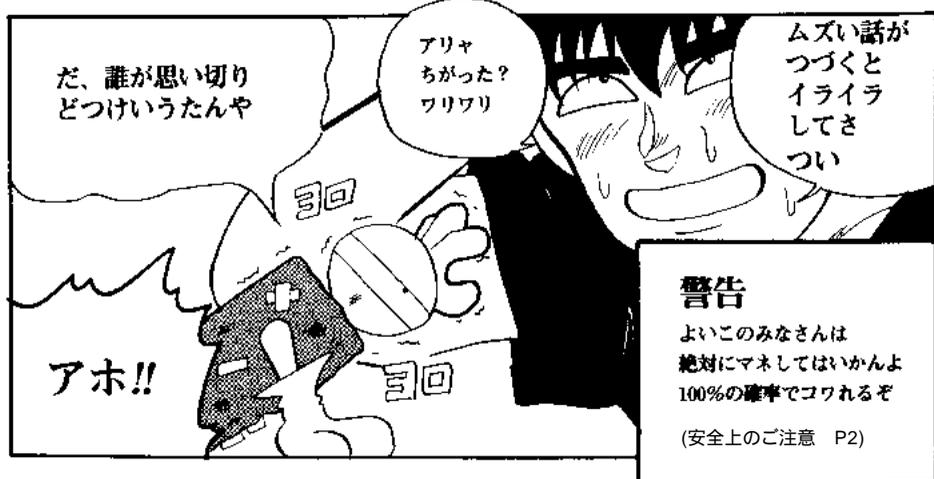
(テンポモード P107)



(ドラムパッドについて P68)



じゃ  
ドンと!!



だ、誰が思い切り  
どつけいうたんや

アリヤ  
ちがった?  
ワリワリ

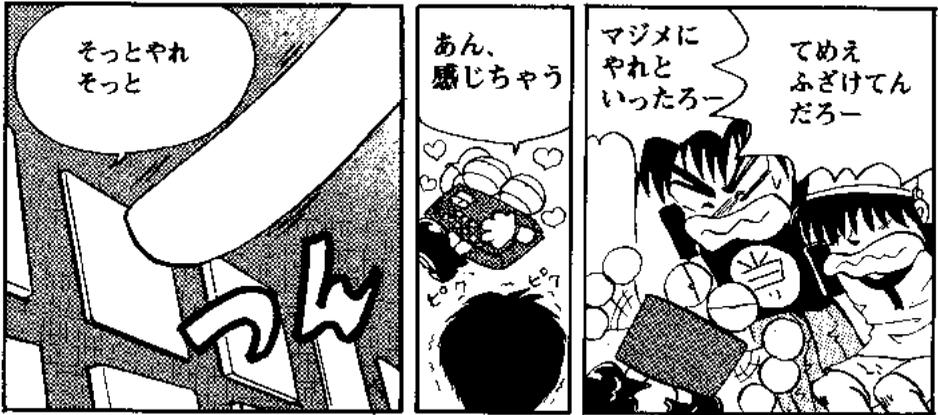
ムズい話が  
つづく  
とイライラ  
してさ  
つい

アホ!!

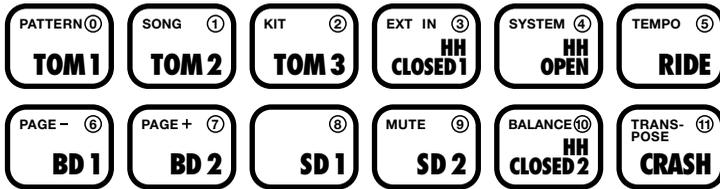
### 警告

よいこのみなさんは  
絶対にマネしてはいかんよ  
100%の確率でコワれるぞ

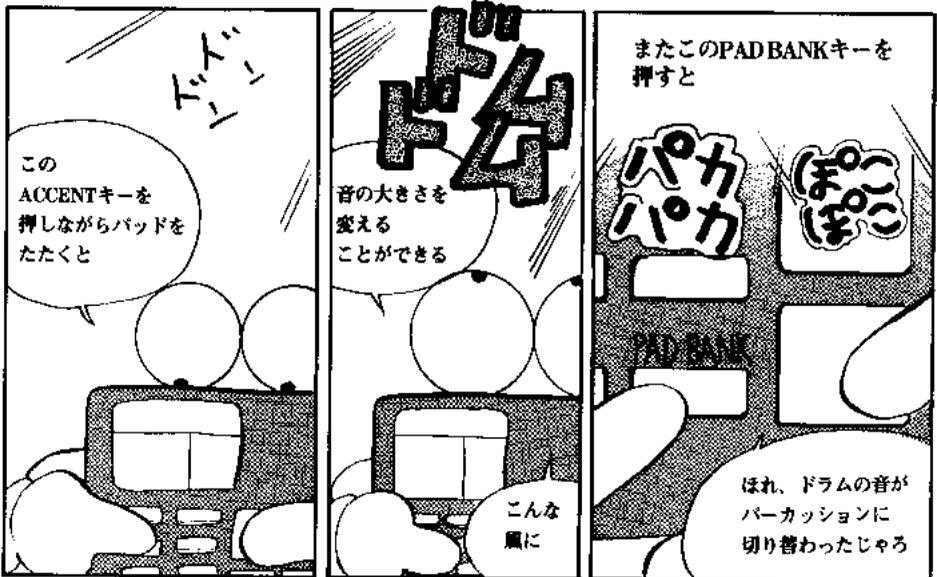
(安全上のご注意 P2)



この12個のボタンは、ドラムパッドといっぴな

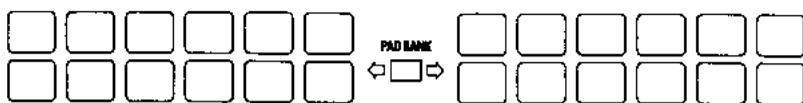


直接たたくことによつてドラムやパーカッションの音が出せるのだ



(アクセント機能 P68)

(パッドバンクの切り替え P68)

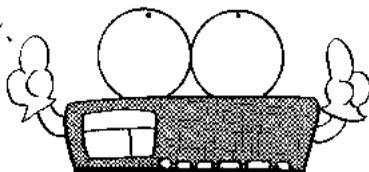


ドラム12種類

パーカッション12種類

## ドラムキット

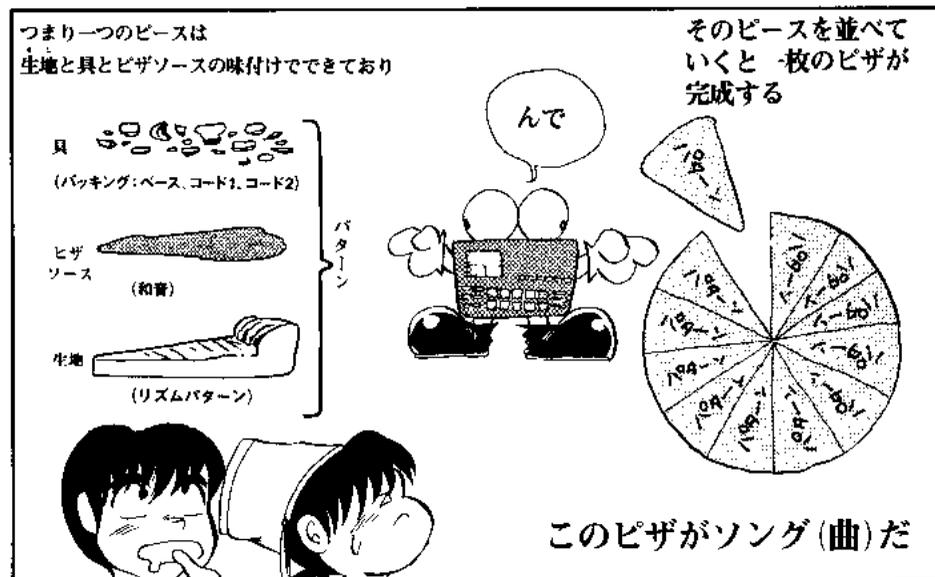
このPAD BANKキーで  
切り替えられる  
12種類のドラム+  
12種類のパーカッション、  
これを一つの  
ドラムキットと  
呼んでおる



ワシの中には  
このドラムキットが  
12グループ+  
4ユーザーグループの  
計16グループも  
入っとるんじゃ







ちなみにワシの持っているピザの生地（リズムパターン）は200種類

トッピングの具は多彩なノーマルボイスの中から選ばれた3つの音がベース、コード1、コード2として乗っかるわけだ

わかるか？

しかも、甘い、辛い味付けは24タイプのピザソース（和音）を使って、作る人の好みに応じていろんなピザ（つまりソング）を作ることが可能じゃ

もぐもぐ

さらに一つのピザには

935  
380  
150  
70

どんどん続けてパターンを並べられるから

そのピザの大きさを...  
も、もういいわかった!!

ヨダレがでちゃうよっ

とりあえず

食おーぜ!

げっ  
おっ

さっぱり

てめえが長話すっから

オレが金出したんだぞ

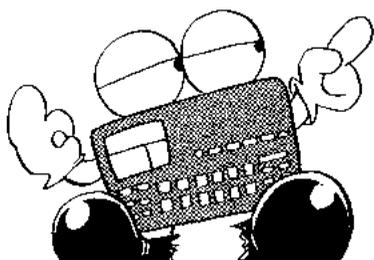
すたすたす

コラコラ 暴力はいかん



(チューナー機能 P100)

ちょうどいい  
今日はワシと  
ギターをつないだ  
おもしろい  
使い方を  
紹介しよう



接続のしかたはこうじゃ



さあ、なんか  
弾いてみい



(エレクティックギターの接続 P9)

なんかって  
なんだよ?



ソロで  
しっかり  
きめてみろ  
はよせんか



じゃあ  
まあ





(エクスターナルラインモード P98)

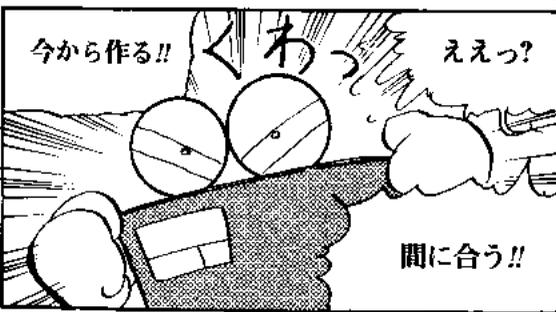
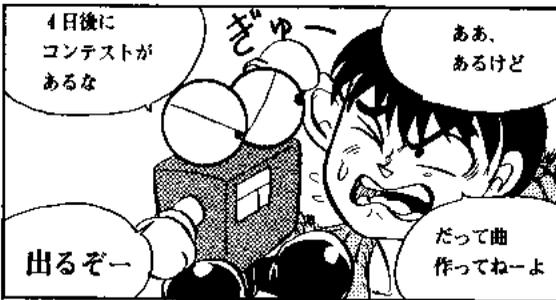


# RY9 STORY

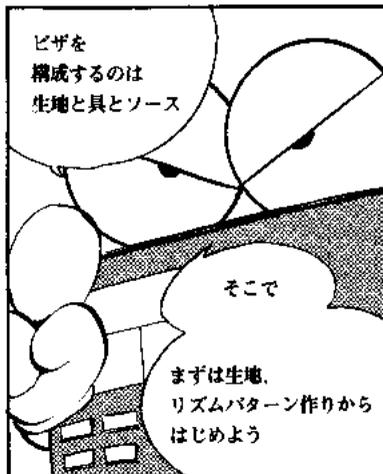




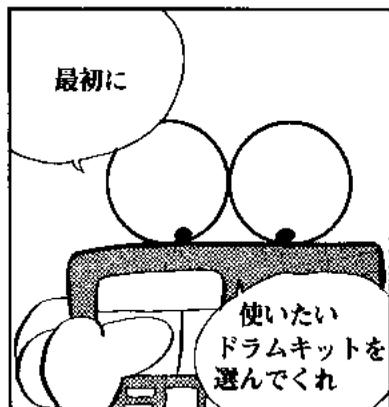




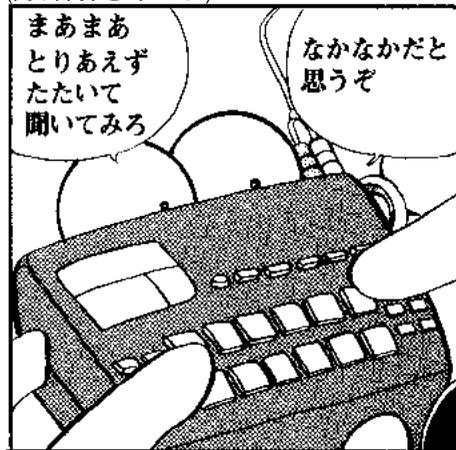


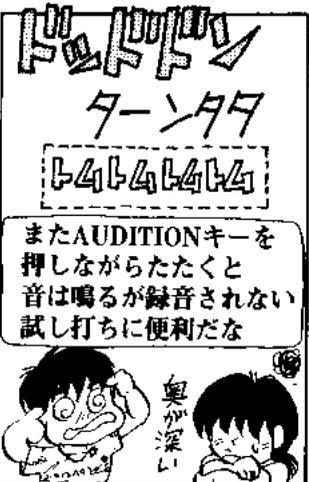
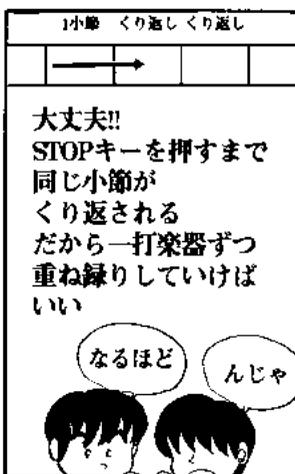
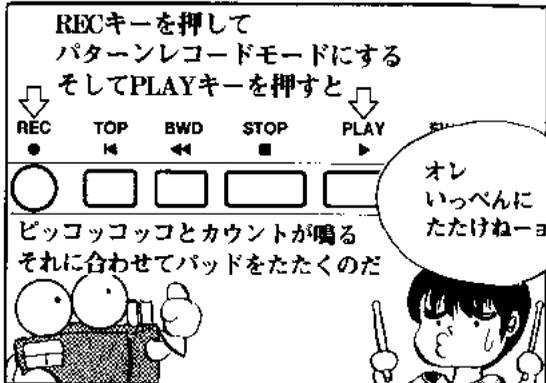
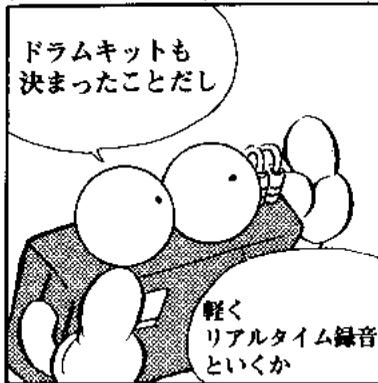


(パターンレコードモード P74)

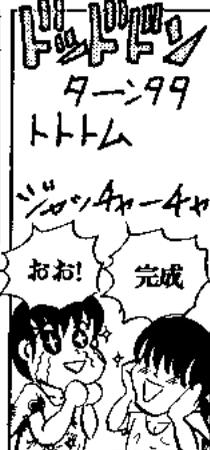
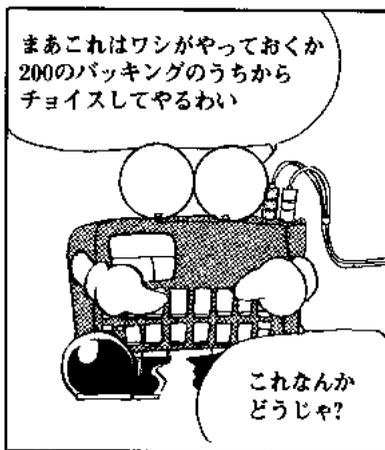


(ドラムキットモード P92)





(パターンのステップ録音 P76)



(バックキのアサイン P79)



コラコラ急に  
だれるんじゃない

音楽の道は  
ケワシいのだ  
しっかりしろ!!



ボクも  
パス

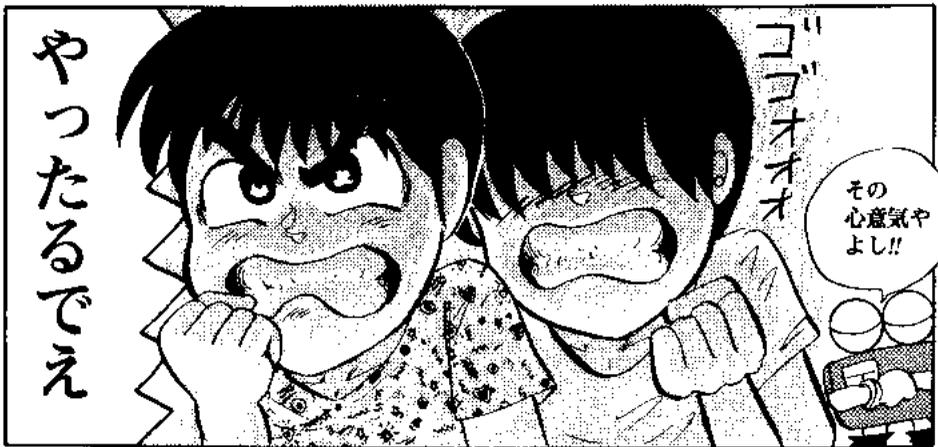
オレそいう  
めんどいの  
キライなの



夢香ちゃんに  
ウケたく  
ないのか?



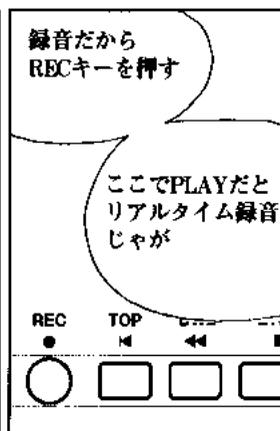
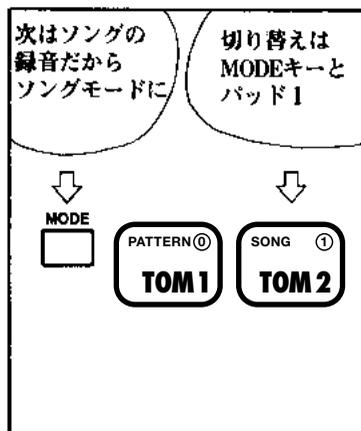
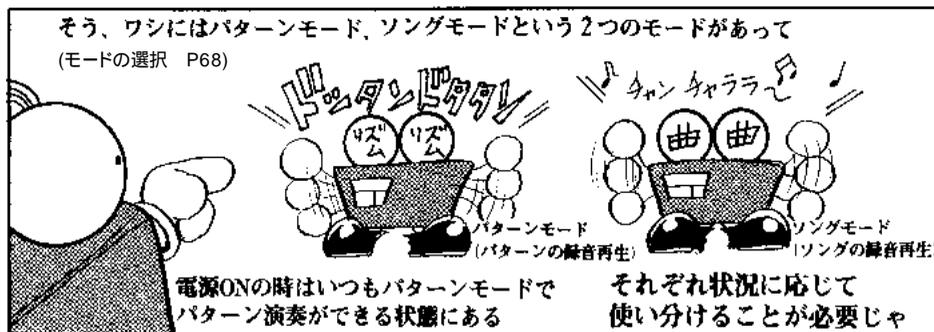
ビッグになれば  
世界中の帽子が  
買えるぞ



やったるでえ

ゴゴオオオ

その心意気や  
よし!!



(ソングレコードモード P85)

まずパターンを

ここは  
イントロ用だな

「ホチ」  
「ピウ」

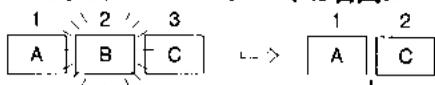
どんどんつけていく

そんでもって  
フィロインもいれよっと

次にコードをならべていく

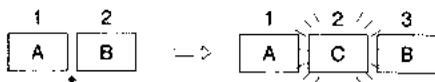
カンタン  
じゃねえか

こうしたパターンやコードは自由に



削除したり

(パターンのデリート P88) (コードチェンジデータのデリート P90)



挿入したりできるんじゃ

(パターンのインサート P88) (コードのインサート P91)

そしてワシの中には24種類の  
コードのタイプが用意されているから

(コードタイプリスト P72)

こーんな  
コードも  
つかえる  
ぞい

Am7b5? スゲェー

えーまいなーせぶんす  
ふらっとふあいぶ?



…8時か  
今夜中には  
できそうかな

曲  
うむ

コンテストは  
あさって

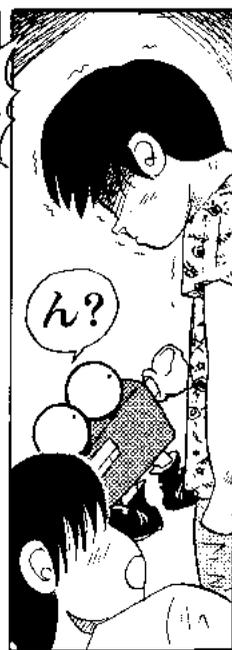
明日むちゃ  
くちゃ練習  
してどうにか  
ってとこか

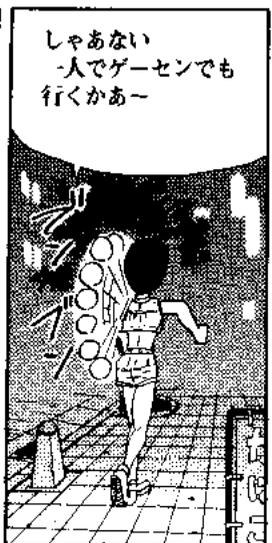
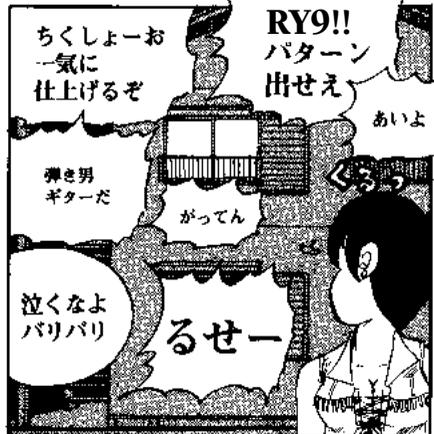
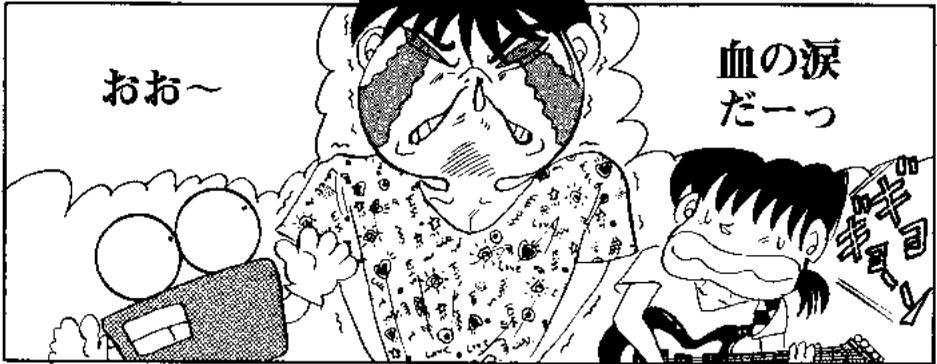
キビシー

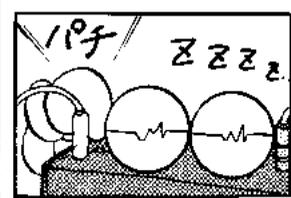
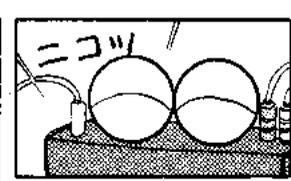
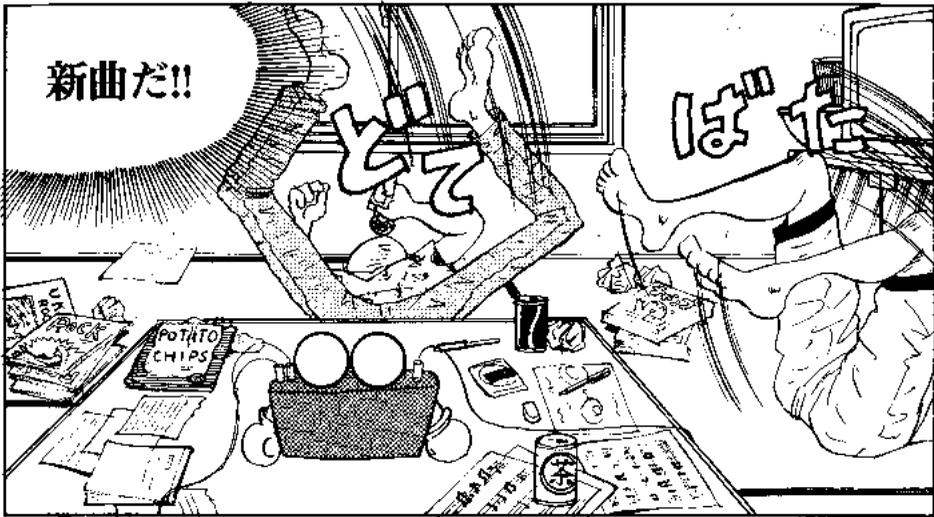
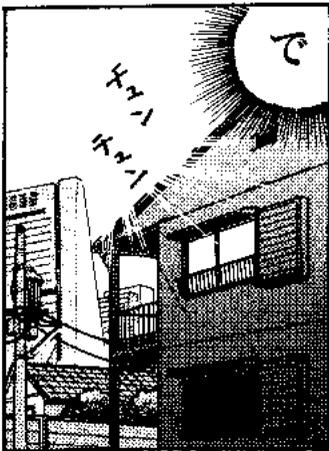
??  
誰だ?

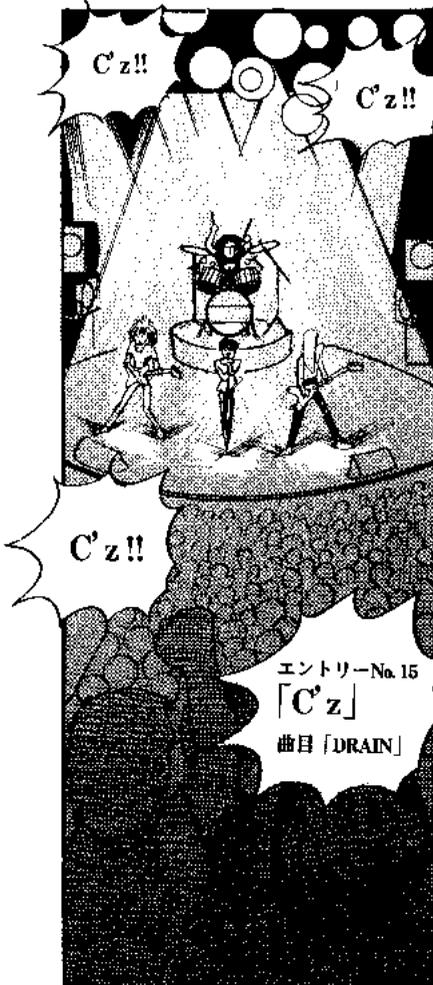
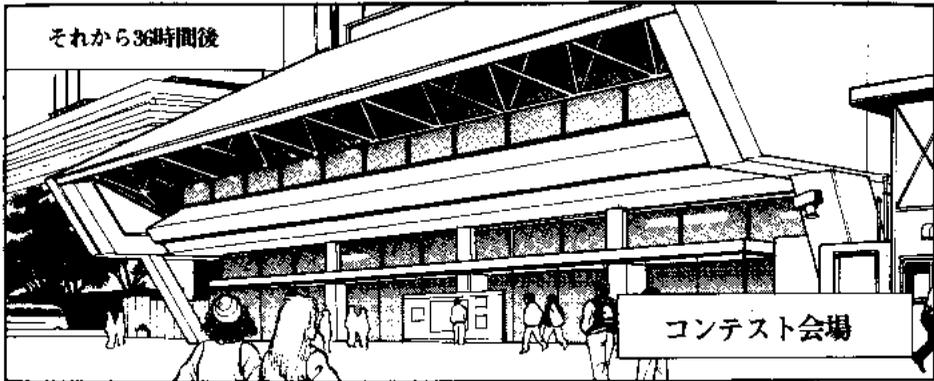
「ピッ  
ピッ」

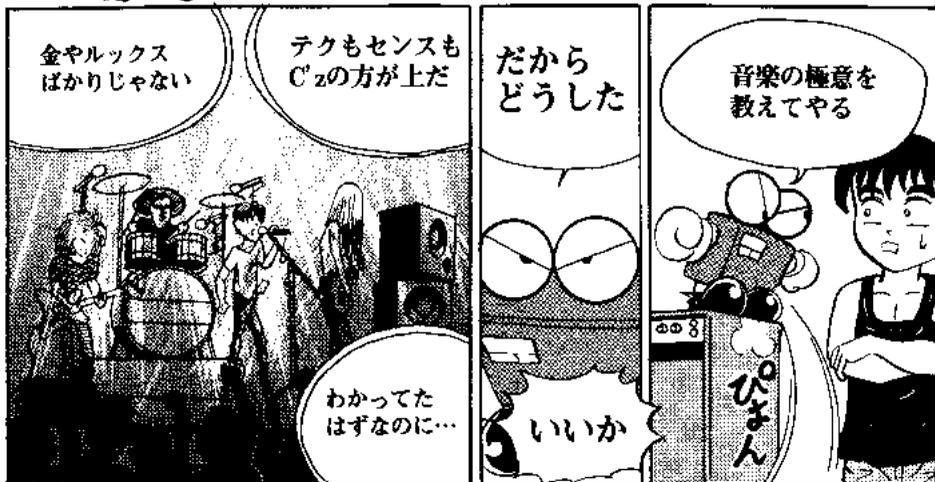


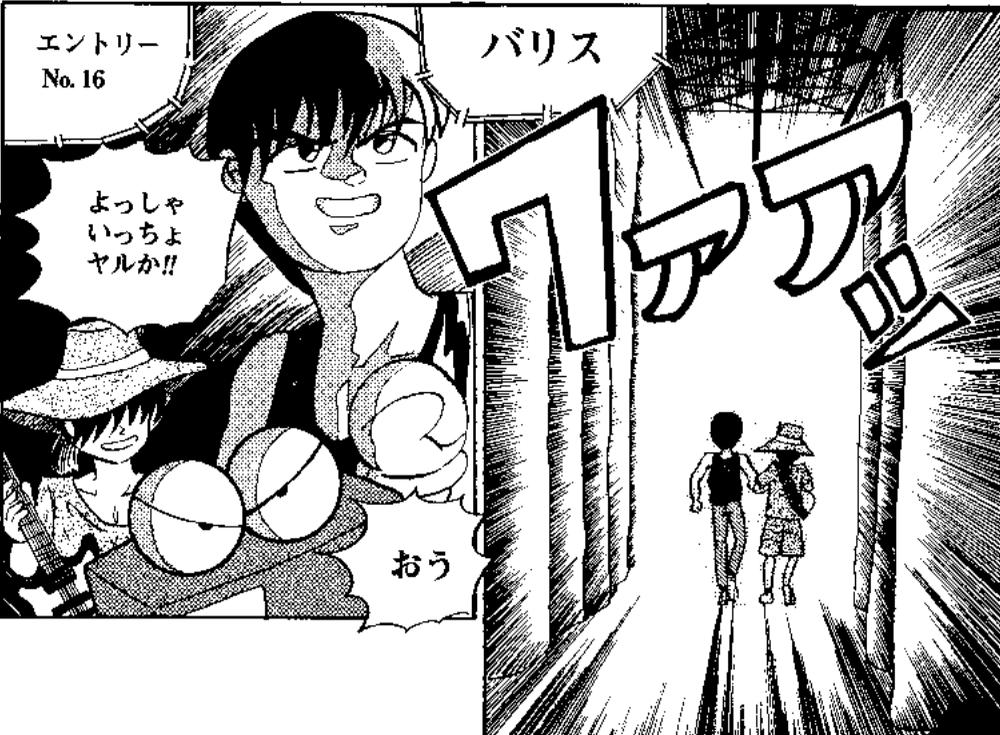
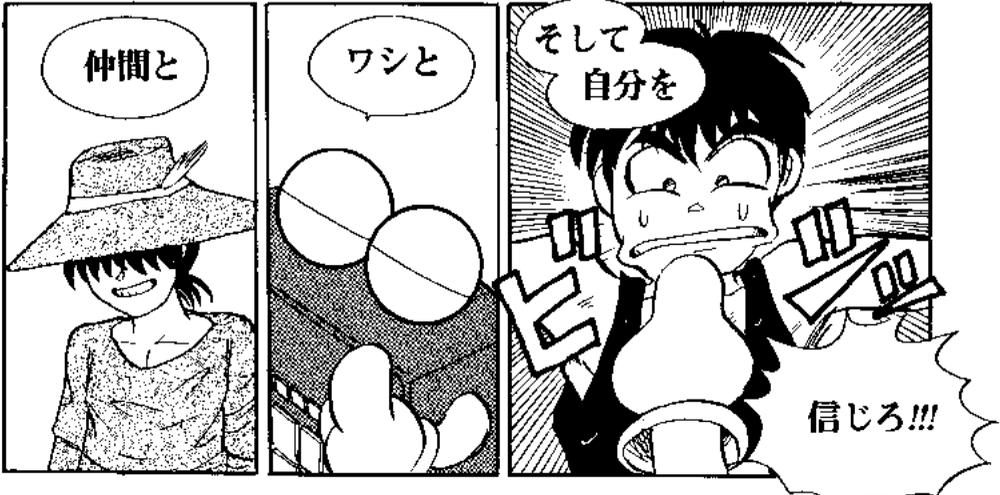












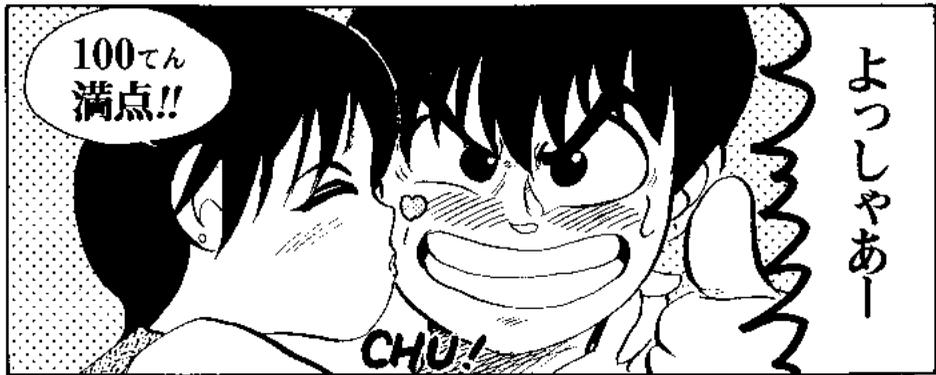
その後の事は...

実はよく覚えていない

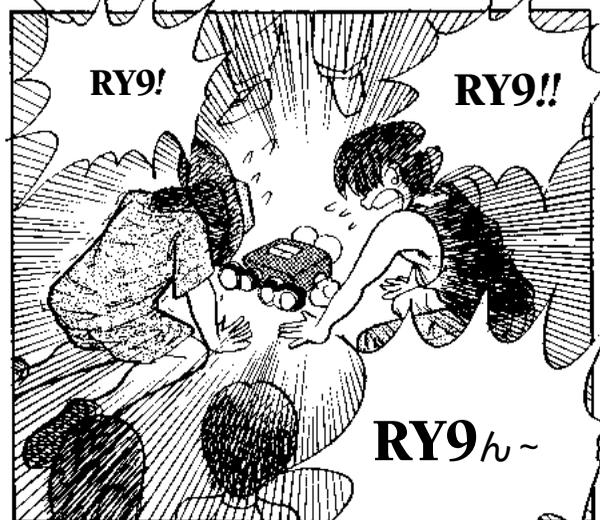
もう無我夢中で...

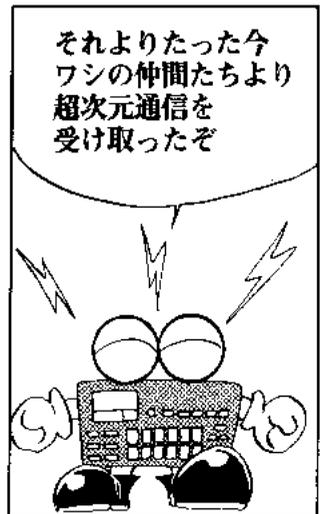
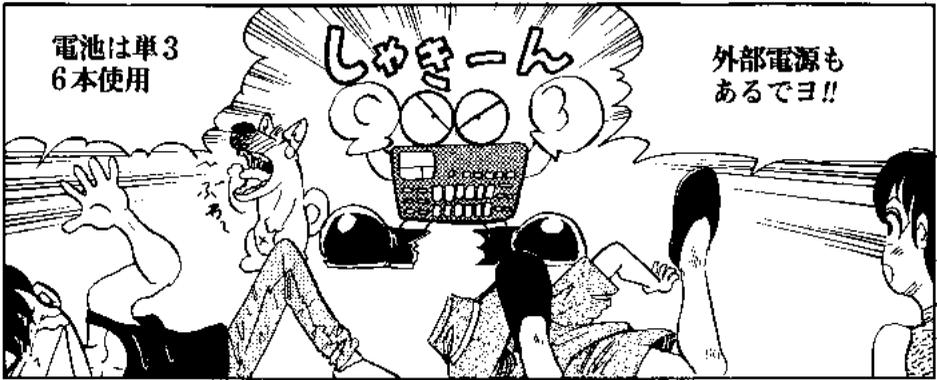
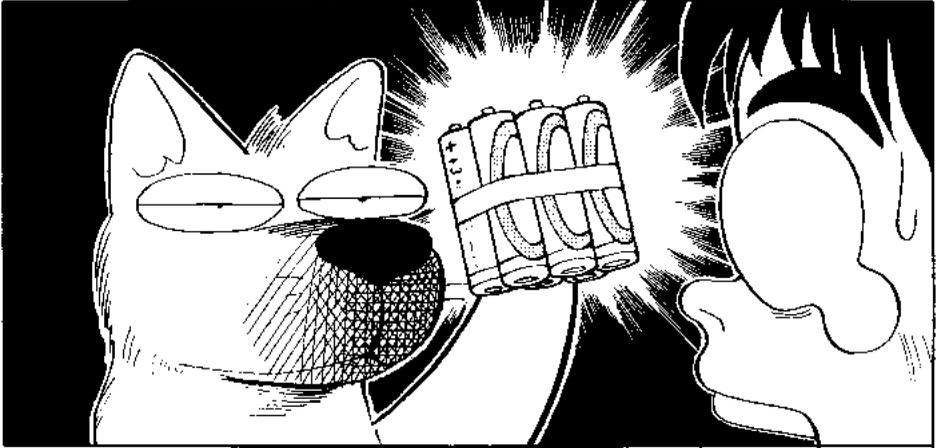
弾いて

歌った



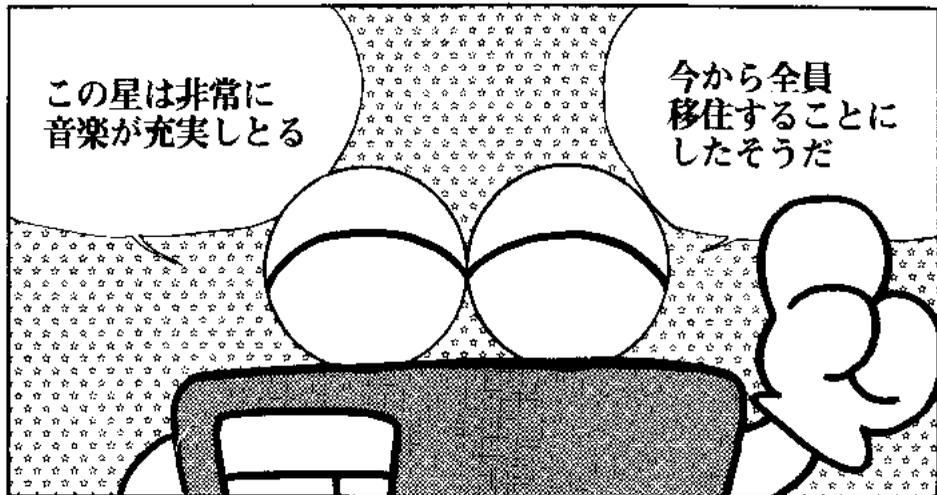
# RY9 STORY





乾電池も電源アダプターもない状態では 作成したデータが失われてしまいます。

(データのバックアップ「バルクデータの送信」 P105)



to be continued...?

# リファレンス編

この章では、RY9の各機能をモード別に詳しく説明しています。辞書を使うように、目次や索引から知りたい項目だけをピックアップして調べたり、一歩踏み込んだ使い方をマスターするためにお使いください。

## 初期化の方法

RY9を購入時と同じ初期設定に戻すことができます。



「初期化を行うと、作成したデータがすべて消えてしまいます。大切なデータは、この操作を実行する前に、ヤマハMIDIデータファイラー-MDF3などに保存していただくことをおすすめします。

1. RY9の電源をSTANDBY(スタンバイ)にします。
2. [+1]/[-1]キーを同時に押しながらRY9の電源をオンにします。LCDに“FACTRY SET”(初期化実行中)が表示されます。初期化が終了するとパターンプレイモードになります。



# RY9 のモードについて

RY9にはパターンとソングのメインモードがあります。また、パターンモード/ソングモード以外にもさまざまな機能を効率よく利用できるように7つのモードを用意しています。

## パターンモード(PATTERN).....( P 6 9 )

パターンに関するさまざまな機能を持っており、パターンの選択/演奏などを行うパターンプレイモードとパターンの録音/編集などを行うパターンレコードモードにわかれています。

RY9の電源を入れた直後はいつも自動的にパターンプレイモードになっています。

- パターンプレイモード
  - パターンの選択(パターンセレクト)(1 ページ目)
  - スイングの設定(2 ページ目)
  - パターンのクリア(3 ページ目)
  - パターンのコピー(4 ページ目)
- パターンレコードモード
  - ステップ/リアルタイム録音(1 ページ目)
  - メーター(拍子、クオンタイズ)の設定(2 ページ目)

## ソングモード(SONG).....( P 8 0 )

ソングに関するさまざまな機能を持っており、ソングの選択/演奏などを行うソングプレイモードとソングの録音/編集などを行うソングレコードモードにわかれています。

- ソングプレイモード
  - ソングの選択(ソングセレクト)(1 ページ目)
  - リピートの設定(2 ページ目)
  - チェーンの設定(3 ページ目)
  - ソングのクリア(4 ページ目)
  - ソングのコピー(5 ページ目)
- ソングレコードモード
  - ステップ/リアルタイム録音(1 ページ目)
  - パターン/コードのデリート(2 ページ目)
  - パターン/コードのインサート(3 ページ目)

**NOTE** パターンモード/ソングモードでパターン/ソングの演奏中や録音中でもシステムモード以外のモードを選択し、設定を変更することができます。逆にシステムモードが選ばれているときは、パターン/ソングの演奏をすることはできません。

## ドラムキットモード(KIT).....( P 9 2 )

ドラムキットの選択/ドラムパッドへのボイスの割り当てなど、ドラムキットに関する機能を持っています。

- ドラムキットの選択(1 ページ目)
- ドラムボイスのアサイン(割り当て)(2 ページ目)
- ボリュームレベルの設定(3 ページ目)
- アクセントレベルの設定(4 ページ目)
- ステレオパンの設定(5 ページ目)
- チューンの設定(6 ページ目)
- ドラムキットのコピー(7 ページ目)
- チェイスの設定(8 ページ目)

## エクスターナルインモード(EXT IN).....( P 98)

チューナーやギターシンセサイザー機能など、外部からギターを接続した場合に使用できる機能を持っています。

- ┌ ミックス機能(1 ページ目)
- ├ エクスターナルインボイスのタイプとボイスの選択(2 ページ目)
- ├ チューナー機能(3 ページ目)
- ├ センシティビティの調節(4 ページ目)
- └ リモートスタート機能(5 ページ目)

## システムモード(SYSTEM).....( P 102)

MIDI を使って外部機器とデータをやり取りする場合に必要な機能を持っています。

- ┌ MIDI シンクの設定(1 ページ目)
- ├ MIDI 送信 / 受信チャンネルの設定(2 ページ目)
- ├ プログラムチェンジ受信チャンネルの設定(3 ページ目)
- ├ ノートテーブルの選択(4 ページ目)
- ├ ノートナンバーのアサイン(割り当て)(5 ページ目)
- ├ パルクデータの送信(/ 受信)(6 ページ目)
- ├ エクスターナルインボイス送信チャンネルの設定(7 ページ目)
- └ ハーモニーボイス送信チャンネルの設定(8 ページ目)

## テンポモード(TEMPO).....( P 107)

パターンやソングのテンポ(速さ)を調節することができます。

## ミュートモード(MUTE).....( P 108)

バックングを構成しているベース音やコード音 1/2 をそれぞれミュート(消音)することができます。

- ┌ ベースのミュート (1 ページ目)
- ├ コード 1 のミュート(2 ページ目)
- └ コード 2 のミュート(3 ページ目)

## バランスモード(BALANCE).....( P 109)

バックングを構成しているベース音やコード音 1/2 などの音量バランスをとることができます。

- ┌ ベースのバランス(1 ページ目)
- ├ コード 1 のバランス(2 ページ目)
- ├ コード 2 のバランス(3 ページ目)
- ├ エクスターナルインボイスのバランス(4 ページ目)
- └ ハーモニーボイスのバランス(5 ページ目)

## トランスポーズモード(TRANSPOSE).....( P 110)

バックングにトランスポーズ(移調)をかけることができます。

---

**NOTE** テンポモードやトランスポーズモード以外のモードは複数のページで構成されています。各モードでMODE(モード)キーを押しながら[+1]/[-1]キーを押してページを選択することができます。

---

## ドラムパッドについて.....( P 68)

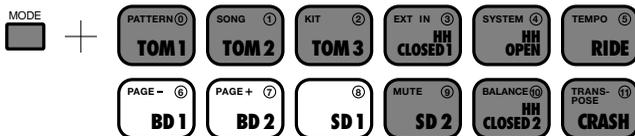
ドラムパッドはモードに関係なくいつでも演奏に使用できます。

## 各モードへの入り方とページの選び方

RY9のさまざまな機能を活用する上で、最も基本的な操作となります。まず、しっかりと理解しておきましょう。

### 1. モードを選ぶ

MODE(モード)キーを押しながら各モードに対応したドラムパッドを押します。  
選んだモードの最初の画面(1ページ目)がLCDに表示されます。



### 2. ページを選ぶ

MODEキーを押しながらPAGE+(ページ+)キーまたはPAGE-(ページ-)キーを押して必要なページを選びます。PAGE+キーで次ページへ進み、PAGE-キーで前ページへ戻ります。



## ドラムパッドについて

RY9には128種類におよぶ多彩なドラムボイスが用意されています。これらのボイスは24種類(ドラム/パーカッションパッドバンク)のボイスをひとまとめにしたドラムキット単位で、各ドラムパッドに自由にアサインする(割り当てる)ことができます。

ドラムパッドはどのモードにいるときでもたたいて演奏することができます。

パターンは12種類のプリセットドラムキットの1つを使って作られています。したがって、別のパターンを選択すると別のドラムキットが選ばれ、ドラムパッドにアサインされているドラムボイスも変わります。

**NOTE** いつでも一時的にその他のドラムボイスに変更することができます。また、ユーザードラムキットは最高4グループまで作ることができます。詳しくはP92の「ドラムキットモード」をご覧ください。

1つのドラムキットには2つのパッドバンクがあり、それぞれのバンクに12種類のドラム系のボイスと12種類のパーカッション系のボイスが割り当てられています。

PAD BANK(パッドバンク)キーを押すたびに、2つのパッドバンクを交互に切り替えることができます。

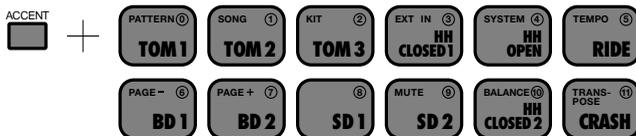


LCDの右上に表示される小さな“DRUM”または“PERC”でどちらのバンクを選んでいるのかを確認できます。



**HINT** 各ドラムパッドにはそれぞれドラムの名称がついているので、たたくときの目安になります。ただし、バンクの切り替えなどでパーカッション系のボイスが割り当てられた場合、実際に発音される音と各ドラムパッドに表示されている名称とが一致しなくなることがあります。詳細はP114「ドラムボイスリスト」をご覧ください。

また、ACCENT(アクセント)キーを押しながらパッドをたたくと、そのドラムパッドの音にアクセントをつける(音を大きく/小さくする)ことができます。



**NOTE** ユーザードラムキットではドラムパッドにアクセントレベルを自由に設定することができます。( P95)

# パターンモード(PATTERN)

各モードへの入り方とモード内のページを選ぶ操作をマスターしてからお読みください。( P 68)

RY9の電源を入れた直後はいつも自動的にパターンモードの1ページ目(パターンの選択画面)になっています。このモードにはさらにパターンプレイモードとパターンレコードモードがあります。

パターンプレイモード ..... パターンの演奏に関するモードです。

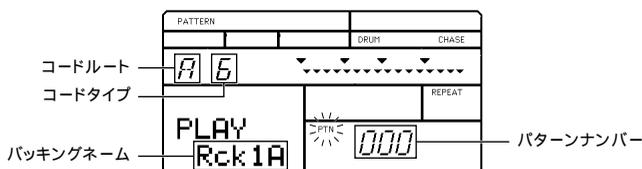
パターンプレイモードを選択しているときは、LCDの左上に小さく“PATTERN”が表示されます。

パターンレコードモード ..... パターンの録音に関するモードです。

パターンレコードモードを選択しているときは、LCDの左上に小さく“PATTERN” “RECORD”が表示されます。

## パターンプレイモード

パターンの選択 ..... 1 ページ目の画面



1. LCDの“PTN”表示にカーソルが合っている(点滅している)ことを確認します。もし“PTN”表示が点滅していない場合は、[▶]カーソルキーを押してカーソルを“PTN”に合わせてください。

**NOTE** 電源を入れた直後やこの画面を表示させたときは、いつも自動的に“PTN”表示にカーソルが合っています。

2. [+1]キーまたは[-1]キーを押して演奏 / 録音したいパターンナンバーを選びます。パターンナンバーを選ぶと、そのパターンに設定されているバックギンも自動的に選ばれ、バックギンネームが変わります。

選択できるナンバー :

000 ~ 199(50タイプ×4セクション=200種類のさまざまなリズムパターンが200種類のバックギンとともにプリセットされています。)

200 ~ 249(50種類のオリジナルパターンを録音するためのエリアです。何もデータが入っていないときはパターンナンバーの右側に“EMPTY”(空)と表示されます。)

**NOTE** パターンナンバー 192 ~ 199のパターンにはバックギン(ベース、コード)は含まれていません。

### セクションについて

各リズムパターンにはそれぞれ4つのセクションが用意されており、同時にバックギンともリンクしています。バックギンネームの右側に表示されたABCDに対して、それぞれメインパターンA、メインパターンB、フィルインパターンAB、フィルインパターンBAのセクションとなっています。

メインパターンA : もっともオーソドックスなパターンで曲の基本的なパートで使用します。

メインパターンB : メインパターンAのバリエーションパターンです。

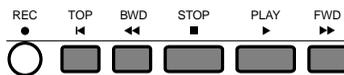
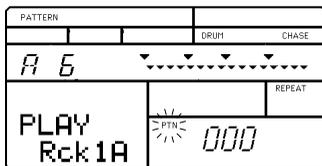
フィルインパターンAB : 主にメインパターンAからメインパターンBへつなぐフィルインパターンとして使用します。

フィルインパターンBA : 主にメインパターンBからメインパターンAへつなぐフィルインパターンとして使用します。

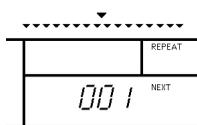
### バックギンについて

バックギンはコード1、コード2、ベース音から構成され、指定されたコード(和音)から自動的に最適なバックギンが演奏されるようになっています。

## パターンの演奏 ..... 1 ページ目の画面



1. PLAY(プレイ)キーを押すと、パターン演奏がスタートします。  
 パターンの演奏中でも、[+1]/[-1]キーで別のパターンを選択して演奏させることができます。現在演奏しているパターンが終わるまでは、新たに選択したパターンの演奏は始まりません。LCDには“NEXT”が表示され、次のパターンが待機中であることを示します。現在演奏しているパターンが終わると、パターンナンバーとバックニングネームの表示が変わり、次のパターンの演奏が始まります。



2. STOP(ストップ)キーを押すと、パターン演奏がストップします。
- 
- HINT** どのパターンも 1 小節で構成されています。
- 
3. PLAY キーをもう一度押すと、パターン演奏が停止した位置から始まります。
  4. 演奏停止中に TOP(トップ)キー、BWD(巻戻し)キー、FWD(早送り)キーを押すと、パターンを先頭に戻すことができます。

**HINT** パターン演奏に合わせてドラムパッドによる演奏が楽しめます。

**NOTE** 演奏中でもテンポモードを選択し、パターンのテンポを変更することができます。( P107)

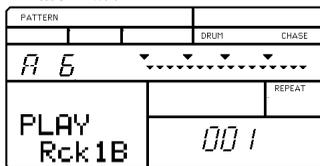
### ビート / ポジションインディケーター

LCDの右上にはビート / ポジションインディケーターが表示され、現在のクロックポジションが点滅します。ビート(拍)数やポジション数は、現在選択されているパターンの拍子によって異なります。

#### ビートインディケーター

演奏中は現在のテンポに合わせてビートインディケーターが次のように点滅します。

4/4拍子の場合



すべての が小節の頭で点滅



それぞれの がビート(拍)の位置で点滅



ビートインディケーター

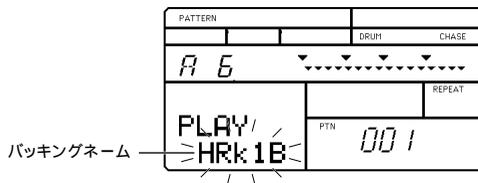
#### ポジションインディケーター

演奏停止中はポジションインディケーターの点滅で現在の位置を確認することができます。



## バックキングの変更

演奏中 / 停止中を問わず、リズムパターンを変えずにバックキングだけを変更することができます。



1. [◀]カーソルキーを押して、バックキングネームにカーソルを合わせます。
2. [+1]/[-1]キーで別のバックキングを選択します。  
次の小節の先頭から選んだバックキングの演奏に変わります。

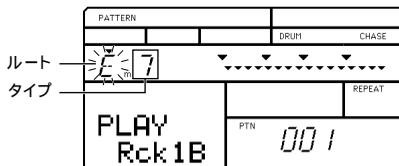
**NOTE** [+1]キーを押し続けて「BKOFF」(バックキングオフ)を表示させることにより、バックキングをオフにすることができ、リズムだけを鳴らしたい場合に便利です。また、バックキングの構成音(コード1、コード2、ベース)を個別にミュート(消音)することもできます。( P108)

**NOTE** プリセットパターンの場合ここでのバックキングの変更はあくまでも一時的なものです。元のパターンナンバーにカーソルを戻し、あらためてパターンを選択し直した時点で元の設定に戻ります。

**NOTE** パターンナンバー 192 ~ 199 のパターンにはバックキング(ベース、コード)は含まれていません。

## コードの変更

演奏中 / 停止中を問わず、バックキングに対するコードを設定 / 変更することができます。



1. CHORD(コード)キーを押すと、コード指定機能が選択されます。マークがコードのルート表示上で点滅します。
2. [+1]/[-1]キーでコードの基本となるルート(根音)を指定します。ルート / タイプ表示が点滅状態になります。  
設定値 : C, D , D, E , E, F, G , G, A , A, B , B
3. [▶]カーソルキーで マークをコードのタイプ表示上に合わせ、[+1]/[-1]キーでコードのタイプを指定します。

**NOTE** ルート表示上に マークを戻したいときは[◀]カーソルキーを押します。

設定できるコードタイプについては次ページの「コードタイプリスト」をご覧ください。

4. ENTER(エンター)キーを押して指定したコードを確定します(ルート / タイプが点灯表示に戻ります)。同時にバックキングの構成音が自動的に変化します。
5. もう一度 CHORD キーを押すと、コード指定機能が解除され、元の状態に戻ります。

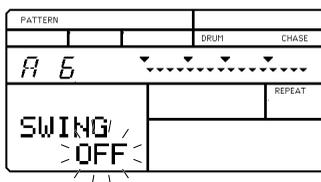
**NOTE** ここでのコードの変更はあくまでも一時的なもので、各パターンに固有のコードを設定できるわけではありません。ソング作成時はポジション単位でコードを設定していくことができます。( P89)

## コードタイプリスト(ルートがCのときのコードの構成音)

LCDの表示  
読み方

(空白) メジャー	m マイナー	7 セブンス	m7 マイナーセブンス	M7 メジャーセブンス	mM7 マイナーメジャーセブンス
sus4 サスフォー	7sus4 セブンスサスフォー	m7 <sup>b</sup> 5 マイナーセブンスフラットファイブ	dim ディミニッシュ	6 シックス	m6 マイナーシックス
#5 オーギュメント	7#5 セブンスオーギュメント	add9 アッドナインス	m add9 マイナーアッドナインス	7 9 セブンスナインス	7 <sup>b</sup> 9 セブンスフラットナインス
7#9 セブンスシャープナインス	M7 9 メジャーセブンスナインス	m7 9 マイナーセブンスナインス	7#11 セブンスシャープイレブンス	m7 11 マイナーセブンスイレブンス	7 13 セブンスサーティーンス

## スイングの設定 ..... 2 ページ目の画面



スイングとは通常のリズムに弾みをつけ演奏にノリを出す機能です。パターン演奏時に有効で、各パターンごとに設定することができます。リズムパターンだけではなくバックイングにも効果がかかります。

**NOTE** プリセットパターン / ユーザーパターンのどちらにも有効です。

- スイング機能のページを選ぶと、LCDに“SWING”が表示されます。また、その下で現在のスイングの設定が点滅します。
- [+1]/[-1]キーで値を設定します。  
設定値：OFF、E1 ~ E9、S1 ~ S5

**NOTE** パターン演奏時にスイングが設定されているパターンを選ぶと、LCDの左上に“SWING”が表示されます。

**NOTE** スイングには大きく分けて8ビート系(E)と16ビート系(S)があります。現在選んでいるパターンや設定値によってはスイングの効果がはっきりしない場合もあります。いろいろな値を試してみてください。

## パターンのクリア ..... 3 ページ目の画面

(このページはパターン演奏がストップしているときに選ぶことができます。)

不要なユーザーパターン(200 ~ 249)をパターンごとにクリア(消去)することができます。

PATTERN		DRUM		CHASE
A B		▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼		
CLEAR SURE?		PTN	200	REPEAT

1. パターンクリアのページを選ぶと、LCDに“ CLEAR SURE? ”(クリアしますか?)が表示されます。
2. [+1]/[-1]キーでクリアしたいユーザーパターンナンバーを設定します。
3. ENTER(エンター)キーを押すとクリアが実行され、パターンナンバーの右側に“ EMPTY ”(空)が表示されます。

**NOTE** プリセットパターン(000 ~ 199)を選んでENTERキーを押しても一瞬“ PRESET ”が表示されるだけで、クリアは実行されません。正しいナンバー(200 ~ 249)を選んでもう一度実行してください。

## パターンのコピー ..... 4 ページ目の画面

(このページはパターン演奏がストップしているときに選ぶことができます。)

プリセットパターンや録音済みのユーザーパターンをユーザーパターン(200 ~ 249)へそのままコピーすることができます。あるパターンと少しだけ異なるパターンを作りたい場合など、まずそのパターンをコピーし、少し変更を加えるだけで簡単に新しいパターンを作ることができ、便利です。

PATTERN		DRUM		CHASE
A B		▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼		
COPY SURE?		PTN	200	EMPTY

1. まず、このコピー機能の画面を選ぶ前に、1 ページ目の画面(パターンの選択画面)でコピーしたいパターン(コピー元)を選びます。
2. 次にこのページを選びます。LCDに“ COPY SURE? ”(コピーしますか?)が表示され、右側のパターンナンバーが200になります。
3. [+1]/[-1]キーでコピー先となるユーザーパターンナンバー(200 ~ 249)を設定します。
4. ENTER(エンター)キーを押すとコピーが実行されます。

**NOTE** コピー元パターンの初期テンポ、スイングの設定、ドラムキット、バックिंगもコピーされます。



コピーを実行すると、コピー先のパターンのデータはすべて書き替えられてしまいます。大事なオリジナルパターンを誤って消してしまわないよう注意しましょう。

**NOTE** コピー先のパターンにすでにデータがあり、メーター(拍子/クオンタイズ)の設定がコピー元のパターンとは異なる場合は、ENTERキーを押しても“ TS NOT MATCH ”(拍子が異なります)が表示され、コピーは実行できません。このような場合は、コピー先のパターンとして、空のパターンかコピー元と同じメーター設定のパターンを選んでください。

**NOTE** コピーを実行しようとするとき“ MEMORY FULL ”が表示されることがあります。詳細についてはP111の「LCD ディスプレイメッセージ」をご覧ください。

# パターンレコードモード

パターンナンバー 200 ~ 249 までのユーザーパターン (50 個) に、オリジナルのリズムパターンを録音することができます。録音したパターンには 200 種類のバックングの中から好きなものを組み合わせて登録し、演奏させることができます。

パターンの録音方法には次の 2 通りがあります。

- ステップ録音： ドラムボイスを 1 音ずつ正確にプログラムしていく方法です。
- リアルタイム録音： クリック音に合わせて実際に演奏しながら録音していく方法です。

どちらの方法を使用するかは、録音したいリズムのタイプや好みによって変わってきます。たとえば、ステップ録音で基本的なビートを録音した後、リアルタイム録音でアクセントや装飾をほどこしていく、というような両方を用いた録音方法も可能です。

**HINT** プリセットパターンと似かよったパターンを作りたい場合は、そのプリセットパターンをコピーして編集(録音)すると早く手軽に作ることができます。

## 録音の準備

まず実際に録音を始める前にいくつかの準備があります。

1. パターンの選択画面でパターンナンバー 200 ~ 249 の中から録音したいナンバーを選びます。

**NOTE** まだデータの入っていない(録音されていない)パターンナンバーの隣には "EMPTY" が表示されます。

2. 必要に応じて録音に使用したいドラムキット/パッドバンクを選択します。(ドラムキットモード P92)

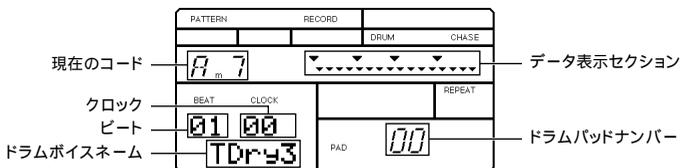
**NOTE** キットモードにはアクセントレベルやチェイスの設定など、その他にもさまざまな機能があります。

**NOTE** チェイス機能をオンにすると、常に録音に使用したドラムキットを使ってパターンを再生することができます。( P97)

3. パターンセレクト画面に戻ります。

## パターンレコードモード

REC(レコード)キーを押すと、LCD の表示が次のように変わります。



現在のコードには、現在選ばれているコードのルートとタイプが表示されます。

ビート/クロックは、パターン(1小節)の中の現在の位置を数字で表示します。

ドラムパッドナンバー/ドラムボイス名はそれぞれ現在選択されているものが表示されます。

データ表示セクションには、入力されたドラムボイスやアクセントのデータが データインディケーターで示されます。

ビートインディケーター [▼]、データインディケーター [■]、ポジションインディケーター (点滅は入力位置を示します)

**NOTE** “ ” データインディケーターが表示するデータは、現在LCD上で表示されているボイスネーム(現在選択されているドラムパッド)またはアクセントのデータです。一度に複数のボイスデータを表示することはできません。

この状態をパターンレコードモードと呼び、ステップ録音モリアルタイム録音もこの状態から始めます。

パターンレコードモードではLCDの左上に“ PATTERN ” “ RECORD ” が小さく表示されます。

**NOTE** RECキーを押してLCD上に“ PRESET ”が表示される場合は、現在プリセットパターンが選ばれていることを示します。プリセットパターンには録音することはできません。パターンの録音をする場合はユーザーパターン(200 ~ 249)を選んでください。

**NOTE** もう一度RECキーを押すとパターンレコードモードを抜けてパターンプレイモード(パターンの選択画面)に戻ります。

## メーター(拍子 / クオンタイズ)の設定

パターンを録音する前に、必要に応じて拍子とクオンタイズ(分解能)を設定することができます。

1. パターンレコードモードでMODE(モード)キーを押しながら、PAGE+(ページ+)キー(ドラムパッドの7)を押します。メーター設定画面になり、LCDには現在選ばれているメーターが点滅します。
2. [+1]/[-1]キーを押して、メーターを設定します。ビート / ポジションインディケーターの表示が選ばれたメーターに合わせて変化します。

設定値：

拍子	クオンタイズ
01/04	12, 16, 24, 32
02/04	12, 16, 24, 32
03/04	12, 16
04/04	12, 16
05/04	12
01/08	16, 24, 32
03/08	16, 24, 32
05/08	16, 24
07/08	16

拍子	クオンタイズ
01/16	16, 32
03/16	16, 32
05/16	16, 32
07/16	16, 32
09/16	16
11/16	16
13/16	16
15/16	16

3. 設定が終わったら、MODEキーを押しながらPAGE-(ページ-)キー(ドラムパッドの6)を押して、パターンレコードモードに戻ります。

**NOTE** ここで設定したクオンタイズによってパターンデータの入力位置の数が決まります。また、リアルタイム録音をする場合は、このクオンタイズによって音のばらつき(タイミングのずれ)が自動的に調整されます。一度録音した(データのある)ユーザーパターンのメーターは変更することができません。必要に応じて、パターンクリア機能を使って不要なパターンを消去してください。

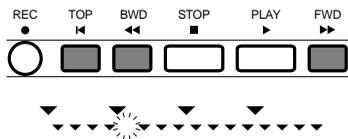
## 8 ビートパターンのドラム譜例

次の8ビートパターンを録音した場合、LCDの表示は以下のようになります。

## ステップ録音

ステップ録音では、データ表示セクションの選んだ入力位置にドラムパッドを使ってボイスデータを入力します。パターンレコードモードで、ドラムパッドかACCENT(アクセント)キーでのデータ入力を開始することにより、ステップ録音が始まります。

1. FWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キー、TOP(トップ)キーで入力位置(ポジションインディケーター)を移動させます。

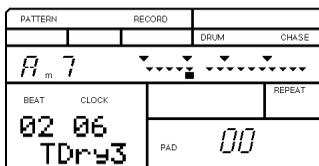


FWD キー：クロック単位で入力位置を進めることができます。

BWD キー：クロック単位で入力位置を戻すことができます。

TOP キー：入力位置を小節の先頭に戻します。

2. 入力したいボイスのドラムパッドを押します。押したパッドのナンバーとボイスネームがLCDに表示され、データ表示セクションに入力されたデータが“ ”で表示されます。



**NOTE** ドラムパッドを押すと、自動的に入力位置が1クロック進みます。

3. 同じように1、2の操作を繰り返し他の入力位置を選んで、必要なボイスを入力していきます。
4. ステップ録音を終了したい場合はREC(レコード)ボタンを押してください。パターンプレイモード(パターンの選択画面)に戻ります。

**NOTE** 同じ入力位置に複数のボイスを入力することは可能ですが、論理的につじつまの合わない複数のボイス(たとえばクローズハイハットとオープンハイハットなど)が同じ位置に入力された場合、RY9は自動的にドラムパッドナンバーが大きい方のボイスを優先します。小さい方のボイスは発音されません。

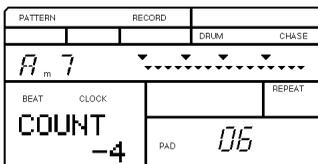


RY9は50パターン/ソングまでメモリーできるように設計されていますが、メモリー容量を越えて入力することはできません。したがって、メモリー使用量の多いパターン/ソングを入力すると、パターン/ソングに空きナンバーが多数あっても、録音できない場合があります。ご了承ください。

## リアルタイム録音

リアルタイム録音ではクリック音に合わせてドラムパッドをたたきながらボイスデータを入力していきます。パターンレコードモードで、PLAY(プレイ)ボタンを押すことにより、リアルタイム録音が始まります。

1. PLAY ボタンを押すと、クリック音のカウントが始まります。実際の録音の前に、1小節のカウントイン(-4、-3、-2、-1など)がLCDに表示されます。カウントの直後からリアルタイム録音がスタートします。



**NOTE** カウントの回数は、現在のメーターの設定によって異なります。

2. ドラムパッドをたたいて演奏します。データ表示セクションに入力されたデータが“ ”で表示されます。1小節が繰り返されますので、最初はバスドラム、次はスネアドラムなどのように1ボイスずつ録音していくとよいでしょう。



**NOTE** 録音中は現在のテンポに合わせてビートインディケーターが点滅します。MODE(モード)キーを押しながらTEMPO(テンポ)キー(パッド5)を押してテンポ表示に変え、最適なテンポを選ぶことができます。( P107)

3. STOP(ストップ)ボタンを押すと、録音が停止します。ポジションインディケーターが停止した位置で点滅します。もう一度PLAYボタンを押すと、再びカウントに続けて1小節の頭からリアルタイム録音が始まります。

**HINT** ここでステップ録音による入力方法を使えば、一度停止した位置や特定の位置から録音を再開することができます。

4. リアルタイム録音を終了したい場合は一度STOPボタンを押して録音を停止した後、REC(レコード)ボタンを押してください。パターンプレイモード(パターンの選択画面)に戻ります。

### オーディション機能

ステップ/リアルタイム録音中に、データを入力せずにそれぞれのドラムパッドにアサインされているボイスを聞いてみるすることができます。入力前に自分が録音したい音を確認できるのでたいへん便利です。

AUDITION(オーディション)キーを押しながらドラムパッドをたたきます。そのドラムパッドにアサインされているボイスを試し聞きすることができます。



**NOTE** データ入力されたポジションには“ ”が表示されます。選んだドラムパッドのボイスデータが入力されていない場合は、データ表示セクションにデータインディケーター“ ”は現れません。

**HINT** ステップ録音時(リアルタイム録音の停止中)は、いつでもFWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーでポジションを移動させ、クロック単位で入力されているボイスを発音させることができます。

## ボイスデータのデリート(削除)

録音中に誤って入力したデータや録音済みのパターンの中の不要なデータを簡単にデリートすることができます。ステップ、リアルタイムどちらの録音時にもデリートを実行できます。

ステップ / リアルタイム録音時に、デリートしたい位置で、DELETE(デリート)キーを押しながらデリートしたいボイスのドラムパッドを押します。押されたドラムパッドのボイスのデータインディケーター“ ”がデータ表示セクションから消えます。



**HINT** ステップ録音時にはもう一つ別のデリート方法があります。ステップ録音時(リアルタイム録音の停止中)に、まずAUDITION(オーディション)キーを押しながらデリートしたいドラムパッドを押して、データ表示セクションにそのドラムパッドの現在のボイスデータを表示させます。次にFWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーを使って、デリートしたいデータの位置までポジションを移動させ、DELETEキーを押しながらENTER(エンター)キーを押します。

## アクセント機能

ACCENT(アクセント)キーを使って、ドラムパッドでドラムボイスを録音するのと同じ要領で、アクセントデータを入力したりデリートしたりすることができます。

**NOTE** 録音にユーザードラムキットを使う場合は、好きなアクセントレベルを前もって設定することができます。(P95)

**NOTE** 演奏時もACCENTキーを押しながらドラムパッドをたたくと、そのドラムパッドの音にアクセントをつけることができます。(P68)

## アクセントの入力

ステップ / リアルタイム録音時に、アクセントをつけたいタイミングでACCENTキーを押します。入力されたアクセントデータがデータ表示セクションに“ ”で表示されます。また、LCDの左下のボイスネーム表示が“accnt”の表示に変わり、現在アクセントアサイン画面にいることを知らせます。アクセントアサイン画面から抜けるには、AUDITION(オーディション)キーを押しながらいずれかのドラムパッドを押します。(そのまま、ドラムパッドを押すと、不要なボイスデータが入力されてしまいます。)

**NOTE** アクセントアサイン画面ではデータ表示セクションの“ ”表示はアクセントデータの入力位置を示しています。ボイスデータと混同しないように気をつけてください。

## アクセントの確認

ステップ / リアルタイム録音時にAUDITIONキーを押しながらACCENTキーを押すことで(データ入力なしで)、アクセントアサイン画面を表示させることができますので、どのタイミングにアクセントデータが入っているのかをデータ表示セクション上で簡単に確認することができます。

## アクセントデータのデリート(削除)

録音中に誤って入力したアクセントデータや録音済みのパターンの中の不要なアクセントデータを簡単にデリートすることができます。ステップ、リアルタイムどちらの録音時にも有効です。

ステップ / リアルタイム録音時に、デリートしたい位置でDELETE(デリート)キーを押しながら、ACCENTキーを押します。押されたタイミングのデータインディケーター“ ”がデータ表示セクションから消えます。

**HINT** ステップ録音時には、もう一つ別のデリート方法があります。ステップ録音時(リアルタイム録音の停止中)に、まずAUDITIONキーを押しながらACCENTキーを押して、データ表示セクションに現在のアクセントデータを表示させます。次にFWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーを使って、デリートしたいデータの位置までポジションを移動させ、DELETEキーを押しながらENTER(エンター)キーを押します。

## バッキングのアサイン(割り当て)

完成したユーザーパターンには200種類のバッキングの中から好きなものをアサインすることができます。

1. レコードモードから抜け、1 ページ目の画面(パターンの選択画面)に戻ります。
2. [◀]カーソルキーを押して、バッキングネームにカーソルを合わせます。
3. [+1]/[-1]キーでバッキングパターンを選択します。

**HINT** [+1]キーを押して " BKOFF " を表示させることにより、バッキングを OFF にすることができます。

**NOTE** パターンナンバー 192 ~ 199 のパターンにはバッキング(ベース、コード)は含まれていません。

**NOTE** 録音中やコピー実行中に " MEMORY FULL " が表示されることがあります。詳細についてはP111の「LCDディスプレイメッセージ」をご覧ください。



録音中やクリア、コピーの実行中に電源を切ると、ユーザーデータのすべてが失われることがあります。

## 同時発音数について

RY9の最大同時発音数は28です。複雑な構成のパターンを作って、再生させながらパッドを演奏すると、同時発音数が28音を超え、音が途切れたり発音されなかったりする場合があります。

## データのバックアップ

大事なデータはヤマハMIDIデータファイラーMDF3などの外部機器に保存されることをおすすめします。

# ソングモード(SONG)

各モードへの入り方とモード内のページを開く操作をマスターしてからお読みください。( P68)

このモードにはさらにソングプレイモードとソングレコードモードがあります。

ソングプレイモード ----- ソングの選択 / 演奏に関するモードです

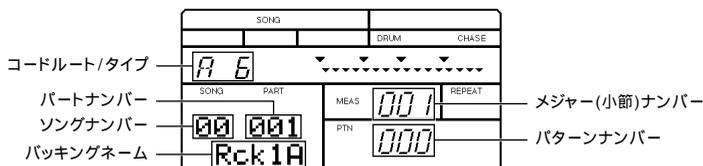
ソングプレイモードを選択しているときは、LCD の左上に小さく “ SONG ” が表示されます。

ソングレコードモード ----- ソングの録音 / 編集に関するモードです

ソングレコードモードを選択しているときは、LCD の左上に小さく “ SONG ” “ RECORD ” が表示されます。

## ソングプレイモード

ソングの選択 ..... 1 ページ目の画面



1. LCD の “ SONG ” 表示にカーソルが合っている(点滅している)ことを確認します。  
“ SONG ” 表示が点滅していない場合は、[ ◀ ]カーソルキーを 1、2 回押してカーソルを “ SONG ” に合わせてください。

**NOTE** この画面を表示させたときは、“ SONG ” 表示にカーソルが合っています。

2. [+1]キーまたは[-1]キーを押して演奏 / 録音したいソングナンバーを選びます。  
ソングナンバーを選ぶと、そのソングの 1 小節目のパターンナンバー、パッキングネーム、コードが表示されます。

選択できるナンバー :

00 ~ 49(50 タイプのさまざまなソングがプリセットされています。)

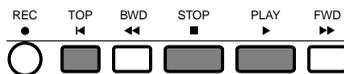
50 ~ 99(50 種類のオリジナルソングを録音するためのエリアです。何もデータが入っていないときはパターンナンバーとパッキングネームは “ --- ” で表示されます。)

DEMO(ソングナンバー 99 の次がデモソングです。)

**NOTE** ソングナンバーは演奏がストップしているときに、選択することができます。

## ソングの演奏 ..... 1 ページ目の画面

SONG		DRUM		CHASE
A 6		▼		
SONG	PART	MEAS	REPEAT	
00	001	001		
Rck1A		PTN	000	



1. PLAY(プレイ)キーを押すと、ソング演奏がスタートします。
2. STOP(ストップ)キーを押すと、ソング演奏がストップします。
3. PLAY キーをもう一度押すと、ソング演奏が停止した位置から始まります。
4. 演奏停止中に TOP(トップ)キーを押すと、ソングを先頭に戻すことができます。

**HINT** ソング演奏に合わせてドラムパッドによる演奏が楽しめます。

**NOTE** LCDの右上にはビート/ポジションインディケーターが表示され、現在のクロックポジションが点滅します。詳しくはP70をご覧ください。また、演奏中にはソングの進行に合わせてパート/メジャー(小節)ナンバー/コード表示が変化していきます。

### パート(小節)の指定

1. 演奏停止中に FWD(早送り)キーを押して特定のパートへ進めます。(または BWD(巻戻し)キーを押して、特定のパートまで戻します。)
2. PLAY キーを押すと、進めた(または戻した)小節から演奏をスタートすることができます。

**NOTE** BWD/FWD キーは、それぞれ押すごとに1小節ずつ戻したり進めたりすることができます。また、どちらのキーも押し続けると速く移動させることができます。

### バックングの変更

演奏中 / 停止中を問わず、リズムパターンを変えずにバックングだけを変更することができます。

SONG		DRUM		CHASE
A 6		▼		
SONG	PART	MEAS	REPEAT	
00	001	001		
Rck2A		PTN	004	

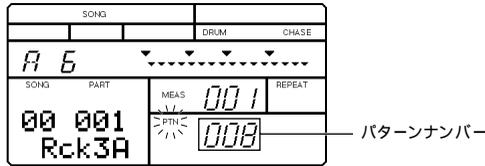
1. [◀]/[▶]カーソルキーを押して、バックングネームにカーソルを合わせます。
2. [+1]/[-1]キーで別のバックングを選択します。  
次の小節の先頭から選んだバックングの演奏に変わります。

**HINT** [+1]キーを押し続けて「BKOFF」(バックングオフ)を表示させることにより、バックングを一度にオフにすることができます。リズムだけを鳴らしたい場合に便利です。また、バックングの構成音(コード1、コード2、ベース)を個別にミュート(消音)することもできます。( P108)

**NOTE** パターンナンバー 192 ~ 199 のパターンにはバックング(ベース、コード)は含まれていません。

## パターンの変更

演奏中 / 停止中を問わず、パターンを変更することができます。



1. [◀]/[▶]カーソルキーを押して、“PTN”(パターン)にカーソルを合わせます。

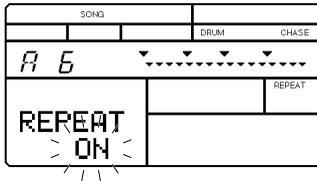
2. [+1]/[-1]キーで別のパターンナンバーを選択します。

次の小節の先頭から選んだパターンの演奏に変わります。

**NOTE** ソングプレイモードでのパターン / バックキングの変更はあくまでも一時的なものです。TOP(トップ)キーでソングの先頭に戻したり、BWD(巻戻し)/FWD(早送り)キーでパートを指定した時点で両方とも元の設定に戻ります。一度ソングモードを抜けてからもう一度ソングモードへ入った場合も同様です。

**HINT** ソング演奏時のパターンとバックキングの組み合わせを一時的にではなく完全に変えてしまいたいときは、まず、そのパターンをパターンモードでユーザーパターンにコピーし、好きなバックキングをアサインします。でき上がったパターン / バックキングを使ってソングを録音します。

## リピートの設定 ..... 2 ページ目の画面



リピートは、現在選ばれているソングを繰り返し演奏する機能です。

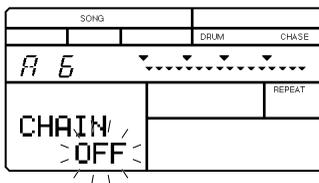
1. リピート機能のページを選ぶと、LCDに“ REPEAT ”が表示されます。また、その下で“ ON ”または“ OFF ”が点滅します。
2. [+1]キーを押すと、リピートがON(オン)になります。
3. [-1]キーを押すと、リピートがOFF(オフ)になります。

設定値：ON(リピート機能オン)、OFF(リピート機能オフ)

**NOTE** リピートがオンに設定されているときは、LCD右に“ REPEAT ”が小さく表示されます。

**NOTE** リピートをオンに設定すると、どのソングに対してもリピートが有効になります。

## チェーンの設定 ..... 3 ページ目の画面



チェーンは、複数のユーザーソングを順番に連続して演奏する機能です。選択されたユーザーソングから演奏を開始し、最後のユーザーソングを演奏した後にストップします。もし、演奏している途中でデータが入っていないソングがあった場合は、そこで演奏を終了します。

1. チェーン機能のページを選ぶと、LCDに“CHAIN”が表示されます。また、その下で“ON”または“OFF”が点滅します。
2. [+1]キーを押すと、チェーンがON(オン)になります。
3. [-1]キーを押すと、チェーンがOFF(オフ)になります。

設定値：ON(チェーン機能オン)、OFF(チェーン機能オフ)

**NOTE** チェーンがオンに設定されているときは、LCD右に“CHAIN”が小さく表示されます。

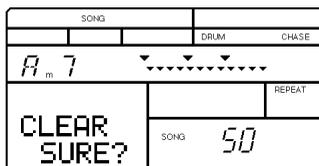
### チェーンとリピート

チェーンとリピートを合わせて使用することができます。この場合、どのユーザーソングから演奏を開始しても、最後のユーザーソングを演奏すると、最初のユーザーソングに戻って繰り返し演奏が続きます。

## ソングのクリア ..... 4 ページ目の画面

(このページはソング演奏がストップしているときに選ぶことができます。)

不要なユーザーソング(50～99)をソングごとにクリア(消去)することができます。



1. ソングクリアのページを選ぶと、LCDに“CLEAR SURE? (クリアしますか?)”が表示されます。
2. [+1]/[-1]キーでクリアしたいユーザーソングナンバーを設定します。
3. ENTER(エンター)キーを押すとクリアが実行され、ソングナンバーの右側に“EMPTY (空)”が表示されます。(MODE(モード)キーを押しながらPAGE-(ページ-)キーを押してソングクリアから抜けます。)

**NOTE** プリセットソング(00～49)を選んでENTERキーを押しても一瞬“PRESET”が表示されるだけで、クリアは実行されません。正しいナンバー(50～99)を選んでもう一度実行してください。

## ソングのコピー ..... 5 ページ目の画面

( このページはソング演奏がストップしているときに選ぶことができます。)

プリセットソングや録音済みのユーザーソングをユーザーソング(50 ~ 99)へそのままコピーすることができます。あるソングと少しだけ構成が異なるソングを作りたい場合など、まずそのソングをコピーし、少し変更を加えるだけで簡単に新しいソングを作ることができ、便利です。

SONG			
		DRUM	CHASE
R <sub>m</sub> 7		▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼	
COPY SURE?		REPEAT	
	SONG	50	

1. まず、このコピー機能の画面を選ぶ前に、1 ページ目の画面(ソングの選択画面)でコピーしたいソング(コピー元)を選びます。
2. 次にこのページを選びます。LCDに“COPY SURE? (コピーしますか?)”が表示され、右側のソングナンバーが50になります。
3. [+1]/[-1]キーでコピー先となるユーザーソングナンバー(50 ~ 99)を設定します。
4. ENTER(エンター)キーを押すとコピーが実行されます。(MODE(モード)キーを押しながら PAGE-(ページ-)キーを押してソングコピーから抜けます。)

---

**NOTE** コピー元ソングの初期テンポもコピーされます。

---



コピーを実行すると、コピー先のソングのデータはすべて書き替えられてしまいます。大事なオリジナルソングを誤って消してしまわないよう注意しましょう。

---

**HINT** コピーを実行しようとするとき“MEMORY FULL”が表示されることがあります。詳細についてはP111の「LCDディスプレイメッセージ」をご覧ください。

---

## ソングレコードモード

RY9 では、ソングナンバー 50 ~ 99 を使ってオリジナルソングを 50 個まで録音することができます。ソングにはパターン(バックングを含む)とコード(和音)を録音するための2つの録音トラックが用意されています。パターントラックにはプリセット / ユーザーパターンの中から必要なものを順番に録音します。また、コードトラックでは、曲の進行に合わせてコードチェンジをアサイン(割り当て)します。

ソングの録音方法には次の 2 通りがあります。

- ステップ録音： パターンを 1 パート(1 小節)ずつプログラムしていく方法です。また、コードアサイン機能を使ってコードチェンジをクロック単位で細かく入力していくことができます。
- リアルタイム録音： クリック音に合わせて実際に演奏しながら、パターンを録音していく方法です。

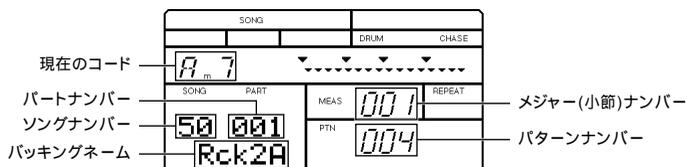
**NOTE** プリセットソングと似かよったソングを作りたい場合は、そのプリセットソングをコピーして編集(録音)すると早く手軽に作ることができます。

### 録音の準備(ソングレコードモードに入る)

1. ソングの選択画面でソングナンバー 50 ~ 99 の中から録音したいナンバーを選びます。

**NOTE** まだデータの入っていない(録音されていない)ソングナンバーのパターンナンバーやバックングネームには “ --- ” が表示されます。

2. REC(レコード)キーを押すと、LCD の表示が次のように変わります。



この状態をソングレコードモードと呼び、ステップ録音もリアルタイム録音もこの状態から始めます。ソングレコードモードではいつも LCD の左上に “ SONG ” “ RECORD ” が小さく表示されます。

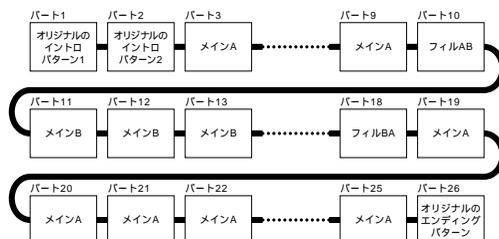
**NOTE** REC キーを押して、LCD 上に “ PRESET ” が表示される場合は、現在プリセットソングが選ばれていることを示します。プリセットソングには録音することはできません。ソングの録音をする場合はユーザーソング(50 ~ 99)を選んでください。

**NOTE** もう一度 REC キーを押すとソングレコードモードを抜けてソングプレイモード(ソングの選択画面)に戻ります。

## ソング構成例

50種類のプリセットパターンはそれぞれ4つのセクションを持っていますので、うまくつなぎ合わせるだけでスムーズなソングを構成することができます。また、イントロやエンディングのパターンをオリジナルパターンとして録音しておき、ソング構成にうまく組み込むなど(下図参照)、いろいろなアイデアでソング作りをお楽しみください。

**NOTE** セクションについてはP69をご覧ください。



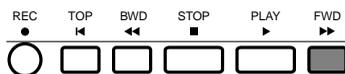
## ステップ録音

ソングレコードモードではいつでもステップ録音を開始できます。LCDを見ながら、1パートずつパターンを選んで入力していきます。

1. [+1]/[-1]キーを使ってパターンを選びます。



2. FWD(早送り)キーを押して、次のパターン入力位置に進めます。



3. 上記1と2の操作を繰り返して、ソングを完成させます。

**NOTE** パターンが入力されたパートのLCDの右上には、ビート/ポジションインディケータが表示されます。

**HINT** ENTER(エンター)キーで入力すると、パートが自動的に1つ先へ進み、次のパターンの入力待ちの状態になります。連続して同じパターンを入力していく場合は、続けてENTERキーを押してください。パターンを選ばなくてもENTERキーを押すだけで、同じパターンを次のパートにも入力することができます。

4. ステップ録音を終了したい場合はREC(レコード)キーを押してください。ソングプレイモード(ソングの選択画面)に戻ります。

**NOTE** 録音中はコードチェンジのアサイン( P89)やパターンのデリート( P88)/インサート( P88)などを行うこともできます。

### 途中で入力するパターンを間違えた場合(パターンの変更)

ステップ録音の途中で、一度入力したパターンを別のパターンに変更したい場合、BWD(巻戻し)キー、FWD(早送り)キーを使って変更したいパートまで移動し、[+1]/[-1]キーで別のパターンを選び直すだけで簡単にパターンを変更することができます。また、TOP(トップ)キーはソングの先頭へ戻るときに使用します。

この方法は完全に録音を終了した後も、ソングレコードモードに入ればいつでも使用することができます。一度作ったソングのアレンジを変える場合にも便利です。

## リアルタイム録音

リアルタイム録音では、クリック音に合わせてパターンを選びながら入力していきます。

ソングレコードモードで最初のパターンを選んだ後、PLAY(プレイ)キーを押すことにより、リアルタイム録音が始まります。

**NOTE** RY9ではソングのリアルタイム録音にリプレース方式を採用しています。リアルタイム録音を開始すると、そのソングの元のデータは新しいデータに書き替えられます。

1. PLAY(プレイ)キーを押すと、クリック音のカウントが始まります。実際に録音が始まる前に、1小節のカウントイン(-4、-3、-2、-1など)が入ります。カウントの直後からリアルタイム録音がスタートします。

SONG		RECORD	
		DRUM	CHASE
R <sub>m</sub> 7		▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼	
SONG	PART	MEAS	REPEAT
COUNT		001	
-4		PTN	004

**NOTE** カウントの回数は、現在選ばれているパターンのメーターの設定によって異なります。

2. [+1]/[-1]キーを使って次のパートに入力したいパターンを選びます。
3. [+1]/[-1]キーでパターンを切り替え、タイミングを合わせてパターン演奏しながら録音していきます。

**NOTE** 現在演奏しているパターンが終わるまでは、新たに選択したパターンの演奏は始まりません。LCDには“NEXT”が表示され、次のパターンが待機中であることを示します。現在演奏しているパターンが終わると、パターンナンバーとバックアップネームの表示が変わり、次のパターンの演奏が始まります。

**NOTE** 録音中は現在のテンポに合わせてビートインディケーターが点滅します。MODE(モード)キーを押しながらTEMPO(パッド5)を押してテンポ表示に変え、最適なテンポを選ぶことができます。( P107)

4. STOP(ストップ)キーを押すと、録音が停止します。ポジションインディケーターが、停止した小節の先頭で点滅します。もう一度PLAYキーを押すと、再びカウントに続けて、停止した小節の先頭からリアルタイム録音が始まります。

**HINT** ステップ録音による入力方法を使って、誤って入力したパートのパターンを変更することができます。

5. リアルタイム録音を終了したい場合は、一度STOPキーを押して録音を停止した後、REC(レコード)キーを押してください。ソングプレイモード(ソングの選択画面)に戻ります。

## パターンのデリート(削除)

録音中に誤って入力したパターンや録音済みのソングの中の不要なパターンをパート(1小節)単位で簡単にデリートすることができます。

1. ステップ録音時(リアルタイム録音の停止時)に、MODE(モード)キーを押しながら PAGE+(ページ+)キーを1回押すと、LCDの左上に“DEL”(Delete:デリート)が小さく表示され、左下に“SURE?”(実行しますか?)が表示されます。

SONG		RECORD	
DEL		DRUM	CHASE
A <sub>m</sub>	7	▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼	
SONG	PART	MEAS	REPEAT
50	014	014	
SURE?		PTN	004

2. FWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーを使ってデリートしたいパートを選択します。
3. ENTER(エンター)キーを押すと、デリートが実行されます。デリートされた位置まで1パートずつ前方にずれて、ソング全体の長さが1パート分(1小節)短くなります。

**NOTE** ENTERキーを押しても、そのパートにパターンがない場合は、LCDに“PART EMPTY”(パートが空です)が表示され、デリートできません。  
LCDの右上にビート/ポジションインディケータが表示されないパートにはパターンが入力されていません。パートを選択するときによく確認してください。

4. 続けて別のパターンをデリートしたい場合は、2、3の操作を繰り返してください。
5. MODEキーを押しながら PAGE- キーを押すと、ソングレコードモードに戻ります。

**NOTE** パターントラックとコードトラックはそれぞれ独立しています。したがって、パターンがデリートされて1パートずつずれても、コードは元のまま変わりません。ソングの構成をよく考えてデリートを実行してください。なお、コードをパート単位でデリートすることもできます(P90)。

## パターンのインサート(挿入)

録音中や録音済みのソングの途中で新しいパターンを簡単にインサートすることができます。ソングの録音中だけでなく、ソングの構成を変えたりする場合にも、デリートと合わせて使える、便利な機能です。

1. ステップ録音時(リアルタイム録音の停止時)に、MODE(モード)キーを押しながら PAGE+(ページ+)キーを2回押すと、LCDの左上に“INS”(Insert:インサート)が小さく表示され、左下に“SURE?”(実行しますか?)が表示されます。

SONG		RECORD	
INS		DRUM	CHASE
A <sub>m</sub>	7	▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼	
SONG	PART	MEAS	REPEAT
50	012	012	
SURE?		PTN	004

2. FWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーを使ってインサートしたいパート位置を選択します。(新しくインサートするパターンは、選択したパートの直前に入ります。)
3. [+1]/[-1]キーを使ってインサートしたいパターンを選択します。
4. ENTER(エンター)キーを押すと、インサートが実行されます。インサートされた位置から1パートずつ後方にずれて、ソング全体の長さが1パート分(1小節)長くなります。
5. 続けて別のパターンをインサートしたい場合は、2、3、4の操作を繰り返してください。
6. MODEキーを押しながら PAGE- キーを2回押すと、ソングレコードモードに戻ります。

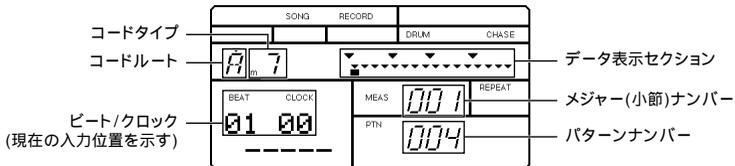
**NOTE** パターントラックとコードトラックはそれぞれ独立しています。したがって、パターンがインサートされて1パートずつずれても、コードは元のまま変わりません。ソングの構成をよく考えてインサートを実行してください。なお、コードをパート単位でインサートすることもできます(P91)。

## コードチェンジのアサイン

コードチェンジは、コードアサイン画面上で各パターンのクロック単位でアサインすることができます。パターントラックとは別に用意されたコードトラックに入力されます。

**NOTE** 各パターンに設定されたクオンタイズによってコードチェンジデータのクロック(入力位置)数が決まります。

1. ステップ録音時(リアルタイム録音の停止時)にCHORD(コード)キーを押すと、マークがコードのルート表示上で点滅し始めます。また、データ入力位置を示すポジションインディケータがデータ表示セクションで点滅します。



2. FWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーを使ってコードチェンジを入力したい小節を選択します。選んだ小節の先頭でポジションインディケータが点滅し、入力待ちの状態となります。  
[◀]/[▶]カーソルキーでカーソルをビート/クロック表示に合わせ(点滅させ)、[+1]/[-1]キーでポジションインディケータを移動し、クロック単位で入力ポジションを選ぶこともできます。
3. [◀]キーを1,2回押して、マークをコードのルート表示上に戻し、[+1]/[-1]キーでコードのルート(根音)を指定します。ルート/タイプ表示が点滅状態になります。
4. [▶]キーで マークをコードのタイプ表示上に合わせ、[+1]/[-1]キーでコードのタイプを選択します。

**NOTE** コードタイプは24種類用意されています。詳しくはP72の「コードタイプリスト」をご覧ください。

5. ENTER(エンター)キーを押すと、現在の小節の選択したポジションにコードチェンジデータが入力され、データ表示セクションに“ ”が表示されます。また、LCDの左下に“ CHORD ”が表示されます。

ビートインディケータは、1小節を4音符単位で分割して表示します。



**NOTE** ENTER キーを押しても、そのパートにパターンがない場合は、LCDに“ PART EMPTY”(パートが空です)が表示され、入力できません。  
LCDの右上にビート/ポジションインディケータが表示されないパートにはパターンが入力されていません。ポジションを選択するときによく確認してください。

6. 同じように2～5の操作を繰り返し、コードを変更したいポジションで次々に入力していきます。
7. もう一度CHORD キーを押すと、コードアサイン画面から抜けシングルレコードモードに戻ります。

### クロック単位のコードのデリート(削除)

録音中に誤って入力したコードチェンジデータや録音済みのソングの中の不要なコードチェンジデータをクロック単位で簡単にデリートすることができます。

1. ソングレコードモードのコードアサイン画面で、まずFWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーを使って、デリートしたいデータのある小節を選びます。
2. [◀]/[▶]カーソルキーでカーソルをビート/クロック表示に合わせ、[+1]/[-1]キーでデリートしたいコードデータの位置を選びます。
3. DELETE(デリート)キーを押しながらENTERキーを押します。入力されているコードチェンジデータをクロック単位でデリートすることができます。

### パート単位のコードのデリート(削除)

録音中に誤って入力したコードチェンジデータや録音済みのソングの中の不要なコードチェンジデータをパート(1小節)単位で簡単にデリートすることができます。

1. ソングレコードモードのコードアサイン画面で、MODE(モード)キーを押しながらPAGE+(ページ+)キーを1回押すと、LCDの左上に“DEL”が小さく表示され、左下に“SURE? (実行しますか?)”が表示されます。

SONG		RECORD			
DEL				DRUM	CHASE
R <sub>m</sub> 7		▼			
BEAT	CLOCK	MEAS	001	REPEAT	
01	00	PTN	004		
SURE?					

2. FWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーを使ってデリートしたいデータが入力されているパートを選択します。
3. ENTER(エンター)キーを押すと、デリートが実行されます。デリートされた位置まで1パートずつコードチェンジデータが前方にずれます。
4. 続けて別のコードチェンジをデリートしたい場合は、2、3の操作を繰り返してください。
5. MODE キーを押しながら PAGE- キーを押すと、コードアサイン画面に戻ります。

**NOTE** コードトラックとパターントラックはそれぞれ独立しています。したがって、コードチェンジデータがデリートされて1パートずつずれても、パターンは元のまま変わりません。ソングの構成をよく考えてデリートを実行してください。なお、パターンをパート単位でデリートすることもできます( P88)。

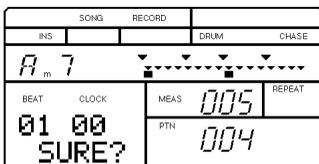


RY9は50パターン/ソングまでメモリーできるように設計されていますが、メモリー容量を越えて入力することはできません。したがって、メモリー使用量の多いパターン/ソングを入力すると、パターン/ソングに空きナンバーが多数あっても、録音できない場合があります。ご了承ください。

## コードのインサート(挿入)

録音中や録音済みのソングの途中で新しいコードをパート単位で簡単にインサートすることができます。ソングのコード進行やアレンジを変えたりする場合にも、デリートと合わせて使いたいへん便利な機能です。

1. ソングレコードモードのコードアサイン画面で、MODE(モード)キーを押しながらPAGE+(ページ+)キーを2回押すと、LCDの左上に“INS”が小さく表示され、左下に“SURE?”(実行しますか?)が表示されます。



2. FWD(早送り)キー、BWD(巻戻し)キーを使ってインサートしたいパート位置を選択します。(新しくインサートされるコードは、選択したパートの直前に入ります。)
3. ENTER(エンター)キーを押すと、インサートが実行されます。インサートされた位置から1パートずつコードチェンジデータが後方にずれて、インサート直前までアサインされていた最後のパートのコードは無効になります。
4. 続けて別のコードをインサートしたい場合は、2、3の操作を繰り返してください。
5. MODE キーを押しながら PAGE-(ページ-)キーを2回押すと、コードアサイン画面に戻ります。

**NOTE** コードトラックとパターントラックはそれぞれ独立しています。したがって、コードチェンジデータがインサートされて1パートずつずれても、パターンは元のまま変わりません。ソングの構成をよく考えてインサートを実行してください。なお、パターンをパート単位でインサートすることもできます( P88)。

## バックングの変更について

ユーザーソングを構成しているさまざまなパターンは、バックングと組み合わせられた状態でアサインされており、バックングだけを変更することはできません。もし、完成したユーザーソングのあるパターンとバックングの組み合わせを変えてしまいたいときは、まず、そのパターンをパターンモードでユーザーパターンにコピーし、変更したいバックングをアサインします。

## 同時発音数について

RY9の最大同時発音数は28です。複雑な構成のパターンを使ったソングを再生させながらドラムパッドをたたいて演奏すると、同時発音数が28音を超え、音が途切れたり発音されなかったりする場合があります。

## データのバックアップ

大事なデータはヤマハMIDIデータファイラー-MDF3などの外部機器に保存されることをおすすめします。

**NOTE** 録音中やコピー実行中に“MEMORY FULL”が表示されることがあります。詳細についてはP111の「LCDディスプレイメッセージ」をご覧ください。



録音中やクリア、コピーの実行中に電源を切ると、ユーザーデータのすべてが失われることがあります。

# ドラムキットモード(KIT)

各モードへの入り方とモード内のページを選ぶ操作をマスターしてからお読みください。( P68)  
ドラムキットモードを選択しているときは、LCDの右上に小さく“KIT”が表示されます。

このモードはドラムキットに関するさまざまな機能もっています。ドラムキットはプリセットドラムキットがジャンル別に12グループ、オリジナル用のユーザーキットが別に4グループ用意されています。

**NOTE** ドラムパッドの演奏についてはP68をご覧ください。

## ユーザードラムキットについて

RY9には128種類のさまざまなドラム/パーカッションボイスがありますが、それぞれのボイスは4つのユーザードラムキットごとに各ドラムパッドに自由にアサインして、パターンの演奏や録音に使うことができます。それぞれのドラムパッドにはボリュームレベルやアクセントレベル、ステレオパン、チューンを設定することができます。

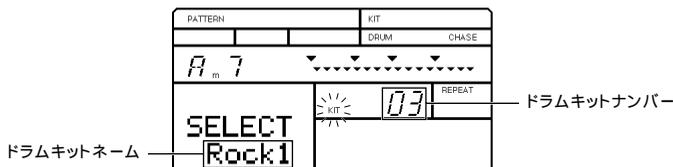
**NOTE** 設定を変更しようとしたときに、LCD上に“PRESET”が表示される場合は、現在プリセットドラムキットが選ばれていることを示しています。プリセットドラムキットでは、(ドラムパッドを押して、各ドラムボイスの確認はできません。)ドラムボイスを変更することはできません。設定を変更したい場合は、1ページ目の画面(ドラムキット選択画面)でユーザードラムキットを選んでください。

オリジナルのドラムキットを作るには、このモードの1ページ目の画面でユーザードラムキットを選択し、2ページ目の画面でドラムボイスを各ドラムパッドにアサインし、続けて3ページ目から6ページ目までの画面で必要なエディット操作を行います。

**TIP** 7ページ目のコピー機能を使って、プリセットドラムキットをユーザードラムキットにコピーし、それをエディットして新しいドラムキットを作ることもできます。

## ドラムキットの選択 ..... 1 ページ目の画面

RY9では16グループのドラムキットの中から好きなものを選ぶことで、ドラムパッドで演奏/録音できるドラムボイスを切り替えることができます。オリジナルのドラムキットを作る場合は、ここでユーザードラムキット(12 ~ 15)を選択します。



1. ドラムキット選択のページを選ぶと、LCDの左側に“SELECT”(セレクト)が表示され、その下に現在選択されているドラムキットネームが表示されます。また、右側に“KIT”が小さく点滅し、その隣に現在選択されているドラムキットナンバーが表示されます。

**NOTE** 現在選ばれているドラムキットは、どのパターンが選ばれているかによって決まります。各プリセットパターンはそれぞれ特定のドラムキットを使って作られています。

- [+1]/[-1]キーを押してドラムキット(00 ~ 15)を選択します。ドラムパッドをたたいて、選んだドラムキットのドラムパッドにアサインされているドラムボイスを確認することができます。

ドラムキット :

00 ~ 11(プリセットドラムキット)、12 ~ 15(ユーザードラムキット)

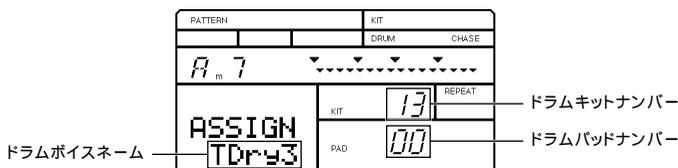
16グループのさまざまなドラムキットが用意されています。詳しくはP116の「ドラムキットリスト」をご覧ください。

**NOTE** 工場出荷時にはユーザードラムキット12 ~ 15は、それぞれプリセットドラムキットの00 ~ 03と同じボイスアサインになっています。

## ドラムボイスのアサイン(割り当て) ..... 2 ページ目の画面

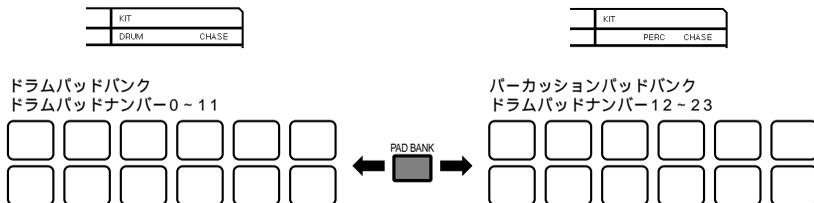
ここではドラムボイスを各ドラムパッドへアサインすることができます。ここでアサインしたドラムボイスのセットがユーザードラムキットのひとつになります。

ここでドラムボイスのアサインをするためには、このページを選ぶ前に、1 ページ目の画面(ドラムキット選択画面)でユーザードラムキット(12 ~ 15)を選んでおく必要があります。



- ドラムボイスアサインのページを選ぶと、LCDの左側に“ASSIGN”(アサイン)が表示され、その下に現在選ばれているドラムパッドにアサインされているボイス名前が点滅します。また、右側には現在選択されているドラムキットナンバーとドラムパッドナンバーが表示されます。
- ドラムパッドを押して、ドラムボイスをアサインしたいドラムパッドを選択します。LCDに選んだドラムパッドのナンバーと現在のドラムボイス名前が表示されます。

PAD BANK(パッドバンク)キーを押すと、ドラムパッドバンク(ドラムパッドナンバー00 ~ 11)とパークッションパッドバンク(ドラムパッドナンバー12 ~ 23)を切り替えることができます。LCDの右上に表示される“DRUM”または“PERC”でどちらのバンクを選んでいるのかを確認できます。



- [+1]/[-1]キーを押して、ドラムボイスを設定します。ドラムパッドをたたきながら好きな音を選んでください。

ドラムボイス：

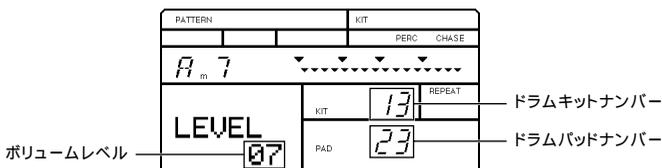
128種類さまざまなドラムボイスが用意されています。詳しくは、P114の「ドラムボイスリスト」をご覧ください。

- 同じように手順2、3の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んでドラムボイスをアサインしていきます。

### ボリュームレベルの設定 ..... 3 ページ目の画面

ここでは各ユーザードラムキットのドラムパッドごとにボリュームレベルを設定することができます。各ボイスの音量バランスを取ることができます。

ここでボリュームレベルの設定をするためには、このページを選ぶ前に、1ページ目の画面(ドラムキット選択画面)でユーザードラムキット(12 ~ 15)を選んでおく必要があります。



- ボリュームレベル設定のページを選ぶと、LCDの左側に「LEVEL (レベル)」が表示され、その下に現在選択されているドラムパッドに設定されているボリュームレベルが点滅します。また、右側には現在選択されているドラムキットナンバーとドラムパッドナンバーが表示されます。
- ドラムパッドを押して、ボリュームレベルを設定したいドラムパッドを選択します。LCDには選んだドラムパッドナンバーと現在のボリュームレベルが表示されます。

**NOTE** ドラムパッドはPAD BANK(パッドバンク)キーによるドラムバンク切り替えによって、24個(ドラムバンク：00 ~ 11、パーカッションバンク：12 ~ 23)の中から好きなものを選びます。

- [+1]/[-1]キーを押してボリュームレベルを設定します。ドラムパッドをたたきながら好みのボリュームレベルに合わせてください。

設定値：01 ~ 16

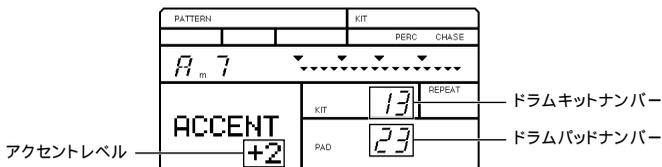
- 同じように手順2、3の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んでボリュームレベルを設定していきます。

**NOTE** 各ドラムパッドの音量はボリュームレベル+アクセントレベル 最大値16となります。したがって、ボリュームレベルが最大値の「16」に設定してある場合は、それ以上アクセントを強くつけることはできません。

## アクセントレベルの設定 ..... 4 ページ目の画面

ここでは各ユーザードラムキットのドラムパッドごとにアクセントレベルを設定することができます。ここで設定したアクセントレベルがパターン演奏 / 録音時に有効となります。

ここでアクセントレベルの設定をするためには、このページを選ぶ前に、1 ページ目の画面(ドラムキット選択画面)でユーザードラムキット(12 ~ 15)を選んでおく必要があります。



1. アクセントレベル設定のページを選ぶと、LCD の左側に " ACCENT " (アクセント)が表示され、その下に現在選択されているドラムパッドに設定されているアクセントレベルが点滅します。また、右側には現在選択されているドラムキットナンバーとドラムパッドナンバーが表示されます。
2. ドラムパッドを押して、アクセントレベルを設定したいドラムパッドを選択します。LCDには選んだドラムパッドナンバーと現在のアクセントレベルが表示されます。

**NOTE** ドラムパッドは PAD BANK (パッドバンク)キーによるドラムバンク切り替えによって、24 個(ドラムバンク : 00 ~ 11、パーカッションバンク : 12 ~ 23)の中から好きなものを選べます。

3. [+1]/[-1]キーを押してアクセントレベルを設定します。ACCENT キーを押しながらドラムパッドをたたくと、そのドラムパッドのボイスをアクセントがついた音量で確認できます。

設定値 : -7 ~ 0 (ボリュームレベル値の音量) ~ +7

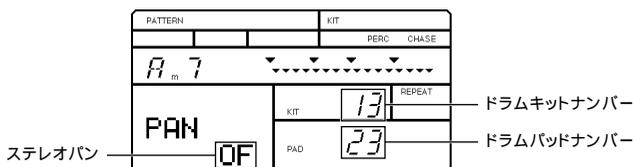
**NOTE** 各ドラムパッドの音量はボリュームレベル+アクセントレベル 最大値 16 となります。したがって、ボリュームレベルが最大値の " 16 " に設定してある場合は、アクセントレベルを +1 以上に設定しても効果はありません。

4. 同じように手順 2、3 の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んでアクセントレベルを設定していきます。

## ステレオパンの設定 ..... 5 ページ目の画面

ここでは各ユーザードラムキットのドラムパッドごとにステレオパン(音の定位)を設定することができます。ここでステレオパンを設定することにより、RY9 のサウンドをステレオ出力する場合、各ボイスが左右のどの辺から鳴るようにするかを決めることができます。

ここでステレオパンの設定をするためには、このページを選ぶ前に、1 ページ目の画面(ドラムキット選択画面)でユーザードラムキット(12 ~ 15)を選んでおく必要があります。



1. ステレオパン設定のページを選ぶと、LCD の左側に " PAN " (パン)が表示され、その下に現在選択されているドラムパッドに設定されているステレオパンの値が点滅します。また、右側には現在選択されているドラムキットナンバーとドラムパッドナンバーが表示されます。

2. ドラムパッドを押して、ステレオパンを設定したいドラムパッドを選択します。LCDには選んだドラムパッドナンバーと現在のステレオパンの値が表示されます。

**NOTE** ドラムパッドはPAD BANK(パッドバンク)キーによるドラムバンク切り替えによって、24個(ドラムバンク：00～11、パーカッションバンク：12～23)の中から好きなものを選びます。

3. [+1]/[-1]キーを押してステレオパンの値を設定します。ドラムパッドをたたきながらボイスのステレオパンの位置を確認することができます。

設定値：-7(最も左)～0(中央)～+7(最も右)、OF(初期値)

**NOTE** OF(オフ)を選択すると各ボイスごとの初期設定値に戻すことができます。

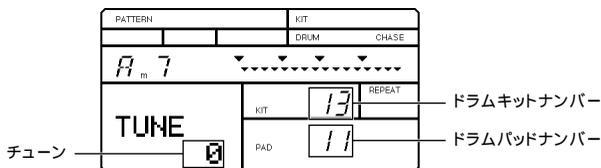
**NOTE** ステレオパンによる音の定位を確認するには、RY9をステレオ出力で接続するか、ヘッドフォンを使用してください。モノラル出力では効果はありません。

4. 同じように手順2、3の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んでステレオパンを設定していきます。

## チューンの設定 ..... 6 ページ目の画面

ここでは各ユーザードラムキットのドラムパッドごとにチューニングすることができます。チューンを設定することにより、各ボイスの響きに変化をつけることができます。

ここでチューンの設定をするためには、このページを選ぶ前に、1ページ目の画面(ドラムキット選択画面)でユーザードラムキット(12～15)を選んでおく必要があります。



1. チューン設定のページを選ぶと、LCDの左側に「TUNE (チューン)」が表示され、その下に現在選択されているドラムパッドに設定されているチューンの値が点滅します。また、右側には現在選択されているドラムキットナンバーとドラムパッドナンバーが表示されます。
2. ドラムパッドを押して、チューンを設定したいドラムパッドを選択します。LCDには選んだドラムパッドナンバーと現在のチューンの値が表示されます。

**NOTE** ドラムパッドはPAD BANK(パッドバンク)キーによるドラムバンク切り替えによって、24個(ドラムバンク：00～11、パーカッションバンク：12～23)の中から好きなものを選びます。

3. [+1]/[-1]キーを押してチューンの値を設定します。ドラムパッドをたたきながらボイスの音程の変化を確認することができます。

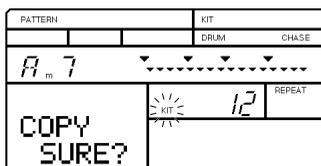
設定値：-7(最も低い)～0(標準)～+7(最も高い)

**NOTE** ボイスによってはチューンの効果があまり感じられないものもあります。

4. 同じように手順2、3の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んでチューンを設定していきます。

## ドラムキットのコピー ..... 7 ページ目の画面

プリセットドラムキットや既存のユーザードラムキットをユーザードラムキット(12~15)へそのままコピーすることができます。あるドラムキットを基に別のドラムキットを作りたい場合など、まずそのドラムキットをコピーし、変更を加えるだけで簡単に新しいドラムキットを作ることができ、便利です。



1. まず、このコピー機能の画面を選ぶ前に、1 ページ目の画面(ドラムキット選択画面)でコピーしたいドラムキット(コピー元)を選びます。
2. 次にこのページを選びます。LCDに“COPY SURE? (コピーしますか?)”が表示されます。また、右側に“KIT”が小さく点滅し、その隣にユーザードラムキットナンバー(12 ~ 15)が表示されます。
3. [+1]/[-1]キーでコピー先となるユーザードラムキットナンバー(12 ~ 15)を設定します。
4. ENTER(エンター)キーを押すとコピーが実行されます。

**NOTE** コピー元ドラムキットのアサイン、レベル、アクセント、ステレオパン、チューンがコピーされます。

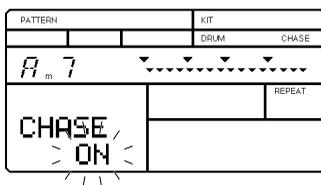


コピーを実行すると、コピー先のドラムキットのデータはすべて書き替えられてしまいます。大事なオリジナルドラムキットを誤って消してしまわないよう注意しましょう。

## チェイスの設定 ..... 8 ページ目の画面

パターンを、現在選ばれているドラムキットで演奏するか、録音したときに使用したドラムキットで演奏するかを選択します。チェイス機能をオンにすると、パターンが録音したドラムキットで演奏されます。オフの場合は、パターンが現在選ばれているドラムキットで演奏されます。

**NOTE** チェイスの設定はすべてのパターンに共通して機能します。



1. チェイス機能のページを選ぶと、LCDに“CHASE (チェイス)”が表示されます。また、その下に“ON”または“OFF”が点滅します。
2. [+1]キーを押すと、チェイスがON(オン)になります。  
[-1]キーを押すと、チェイスがOFF(オフ)になります。

設定値：ON(チェイス機能オン)、OFF(チェイス機能オフ)

**NOTE** 工場出荷時はチェイス機能はオンになっています。

**NOTE** チェイス機能がオンになっているときは、LCD右上に“CHASE”と小さく表示されます。

# エクスターナルインモード(EXT IN)

各モードへの入り方とモード内のページを選ぶ操作をマスターしてからお読みください。( P68 )  
エクスターナルインモードを選択しているときは、LCDの右上に小さく“EXT IN”が表示されます。

RY9のEXT IN端子にエレクトリックギターを接続すると、RY9のパターンやソングに合わせてギターを演奏したり、ギターシンセサイザー機能を使って、多彩なノーマルボイスを演奏することができます。その他便利なギターチューナー機能やリモートスタート機能も備えています。

## ギターシンセサイザー機能について

RY9ではEXT IN端子に接続されたエレクトリックギター(ベースギターは除く)の信号によって、50種類のエクスターナルインボイス(ピアノやストリングス、オルガンなど)を演奏することができます。また、シングル、オクターブ、ハーモニー1/2/3、コードといった演奏タイプにより、さまざまな演奏効果を楽しむことができます。この機能をギターシンセサイザー機能と呼びます。

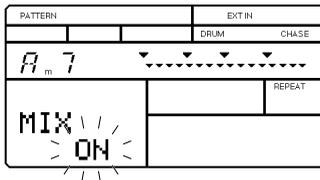
**NOTE** ギターは単音弾きで入力しますが、出力される音はハーモニーの演奏タイプを選ぶと複音で演奏され、コードの演奏タイプを選ぶと厚みのある豊かなサウンドで演奏されます。



ギターシンセサイザー機能は、ギターの単音弾きの信号を検出して発音します。複数の弦を同時に演奏すると、信号を検出できなくなります。また、単音弾きの演奏の場合も、弾き方によっては、音が途切れたり、意図しない音程で発音することがあります。

## ミックス機能 ..... 1 ページ目の画面

ミックス機能をオンにすると、接続したギターからの入力信号をRY9のパターン/ソングの演奏と一緒にRY9のOUTPUT L/R端子とPHONES端子から出力します。パターン/ソングに合わせてギターの練習をするときなど、外部のミキサーを用意する必要がないのでとても便利です。



1. ミックス機能のページを選ぶと、LCDの左側に“MIX”が表示され、その下に“ON”または“OFF”が点滅します。
2. [+1]キーを押すと、ミックス機能がON(オン)になります。  
[-1]キーを押すと、ミックス機能がOFF(オフ)になります。

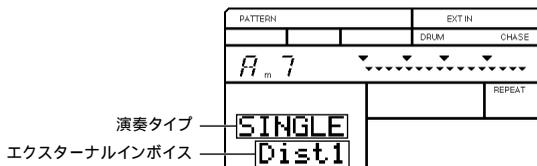
設定値：ON(ミックス機能オン)、OFF(ミックス機能オフ)

**NOTE** ギターシンセサイザー機能を使うときなど、ギター自体のサウンドをRY9から出力したくない場合は、ミックス機能をオフにします。

**NOTE** ギター自体の音量は、ギター本体のボリュームノブで調節してください。

## ギターシンセサイザー機能:エクスターナルインボイスの演奏タイプとボイスの選択 .....2 ページ目の画面

ここでは、接続したギターによってシンセサイザー演奏をする際の演奏タイプとボイスを設定します。



1. エクスターナルインボイスの演奏タイプとボイスの選択のページを選ぶと、LCDの左側に現在選ばれている演奏タイプ表示(“ SINGLE ”や“ OCTAVE ”など)が点滅し、その下に現在選ばれているエクスターナルインボイスが表示されます。
2. [+1]/[-1]キーを押して演奏タイプを選択します。

演奏タイプ :

- |                             |   |
|-----------------------------|---|
| OFF(オフ)                     | エクスターナルインボイスは演奏されません。                               |
| SINGLE(シングル)                | ギター演奏と同じ音程で単音で演奏されます。                               |
| OCTAVE(オクターブ)               | ギター演奏と同じ音程と、その音程から1オクターブ下の音程の2音で演奏されます。             |
| HARM 1/2/3<br>(ハーモニー 1/2/3) | ギター演奏と同じ音程と、現在選ばれているコード(LCDの左上に表示)に合った音程の2音で演奏されます。 |
| CHORD(コード)                  | ギターのトリガーによって、現在選ばれているコード(LCDの左上に表示)が演奏されます。         |

3. [▶]カーソルキーを押してエクスターナルインボイスにカーソルを合わせます。
4. [+1]/[-1]キーを押してエクスターナルインボイスを選択します。

エクスターナルインボイス :

50種類さまざまなノーマルボイスが用意されています。詳しくはP115の「ノーマルボイスリスト」をご覧ください。

---

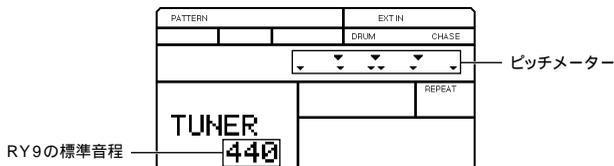
**NOTE** もう一度演奏タイプの表示にカーソルを戻すときは[◀]キーを押します。

---

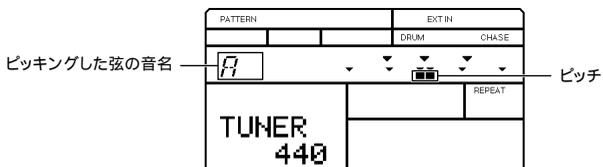
**NOTE** ミックスされるギターのサウンドやエクスターナルインボイスを録音することはできません。

---

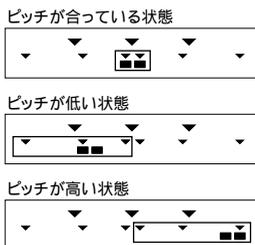
**チューナー機能** ..... 3 ページ目の画面  
 ギター信号のピッチを RY9 が自動的に感知してくれる、使いやすいギターチューナーです。



1. チューナー機能のページを選ぶと、LCDの左側に“TUNER”が表示され、その下に現在の標準音程“440”が点滅します。また、右上にはピッチメーターが表示されます。
2. 接続されたギターの開放弦を1本ピッキングします。ピッキングした弦の音名がLCDの左上に表示され、ピッチが右上のピッチメーター上に四角い2つのブロックで表示されます。



3. 四角い2つのブロックがピッチメーターのまん中にある2つの小さい の下でびったり静止するように、ギターの弦を調節します。



4. 同じように手順 2、3 の操作を繰り返し、他の弦もチューニングしていきます。

RY9 の標準音程を合わせる

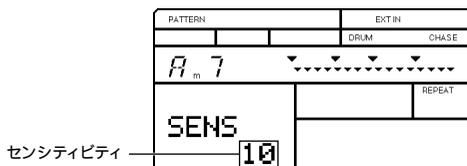
[+1]/[-1]キーを押してチューナーの標準音程を変えることができます。

設定値：440Hz ~ 445Hz(=A)

**NOTE** この標準音程の設定は RY9 のシステム全体の設定になります。

## センシティブィティ(感度)の調節 ..... 4 ページ目の画面

ギターシンセサイザー機能を使用する場合、外部ギター信号に対するエクスターナルインボイスのセンシティブィティ(感度)を調節することができます。



1. センシティブィティ調節のページを選ぶと、LCDの左側に“SENS”が表示され、その下に現在設定されているセンシティブィティ値が点滅します。
2. [+1]/[-1]キーを押してセンシティブィティを設定します。ギターで単音をピッキングしながら、最適なポイントを見つけてください。

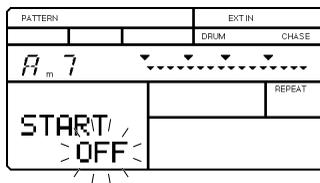
設定値：00 ~ 19

**NOTE** ギターシンセサイザー機能が正しく機能しない場合は、このセンシティブィティを調節してみてください。また、ご使用のギターによってもそれぞれ特性が異なりますので、ギター側のボリュームレベルやトーンコントロールの設定、ピックアップの設定も変えてみてください。

## リモートスタート機能 ..... 5 ページ目の画面

リモートスタート機能をオンにしておくと、ギターのピッキングと同時にパターン/ソングの演奏をスタートさせることができます。パターン/ソングに合わせてのギター練習やパフォーマンスに利用できる実用的な機能です。

1. リモートスタート機能のページを選ぶと、LCDの左側に“START”が表示され、その下に“ON”または“OFF”が点滅します。



2. [+1]キーを押すと、リモートスタート機能がON(オン)になります。  
[-1]キーを押すと、リモートスタート機能がOFF(オフ)になります。

設定値：ON(リモートスタート機能オン)、OFF(リモートスタート機能オフ)

**NOTE** リモートスタートによってパターン/ソング演奏をスタートした場合、演奏をストップするときは通常通りSTOP(ストップ)キーを押してください。

# システムモード(SYSTEM)

各モードへの入り方とモード内のページを選ぶ操作をマスターしてからお読みください。( P68)  
システムモードを選択しているときは、LCDの右上に小さく“SYSTEM”が表示されます。

**NOTE** パターン/ソングの演奏中や録音中にはシステムモードに入ることはできません。逆にシステムモードが選ばれているときは、パターン/ソングの演奏をすることはできません。

このモードにはMIDI(ミディ)に関するさまざまな機能があります。

MIDIとは「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器やコンピューターなどの間で演奏情報のやりとりを行うための世界的な規格です。

RY9はMIDI規格に対応したいろいろな機能もっていますので、他のMIDI楽器やコンピューターとMIDIケーブルで接続し、演奏情報をはじめとするさまざまな情報をやりとりすることができます。

## RY9で送受信できるMIDI情報

MIDIには演奏情報以外にいろいろな種類のMIDI情報があります。

### チャンネルメッセージ

演奏を伝えるための情報です。送信側と受信側でチャンネルを合わせる必要があります。

#### ノート情報

演奏情報の中で、RY9には以下の種類があります。

ドラムボイスとエクスターナルインボイス、ハーモニーボイス：

ノートオン / ノートオフ(送信のみ) / ピッチベンド(送信のみ)

#### プログラムチェンジ(受信のみ)

外部機器でRY9のドラムキットの切り替えを行うことができます。

### システムメッセージ

主に機器間の同期についての情報のことで、RY9には以下の種類があります。

#### エクスクルーシブメッセージ

バルクデータの送受信を行うことができます。

#### コモンメッセージ

演奏中以外のときにシステムを管理するための情報で、機器間でソングを選ぶ(ソングセレクト)ことができます。

#### リアルタイムメッセージ

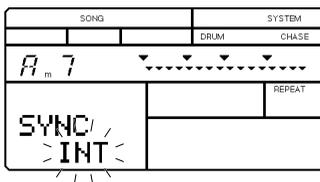
演奏の同期を管理する情報で、機器間で、演奏のタイミングを同期させたり(クロック)、演奏をスタート / ストップ / コンティニュースタートさせる(コマンド)ことができます。

#### アクティブセンシング

機器間の接続にトラブルが起きていないかどうかを監視する情報です。

## MIDI シンクの設定 ..... 1 ページ目の画面

MIDIシンクは、シーケンサーなどの外部MIDI機器とRY9を同期演奏させる機能です。外部のMIDI機器でRY9の演奏のスタート/ストップ、テンポをコントロールしたり、逆にRY9側からシーケンサーなどのスタート/ストップ、テンポをコントロールすることができます。



1. シンク機能のページを選ぶと、LCDに“ SYNC ”が表示されます。また、その下で現在のシンクの設定が点滅します。
2. [+1]/[-1]キーを押して“ MIDI”(外部MIDIクロック)または“ INT”(内部クロック)を設定します。

設定値：

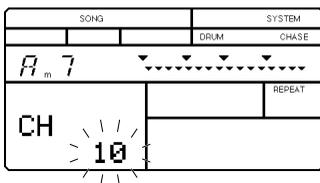
INT(RY9で外部MIDI機器の演奏のスタート/ストップ、テンポをコントロールすることができます。)  
MIDI(外部MIDI機器でRY9のスタート/ストップ、テンポをコントロールすることができます。)

**NOTE** あらかじめ接続する外部MIDI機器側でもMIDIシンクの設定を済ませてください。外部機器の操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

**NOTE** 外部MIDI機器を使用しない場合はMIDIシンクの設定を“ INT ”にしておきます。

## MIDI 送信 / 受信チャンネルの設定 ..... 2 ページ目の画面

RY9のMIDI送信/受信チャンネルと外部MIDI機器の送信/受信チャンネルを合わせることによって、外部MIDI機器からの演奏情報でRY9のドラムボイスを鳴らしたり、RY9のドラムパッドで外部MIDI音源を演奏したりすることができます。



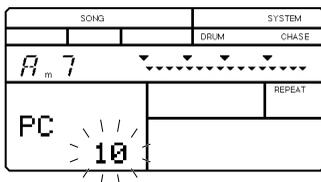
1. MIDI送信/受信チャンネル設定のページを選ぶと、LCDに“ CH ”が表示されます。また、その下で現在設定されているMIDI送信/受信チャンネルが点滅します。
2. [+1]/[-1]キーを押してMIDI送信/受信チャンネルを設定します。

設定値：01 ~ 16、OF(オフ)

**NOTE** MIDI信号を送受信しない場合は、この設定を“ OF ”にします。

## プログラムチェンジ受信チャンネルの設定 ..... 3 ページ目の画面

このチャンネルを外部 MIDI 機器のチャンネルと合わせておくことによって、外部 MIDI 機器のプログラムチェンジ情報で、RY9 のドラムキットを切り替えることができるようになります。



1. プログラムチェンジ受信チャンネル設定のページを選ぶと、LCD に “ PC ” が表示されます。また、その下で現在設定されているプログラムチェンジ受信チャンネルが点滅します。
2. [+1]/[-1]キーを押してプログラムチェンジ受信チャンネルを設定します。

設定値 : 01 ~ 16、OF(オフ)

**NOTE** プログラムチェンジ情報を受信しない場合は、この設定を “ OF ” にします。

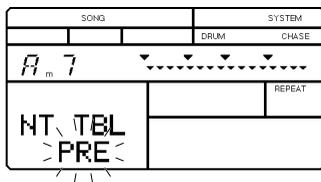
**NOTE** 各ドラムキットのプログラムチェンジナンバーについては P116 の「ドラムキットリスト」をご覧ください。

## ノートテーブルの選択 ..... 4 ページ目の画面

RY9 では、各ドラムパッドにノートナンバー(鍵盤の番号)がアサイン(割り当て)されており、このノートナンバーアサインのセットをノートテーブルと呼んでいます。

たとえば、外部 MIDI キーボードなどで RY9 のドラムボイスを演奏する場合、このノートテーブルによって発音されるボイスが決まります。RY9 にはプリセットとユーザーの 2 タイプのノートテーブルがあり、ユーザーノートテーブルには自由にノートナンバーをアサインすることができます。

ここでは使用したいノートテーブルを選ぶことができます。



1. ノートテーブル選択のページを選ぶと、LCD に “ NT TBL ” が表示されます。また、その下で現在設定されているノートテーブルが点滅します。
2. [+1]/[-1]キーを押してノートテーブルを選択します。

設定値 : PRE(プリセットノートテーブル)、USER(ユーザーノートテーブル)

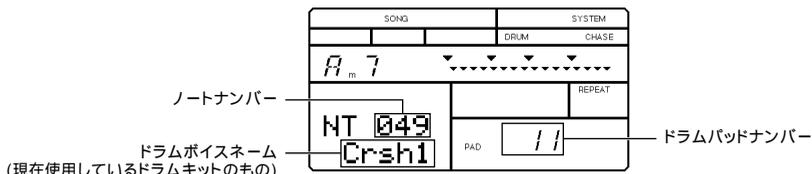
**NOTE** プリセットノートテーブルのノートナンバーアサインについては、P116 の「ドラムキットリスト」をご覧ください。

**NOTE** ノートテーブルはシステム全体に共通(1 個)です。

## ノートナンバーのアサイン(割り当て) ..... 5 ページ目の画面

ここではノートナンバーを各ドラムパッドへアサインすることができます。ここでアサインしたノートナンバーのセットがユーザーノートテーブルとなります。

ノートナンバーのアサインをするためには、このページを選ぶ前に、4 ページ目の画面(ノートテーブル選択画面)で “ USER (ユーザーノートテーブル) ” を選んでおく必要があります。



1. ノートナンバーアサインのページを選ぶと、LCDの左側に “ NT ” が表示され、その隣に現在選択されているドラムパッドに設定されているノートナンバーが点滅します。また、その下にはそのドラムパッドのボイスネームが、右側には選択されているパッドナンバーが表示されます。

**NOTE** ドラムパッドに現在アサインされているドラムボイスネームは現在使用しているドラムキットによって異なります。

2. ドラムパッドを押して、ノートナンバーをアサインしたいドラムパッドを選択します。

**NOTE** ドラムパッドは PAD BANK (パッドバンク) キーによるバンク切り替えによって、24 個 (ドラムバンク : 00 ~ 11、パーカッションバンク : 12 ~ 23) の中から好きなものを選べます。

3. [+1]/[-1] キーを押してノートナンバーを設定します。

設定値 : 000 ~ 127、OF (オフ)

4. 同じように手順 2、3 の操作を繰り返し、他のドラムパッドを選んで必要なノートナンバーを設定します。

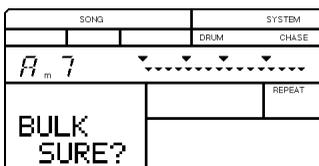
## バルクデータの送信(/受信) ..... 6 ページ目の画面

ヤマハ MIDI データファイラー MDF3 のような外部機器に、作成したオリジナルパターン / ソングやドラムキットデータを、バルクで(ひとまとめに)送信して保存することができます。また、逆に外部 MIDI 機器に保存したデータや別の RY9 のデータをバルクで読み込むことができます。

あらかじめ外部 MIDI 機器とバルクデータの送信 / 受信ができるようにセットアップしておきます。

**NOTE** 外部 MIDI 機器のセットアップについては、その機器の取扱説明書をご覧ください。

### バルクデータの送信



1. バルクデータ送信のページを選ぶと、LCDに “ BULK SURE? ” (バルクデータを送信しますか?) が表示されます。
2. ENTER (エンター) キーを押します。バルクデータが送信されます。LCDに “ BULK SEND ” (バルク送信) が表示された後、“ END ” (終了) が表示されて終了します。

## バルクデータの受信

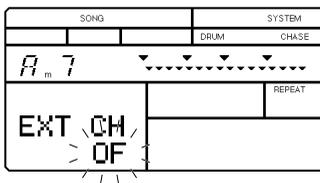
1. パターンまたはソングの選択画面(それぞれのモードのメイン画面)を選び、演奏をストップしておきます。
2. 外部 MIDI 機器からバルクデータを送信すると、RY9 は自動的にバルクデータを受信します。受信中は“RECEIV BULK”がLCDに表示されます。

**NOTE** 外部 MIDI 機器のバルクデータ送信の操作については、その機器の取扱説明書をご覧ください。

## エクスターナルインボイス送信チャンネルの設定.....7 ページ目の画面

RY9 のエクスターナルインボイス送信チャンネルと外部 MIDI 機器の受信チャンネルを合わせることによって、RY9 の EXT IN 端子に接続したギターで外部 MIDI 音源を演奏することができます。

**NOTE** 入力されたギター信号を内部的に MIDI ノート情報に変換して送信します。



1. エクスターナルインボイス送信チャンネル設定のページを選ぶと、LCDに“EXT CH”が表示されます。また、その下で現在設定されているエクスターナルイン送信チャンネルが点滅します。
2. [+1]/[-1]キーを押してエクスターナルイン送信チャンネルを設定します。

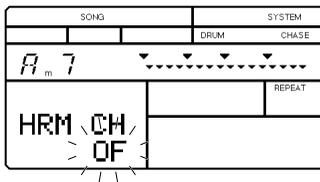
設定値：01 ~ 16、OF(オフ)

**NOTE** EXT IN 端子に接続したギターで外部 MIDI 音源を演奏しない場合は、この設定を“OF”にします。

## ハーモニーボイス送信チャンネルの設定.....8 ページ目の画面

RY9 のハーモニーボイス送信チャンネルと外部 MIDI 機器の受信チャンネルを合わせることによって、RY9 の EXT IN 端子に接続したギター演奏によるハーモニーボイス(HARM1/2/3 P99 参照)を外部 MIDI 音源で鳴らすことができます。

**NOTE** 内部的に自動検出されたハーモニーの MIDI ノート情報が送信されます。



1. ハーモニーボイス送信チャンネル設定のページを選ぶと、LCDに“HRM CH”が表示されます。また、その下で現在設定されているハーモニー送信チャンネルが点滅します。
2. [+1]/[-1]キーを押してハーモニー送信チャンネルを設定します。

設定値：01 ~ 16、OF(オフ)

**NOTE** ハーモニーの MIDI ノート情報を送信しない場合は、この設定を“OF”にします。

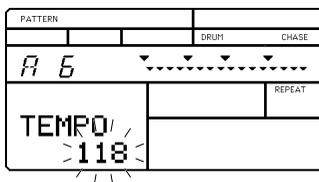
**NOTE** エクスターナルインボイス/ハーモニーボイスのピッチベンドレンジは12(±1オクターブ)です。受信する外部機器も同じ設定にしてください。

# テンポモード(TEMPO)

各モードへの入り方をマスターしてからお読みください。( P68)

このモードではパターン / ソングのテンポ(速さ)を設定します。

**NOTE** テンポは演奏中 / 停止中に問わず、いつでも設定することができます。



## テンポの設定

1. テンポを設定したいパターンまたはソングを選択した後、このテンポモードに入ります。LCDに“ TEMPO ”が表示され、現在のテンポが点滅します。
2. [+1]/[-1]キーを押して、好きなテンポを設定します。

設定値 : 40 ~ 250

**NOTE** プリセットのパターン / ソングはそれぞれ固有のテンポ(初期テンポ)を持っています。したがってここでの設定は一時的なものであり、他のパターン / ソングを選んだ時点で元の初期テンポに戻ってしまいます。また、ユーザーパターン / ソングの場合は、ここで設定したものがそれぞれの初期テンポとなります。

**NOTE** RY9のMIDIクロックが“ MIDI ”にセットされている場合、LCDには“ --- ”が表示され、テンポを設定することはできません。MIDIクロックについてはP103をご覧ください。



# バランスモード(BALANCE)

各モードへの入り方とモード内のページを選ぶ操作をマスターしてからお読みください。( P 68)

このモードではバックングを構成するベース、コード1、コード2、エクスターナルインボイスおよびそのハーモニーボイスの出力レベルを個別に調節することができます。

音を聞きながら音量バランスをとることができるので、自分好みのバックングサウンドを簡単に作り出すことができます。

---

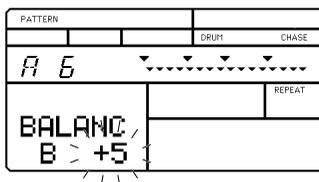
**NOTE** バランスの設定はすべてのバックングに共通して機能します。

---

---

**NOTE** バランスは演奏中 / 停止中に問わず、いつでも設定することができます。

---



## バランスの設定

1. バランスを設定したい構成音のページを選びます。LCDに“BALANC”が表示されます。また、その下に現在選ばれている構成音(B=ベース、C1=コード1、C2=コード2、EXT=エクスターナルインボイス、HRM=ハーモニーボイス)が表示され、その隣で現在の音量バランスが点滅します。
2. [+1]キーを押すごとに音量バランスが高くなります。  
[-1]キーを押すごとに音量バランスが低くなります。

設定値：

各ページごとに  
-7(最小) ~ +7(最大)

---

**NOTE** ミックス機能をオンにした時のギター自体の音量バランスは、ギター本体のボリュームノブで調節してください。

---

# トランスポーズモード(TRANSPOSE)

各モードへの入り方をマスターしてからお読みください。( P68)

このモードではバックイングの構成音全体(コード 1、コード 2、ベース)に半音単位でトランスポーズを設定することができます。

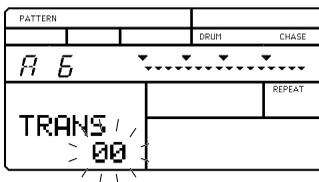
---

**NOTE** トランスポーズの設定はすべてのバックイングに共通して機能します。

---

**NOTE** トランスポーズは演奏中 / 停止中に開わりなく、いつでも設定することができます。

---



## トランスポーズの設定

1. トランスポーズモードを選択すると、LCDに“TRANS”が表示されます。また、その下で現在のトランスポーズ値が点滅します。
2. [-1]/[+1]キーを押して、トランスポーズの値を設定します。

設定値 : -12(1 オクターブ下) ~ 00(元の音程) ~ +12(1 オクターブ上)

---

**NOTE** EXT INに接続したギターによって鳴らされているボイスは、ここで設定されたトランスポーズの影響を受けません。

---

# 資料編

## LCD ディスプレイメッセージ

BACKUP ERROR	乾電池が切れている(またはセットされていない)状態で、RY9の電源スイッチをオンにすると表示されます。メモリーが初期化(工場出荷時の状態)され、すべてのユーザーデータは失われます。RY9では乾電池が入っている場合、または電源アダプターが接続されている場合、メモリーのバックアップが行われます。
BATT LOW	使用中の乾電池が消耗すると表示されます。速やかに乾電池 6 本すべてを新しいものと交換してください。
BUFFER FULL	RY9 に入ってくる MIDI データの量が、RY9 の処理能力を越えたときに表示されます。RY9 に不要なデータはなるべく送らないようにしてください。
BULK SEND	MIDI バルクデータを外部機器へ送信しているときに表示されます。
DATA ERROR	RY9 に MIDI で送られてきたバルクデータが RY9 で処理できないデータだったことを示しています。相手の機種やデータの種類を確認してください。
END	指定された作業が終了したときに表示されます。
MEMORY FULL	RY9 のメモリー残量が足りないとき、これ以上入力できないことを示しています。余分なパターンやソングのデータを削除してください。
MIDI ERR 1	MIDI 受信時にオーバーランエラーが発生したときに表示されます。双方の機器の設定やケーブルの接続などを確認してください。
MIDI ERR 2	MIDI 受信時にフレーミングエラーが発生したときに表示されます。双方の機器の設定やケーブルの接続などを確認してください。
NOT EMPTY	データの入っているパターンのメーターを変更しようとしたときに表示されます。パターンをクリアしてから、もう一度操作を行ってください。
PART EMPTY	ソングモードでデータが入っていないパートを選択し、デリートやインサートを実行しようとしたときに表示されます。
PRESET	プリセットのパターン、ソング、ドラムキットのパラメーターを変更しようすると表示されます。
RECEIV BULK	MIDI バルクデータを外部機器から受信しているときに表示されます。
TIME OVER	バルクデータが途中でしか受信されず、アクティブセンシングが途切れたときに表示されます。
TS NOT MATCH	コピー元とは異なる拍子のパターンへコピーしようとしたときに表示されます。

## 故障かなと思ったら

症状	考えられる原因
電源が入らない。	電源アダプターが完全に差し込まれていますか？(電源アダプター未セット時) 乾電池は入っていますか？ 乾電池の向きはあっていますか？
音が出ない。	ボリュームスライダーは上がっていますか？ボリュームスライダーは OUTPUT L/R 端子、PHONES 端子からの出力を調節します。 外部機器は正しく接続されていますか？また、外部機器のボリュームは上がっていますか？ ドラムパッドのボリュームレベルが 0 になっていませんか？( P94) バックキングの音量バランスが下がっていませんか？( P109) バックキングがミュートされていませんか？( P108) データが入っていないパターンやソングを選んでいませんか？
音が歪む。	RY9 に接続したスピーカーやケーブルは良好ですか？外部機器とケーブルをチェックしてください。 RY9 のボリュームレベルが大き過ぎませんか？RY9 を外部機器と接続して使用している場合、RY9 のボリュームレベルを上げ過ぎると、サウンド機器の入力に負荷がかかり過ぎて音が歪むことがあります。適当な音量に調整してください。
パッドの音が出ててもパターンやソングの演奏ができない。	現在システムモードを選んでいませんか？システムモードを選んでいるときは、パターンやソングの演奏はできません。 MIDI シンクの設定が “ MIDI ” になっていませんか？RY9 を外部 MIDI 機器のクロックに同期させない場合は、MIDI シンクを “ INT ” に設定してください。( P103)
システムモードに入れない。	パターンレコードモード(またはソングレコードモード)の状態ではありませんか？REC キーを押してパターンプレイモード(ソングプレイモード)に戻り、それからシステムモードを選んでください。
メーターを設定できない。	録音済みのパターンを選んでいませんか？一度録音されたユーザーパターンのメーターを変更することはできません。パターンをクリアした後、もう一度試してください。
音程がおかしい。	トランスポーズがかかっていませんか？トランスポーズ値を標準音程に戻してください。( P110)
音が途切れる。	全体の発音数が、最大同時発音数の 28 音を越えていますか？( P91)
EXT IN に接続したギターの音が鳴らない。	接続したギター自体のボリュームが下がっていませんか？ ミックス機能はオンになっていますか？( P98)
エクスターナルインボイスが鳴らない。または変な音で鳴る。	演奏タイプ(シングル、ハーモニーなど)をオフにしていますか？( P99) ギターを単音で弾いていますか？RY9 のギターシンセサイザー機能は、ギターの単音弾きの信号を検出して発音します。複数の弦を同時に演奏すると、信号を検出できなくなります。 センシティビティがうまく調節されていますか？センシティビティの調節 ( P101) と同時に、お使いのギターのボリューム、トーンコントロール、ピッキングアップの設定も調節してみてください。
RY9 が MIDI コントロールに反応しない。	RY9 の MIDI チャンネルは外部 MIDI 機器の MIDI チャンネルと合っていますか？MIDI 送信 / 受信チャンネル( P103)、プログラムチェンジ受信チャンネル( P104)、エクスターナルインボイス送信チャンネル( P106)、ハーモニーボイス送信チャンネル( P106) の 4 つのチャンネル設定をチェックしてください。

## 仕様

音源	方式：AWM（アドバンスドウェーブメモリー） 同時発音数：28音 音色数：128 ドラムボイス、50 ノーマルボイス
パターン	パターンプレイ(パターン：200プリセット、50ユーザー；200バックイング；スイング、クリア、コピー)、パターンレコード(メーター)、分解能(レコード：4分音符/8；プレイ：4分音符/24)
ソング	ソングプレイ(ソング：50プリセット、50ユーザー；リピート、チェーン、クリア、コピー)、ソングレコード(パート、メジャー、パターン、デリート、インサート、コードセレクト)
ドラムキット	ドラムキット(12プリセット、4ユーザー)、キットセレクト、パッドアサイン、パッドレベル、アクセント、パン、チューン、コピー、チェイス；12ドラムパッド、2パッドバンク(ドラム、パーカッション)
エクスターナルイン	ミックス、演奏タイプ/ボイス(6演奏タイプ、50ボイス)、ギターチューナー、センシティブティ、スタート
システム	MIDIシンク、MIDIチャンネル、MIDIプログラムチェンジ受信チャンネル、ノートテーブル/ノートナンバー、バルクデータ送信/受信、エクスターナルインボイス送信チャンネル、ハーモニーボイス送信チャンネル
テンポ	40 ~ 250
ミュート	ベース、コード1、コード2
バランス	ベース、コード1、コード2、エクスターナルイン、ハーモニー
トランスポーズ	-12 ~ +12(半音単位)
コントロール	RECキー、TOPキー、BWDキー、STOPキー、PLAYキー、FWDキー、ACCENTキー、MODEキー、DELETEキー、AUDITIONキー、CHORDキー、PAD BANKキー、ドラムパッド×12、ENTERキー、[-1]/[+1]キー、[◀]/[▶]キー、VOLUMEスライダー、ON/STANDBYスイッチ、LCDスクリーン
接続端子	OUT PUT 端子 (L/MONO、R)、MIDI 端子(IN、OUT)、EXT IN 端子、DC IN 端子、PHONES 端子
電源	単3乾電池×6、または電源アダプター(別売 PA-3B：12V700mA)
消費電力	3.5W
出力インピーダンス	ライン：1kΩ；ヘッドフォン：47Ω
外形寸法	188(W)×104(D)×33(H)mm
重量	360g(乾電池を除く本体のみ)
付属品	取扱説明書、保証書、マンガン乾電池単3×6本

・仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。



RY9は50パターン/ソングまでメモリーできるように設計されていますが、メモリー容量を越えて入力することはできません。したがって、メモリー使用量の多いパターン/ソングを入力すると、パターン/ソングに空きナンバーが多数あっても、録音できない場合があります。ご了承ください。

## ドラムボイスリスト

NO.	LCD表示	ドラムボイスネーム
1	KDry1	BD Dry 1
2	KDry2	BD Dry 2
3	KDry3	BD Dry 3
4	KRom1	BD Room 1
5	KRom2	BD Room 2
6	KRom3	BD Room 3
7	KAmbi	BD Ambience
8	KHard	BD Hard
9	KHevy	BD Heavy
10	KGate	BD Gate
11	KLof1	BD Lo-fi 1
12	KLof2	BD Lo-fi 2
13	KAna1	BD Analog 1
14	KAna2	BD Analog 2
15	SMid1	SD Middle 1
16	SMid2	SD Middle 2
17	SMid3	SD Middle 3
18	SHi1	SD High 1
19	SHi2	SD High 2
20	SHi3	SD High 3
21	SDeep	SD Deep
22	STite	SD Tight
23	SHrd1	SD Hard 1
24	SHrd2	SD Hard 2
25	SAmb1	SD Ambience 1
26	SAmb2	SD Ambience 2
27	SPwr1	SD Power 1
28	SPwr2	SD Power 2
29	SLo1	SD Lo-fi 1
30	SLo2	SD Lo-fi 2
31	SLo3	SD Lo-fi 3
32	SLo4	SD Lo-fi 4
33	SAna1	SD Analog 1
34	SAna2	SD Analog 2
35	BrTap	Brush Tap
36	BrSlp	Brush Slap
37	BrSw1	Brush Swirl 1
38	BrSw2	Brush Swirl 2
39	Rim 1	Side Stick Rim 1
40	Rim 2	Side Stick Rim 2
41	RimAn	Analog Rim
42	HCl1	Hi-Hat Closed 1
43	HCl2	Hi-Hat Closed 2

NO.	LCD表示	ドラムボイスネーム
44	HQtrO	Hi-Hat Quarter Open
45	HOpen	Hi-Hat Open
46	HPedl	Hi-Hat Pedal
47	HCA1	HH Analog Closed 1
48	HCA2	HH Analog Closed 2
49	HOAna	HH Analog Open
50	Ride1	Ride Cymbal 1
51	Ride2	Ride Cymbal 2
52	RdCup	Ride Cymbal Cup
53	Crsh1	Crash Cymbal 1
54	Crsh2	Crash Cymbal 2
55	Splsh	Splash Cymbal
56	TDry1	Tom Dry 1
57	TDry2	Tom Dry 2
58	TDry3	Tom Dry 3
59	TDry4	Tom Dry 4
60	TDry5	Tom Dry 5
61	TDry6	Tom Dry 6
62	TAmb1	Tom Ambience 1
63	TAmb2	Tom Ambience 2
64	TAmb3	Tom Ambience 3
65	TAmb4	Tom Ambience 4
66	TAmb5	Tom Ambience 5
67	TAmb6	Tom Ambience 6
68	TSft1	Tom Soft 1
69	TSft2	Tom Soft 2
70	TSft3	Tom Soft 3
71	TSft4	Tom Soft 4
72	TSft5	Tom Soft 5
73	TSft6	Tom Soft 6
74	TBr1	Tom Brush 1
75	TBr2	Tom Brush 2
76	TBr3	Tom Brush 3
77	TBr4	Tom Brush 4
78	TBr5	Tom Brush 5
79	TBr6	Tom Brush 6
80	TAna1	Tom Analog 1
81	TAna2	Tom Analog 2
82	TAna3	Tom Analog 3
83	TAna4	Tom Analog 4
84	TAna5	Tom Analog 5
85	TAna6	Tom Analog 6
86	BongH	Bongo H

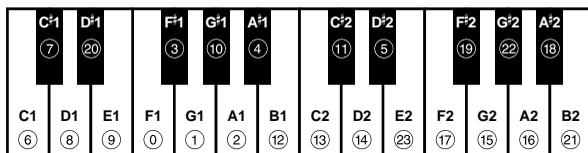
NO.	LCD表示	ドラムボイスネーム
87	BongL	Bongo L
88	CongH	Conga H
89	CongM	Conga Mute
90	CongL	Conga L
91	TmbIH	Timbale H
92	TmbIL	Timbale L
93	Tmbrn	Tambourine
94	Marac	Maracas
95	Cabas	Cabasa
96	Shakr	Shaker
97	GuirS	Guiro S
98	GuirL	Guiro L
99	Cowbl	Cowbell
100	AgogH	High Agogo
101	AgogL	Low Agogo
102	TriM	Triangle Mute
103	TriO	Triangle Open
104	Clave	Claves
105	WdBH	Wood Block H
106	WdBIL	Wood Block L
107	WhsS	Samba Whistle S
108	WhsL	Samba Whistle L
109	Clap	Handclap
110	AnCow	Analog Cowbell
111	AnCgH	Analog Conga H
112	AnCgM	Analog Conga M
113	AnCgL	Analog Conga L
114	AnClv	Analog Claves
115	HighQ	High Q
116	ScrH	Scratch H
117	ScrL	Scratch L
118	BaSlid	Bass Slide
119	GtScr	Guitar Scrape
120	Cunt1	Count One
121	Cunt2	Count Two
122	Cunt3	Count Three
123	Cunt4	Count Four
124	Stick	Sticks
125	MtroB	Metronome Bell
126	MtroC	Metronome Click
127	ClckH	Click H
128	ClckL	Click L

## ノーマルボイスリスト

NO.	LCD 表示	ノーマルボイスネーム
1	Piano	Grand Piano
2	ChoPf	Chorus Piano
3	A&EP1	Aco.& El.Piano 1
4	A&EP2	Aco.& El.Piano 2
5	EPho1	Electric Piano 1
6	EPho2	Electric Piano 2
7	EPho3	Electric Piano 3
8	Clavi	Clavi
9	Vibes	Vibraphone
10	Organ	Electric Organ
11	AcGtr	Acoustic Guitar
12	ClGt1	Clean Guitar 1
13	ClGt2	Clean Guitar 2
14	MtGt1	Muted Guitar 1
15	MtGt2	Muted Guitar 2
16	OdGt1	Overdriven Guitar 1
17	OdGt2	Overdriven Guitar 2
18	Dist1	Distortion Guitar 1
19	MtDst	Muted Distortion
20	Dist2	Distortion Guitar 2
21	AcBas	Acoustic Bass
22	FgBa1	Finger Bass 1
23	FgBa2	Finger Bass 2
24	FgBa3	Finger Bass 3
25	PcBas	Pick Bass

NO.	LCD 表示	ノーマルボイスネーム
26	SlBas	Slap Bass
27	OG&Ba	Overdriven Gtr & Bass
28	DG&Ba	Distortion Gtr & Bass
29	SyBa1	Synth Bass 1
30	SyBa2	Synth Bass 2
31	SyBa3	Synth Bass 3
32	Strg1	Strings 1
33	Strg2	Strings 2
34	SySt1	Synth Strings 1
35	SySt2	Synth Strings 2
36	Bras1	Brass Section 1
37	Bras2	Brass Section 2
38	SyBrs	Synth Brass
39	Sax	Tenor Sax
40	BrsHt	Brass Hit
41	SyLd1	Synth Lead 1
42	SyLd2	Synth Lead 2
43	SyLd3	Synth Lead 3
44	SyLd4	Synth Lead 4
45	SyPd1	Synth Pad 1
46	SyPd2	Synth Pad 2
47	SyPd3	Synth Pad 3
48	SyFx1	Synth FX 1
49	SyFx2	Synth FX 2
50	SyFx3	Synth FX 3

# ドラムキットリスト



ノートナンバー/ノート ドラムパッドバンク(ドラムパッドナンバー0~11)

41 / F1	43 / G1	45 / A1	42 / F <sup>1</sup>	46 / A <sup>1</sup>	51 / D <sup>2</sup>
0	1	2	3	4	5
36 / C1	37 / C <sup>1</sup>	38 / D1	40 / E1	44 / G <sup>1</sup>	49 / C <sup>2</sup>
6	7	8	9	10	11

パーカッションパッドバンク(ドラムパッドナンバー12~23)

47 / B1	48 / C2	50 / D2	55 / G2	57 / A2	53 / F2
12	13	14	15	16	17
58 / A <sup>2</sup>	54 / F <sup>2</sup>	39 / D <sup>1</sup>	59 / B2	56 / G <sup>2</sup>	52 / E2
18	19	20	21	22	23

## プリセットドラムキットナンバー/ドラムキットネーム

└ ドラムキットナンバー/プログラムチェンジナンバー

### 0. Stand(ard) (スタンダード)

ドラムパッドバンク

TDry3	TDry4	TDry5	HCIs1	HOpen	Ride2
KDry3	KDry1	SMid3	SMid2	HCIs2	Crsh2

パーカッションパッドバンク

CongM	CongH	CongL	BongH	BongL	RdCup
BaSld	Cowbl	SMid1	Marac	Tmbrn	Crsh1

### 1. Dry (ドライ)

ドラムパッドバンク

TSft2	TSft3	TSft4	HCIs1	HQtrO	Ride2
KRom2	KRom1	S Hi3	S Hi2	HCIs2	Crsh2

パーカッションパッドバンク

CongM	CongH	CongL	BongH	BongL	RdCup
BaSld	Cowbl	S Hi1	Marac	Tmbrn	Splsh

### 2. Bal(l)ad (バラード)

ドラムパッドバンク

TSft3	TSft4	TSft5	HCIs1	HOpen	Ride2
KDry2	KDry1	SDeep	Rim 2	HCIs2	Crsh2

パーカッションパッドバンク

CongM	CongH	CongL	BongH	BongL	RdCup
BaSld	Cowbl	SMid1	Marac	Tmbrn	Crsh1

### 3. Rock1 (ロック1)

ドラムパッドバンク

TDry4	TDry5	TDry6	HCIs2	HOpen	Ride2
KRom3	KRom1	SHrd2	SHrd1	HQtrO	Crsh2

パーカッションパッドバンク

CongM	CongH	CongL	Cowbl	Splsh	RdCup
BaSld	GiScr	SMid1	Stick	Tmbrn	Crsh1

### 4. Rock2 (ロック2)

ドラムパッドバンク

TAmb4	TAmb5	TAmb6	HCIs2	HOpen	Ride2
KHard	KRom3	SAmb2	SAmb1	HQtrO	Crsh2

パーカッションパッドバンク

TAmb1	TAmb2	TAmb3	Cowbl	Splsh	RdCup
BaSld	GiScr	SPwr1	Stick	Tmbrn	Crsh1

### 5. Power (パワー)

ドラムパッドバンク

TAmb4	TAmb5	TAmb6	HCIs2	HOpen	Ride2
KHevy	KGate	SPwr2	SPwr1	HQtrO	Crsh2

パーカッションパッドバンク

TAmb1	TAmb2	TAmb3	Cowbl	Splsh	RdCup
BaSld	GiScr	SAmb1	Stick	Tmbrn	Crsh1

## 6. HipH(o)p (ヒップホップ)

ドラムパッドバンク

TSft3	TSft4	TSft6	HCIs2	HOpen	Ride2
KLof2	KLof1	SLoF1	SLoF4	HQtrO	Crsh2

パーカッションパッドバンク

CongM	CongH	CongL	ScrH	ScrL	RdCup
HighQ	Clap	SLoF2	SLoF3	Tmbrn	Crsh1

## 7. Anal(o)g (アナログ)

ドラムパッドバンク

TAna1	TAna3	TAna4	HCA1	HOAna	Ride2
KAna2	KAna1	SAna2	SAna1	HCA2	Crsh2

パーカッションパッドバンク

AnCgH	AnCgM	AnCgL	ScrH	ScrL	AnCow
HighQ	AnClv	RimAn	Clap	Tmbrn	Splsh

## 8. Jazz (ジャズ)

ドラムパッドバンク

TSft2	TSft3	TSft4	HCIs1	HOpen	Ride2
KRom2	KRom1	S Hi1	Rim 1	HPedl	Crsh2

パーカッションパッドバンク

CongM	CongH	CongL	BongH	BongL	RdCup
Shakr	Cowbl	SMid3	Marac	Tmbrn	Splsh

## 9. Brush (ブラッシュ)

ドラムパッドバンク

TBrS2	TBrS3	TBrS4	HCIs1	HOpen	Ride2
KRom2	KRom1	BrSlp	BrSw2	HPedl	Crsh2

パーカッションパッドバンク

CongM	CongH	CongL	BongH	BongL	RdCup
Shakr	Cowbl	BrTap	BrSw1	Tmbrn	Splsh

## 10. Latin (ラテン)

ドラムパッドバンク

BongH	BongL	Cabas	AgogH	AgogL	Ride2
KRom2	KRom1	TmbIH	TmbIL	Marac	Crsh2

パーカッションパッドバンク

CongM	CongH	CongL	GuirS	GuirL	WhsIS
Shakr	Cowbl	Rim 1	Clave	Tmbrn	WhsIL

## 11. Click (クリック)

ドラムパッドバンク

Cunt1	Cunt2	Cunt3	Cunt4	MtroB	MtroC
Cunt1	Cunt2	Cunt3	Cunt4	MtroB	MtroC

パーカッションパッドバンク

ClckH	ClckL	AgogH	AgogL	Cowbl	Stick
ClckH	ClckL	AgogH	AgogL	Cowbl	Stick

## ユーザードラムキットナンバー/ドラムキットネーム

## 12. User00 (ユーザー-00)

ドラムパッドバンク


パーカッションパッドバンク


## 13. User01 (ユーザー-01)

ドラムパッドバンク


パーカッションパッドバンク


## 14. User02 (ユーザー-02)

ドラムパッドバンク


パーカッションパッドバンク


## 15. User03 (ユーザー-03)

ドラムパッドバンク


パーカッションパッドバンク


# パターンリスト

## Rock(ロック)

パターン番号	LCD表示	スタイルネーム	セクション
0	Rck1A	Rock 1	8-beat Rock 1
1	Rck1B		Main B
2	Rck1C		Fill AB
3	Rck1D		Fill BA
4	Rck2A	Rock 2	8-beat Rock 2
5	Rck2B		Main B
6	Rck2C		Fill AB
7	Rck2D		Fill BA
8	Rck3A	Rock 3	Slow 8-beat Rock 1
9	Rck3B		Main B
10	Rck3C		Fill AB
11	Rck3D		Fill BA
12	Rck4A	Rock 4	Slow 8-beat Rock 2
13	Rck4B		Main B
14	Rck4C		Fill AB
15	Rck4D		Fill BA
16	Rck5A	Rock 5	LA Rock
17	Rck5B		Main B
18	Rck5C		Fill AB
19	Rck5D		Fill BA
20	Rck6A	Rock 6	New Wave
21	Rck6B		Main B
22	Rck6C		Fill AB
23	Rck6D		Fill BA
24	Rck7A	Rock 7	Pop Rock
25	Rck7B		Main B
26	Rck7C		Fill AB
27	Rck7D		Fill BA
28	Rck8A	Rock 8	Funk Rock
29	Rck8B		Main B
30	Rck8C		Fill AB
31	Rck8D		Fill BA
32	Rck9A	Rock 9	Rock Boogie
33	Rck9B		Main B
34	Rck9C		Fill AB
35	Rck9D		Fill BA

## Hard Rock(ハードロック)

パターン番号	LCD表示	スタイルネーム	セクション
36	HRk1A	Hard Rock 1	American Hard Rock 1
37	HRk1B		Main B
38	HRk1C		Fill AB
39	HRk1D		Fill BA
40	HRk2A	Hard Rock 2	American Hard Rock 2
41	HRk2B		Main B
42	HRk2C		Fill AB
43	HRk2D		Fill BA
44	HRk3A	Hard Rock 3	American Hard Rock 3
45	HRk3B		Main B
46	HRk3C		Fill AB
47	HRk3D		Fill BA
48	HRk4A	Hard Rock 4	Hardcore 1
49	HRk4B		Main B
50	HRk4C		Fill AB
51	HRk4D		Fill BA

パターン番号	LCD表示	スタイルネーム	セクション
52	HRk5A	Hard Rock 5	Hardcore 2
53	HRk5B		Main B
54	HRk5C		Fill AB
55	HRk5D		Fill BA
56	HRk6A	Hard Rock 6	Hard Rock Shuffle
57	HRk6B		Main B
58	HRk6C		Fill AB
59	HRk6D		Fill BA
60	HRk7A	Hard Rock 7	Speed Metal
61	HRk7B		Main B
62	HRk7C		Fill AB
63	HRk7D		Fill BA
64	HRk8A	Hard Rock 8	Digital Hard Rock
65	HRk8B		Main B
66	HRk8C		Fill AB
67	HRk8D		Fill BA

## Vintage Rock(ビンテージロック)

パターン番号	LCD表示	スタイルネーム	セクション
68	VRk1A	Vintage Rock 1	60's Hard Rock 1
69	VRk1B		Main B
70	VRk1C		Fill AB
71	VRk1D		Fill BA
72	VRk2A	Vintage Rock 2	60's Hard Rock 2
73	VRk2B		Main B
74	VRk2C		Fill AB
75	VRk2D		Fill BA
76	VRk3A	Vintage Rock 3	70's Rock
77	VRk3B		Main B
78	VRk3C		Fill AB
79	VRk3D		Fill BA
80	VRk4A	Vintage Rock 4	70's Rock&Roll
81	VRk4B		Main B
82	VRk4C		Fill AB
83	VRk4D		Fill BA
84	VRk5A	Vintage Rock 5	70's Hard Rock
85	VRk5B		Main B
86	VRk5C		Fill AB
87	VRk5D		Fill BA
88	VRk6A	Vintage Rock 6	Progressive Hard
89	VRk6B		Main B
90	VRk6C		Fill AB
91	VRk6D		Fill BA
92	VRk7A	Vintage Rock 7	Rock Latin
93	VRk7B		Main B
94	VRk7C		Fill AB
95	VRk7D		Fill BA
96	VRk8A	Vintage Rock 8	Reggae
97	VRk8B		Main B
98	VRk8C		Fill AB
99	VRk8D		Fill BA

## Ballad(バラード)

パターンナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
100	Bld1A	Ballad 1	Hard Rock Ballad
101	Bld1B		Main B
102	Bld1C		Fill AB
103	Bld1D		Fill BA
104	Bld2A	Ballad 2	Organ Ballad
105	Bld2B		Main B
106	Bld2C		Fill AB
107	Bld2D		Fill BA
108	Bld3A	Ballad 3	Unplugged
109	Bld3B		Main B
110	Bld3C		Fill AB
111	Bld3D		Fill BA
112	Bld4A	Ballad 4	Piano Ballad
113	Bld4B		Main B
114	Bld4C		Fill AB
115	Bld4D		Fill BA

## Blues(ブルース)

パターンナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
116	Bls1A	Blues 1	Rhythm & Blues
117	Bls1B		Main B
118	Bls1C		Fill AB
119	Bls1D		Fill BA
120	Bls2A	Blues 2	Blues Shuffle 1
121	Bls2B		Main B
122	Bls2C		Fill AB
123	Bls2D		Fill BA
124	Bls3A	Blues 3	Blues Shuffle 2
125	Bls3B		Main B
126	Bls3C		Fill AB
127	Bls3D		Fill BA
128	Bls4A	Blues 4	Slow Blues
129	Bls4B		Main B
130	Bls4C		Fill AB
131	Bls4D		Fill BA

## Rock&Roll(ロックンロール)

パターンナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
132	R&R1A	Rock&Roll 1	Twist
133	R&R1B		Main B
134	R&R1C		Fill AB
135	R&R1D		Fill BA
136	R&R2A	Rock&Roll 2	Liverpool
137	R&R2B		Main B
138	R&R2C		Fill AB
139	R&R2D		Fill BA
140	R&R3A	Rock&Roll 3	Surf Rock
141	R&R3B		Main B
142	R&R3C		Fill AB
143	R&R3D		Fill BA

## Dance(ダンス)

パターンナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
144	Hip A	Hip Hop	Hip Hop Soul
145	Hip B		Main B
146	Hip C		Fill AB
147	Hip D		Fill BA
148	HousA	House	Pop House
149	HousB		Main B
150	HousC		Fill AB
151	HousD		Fill BA

## Jazz / Fusion(ジャズ/フュージョン)

パターンナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
152	Fsn1A	Fusion 1	Funk Fusion
153	Fsn1B		Main B
154	Fsn1C		Fill AB
155	Fsn1D		Fill BA
156	Fsn2A	Fusion 2	Pop Fusion
157	Fsn2B		Main B
158	Fsn2C		Fill AB
159	Fsn2D		Fill BA
160	Fsn3A	Fusion 3	Rock Fusion
161	Fsn3B		Main B
162	Fsn3C		Fill AB
163	Fsn3D		Fill BA
164	Fsn4A	Fusion 4	Jazz Funk
165	Fsn4B		Main B
166	Fsn4C		Fill AB
167	Fsn4D		Fill BA
168	Jaz1A	Jazz 1	Jazz Ballad
169	Jaz1B		Main B
170	Jaz1C		Fill AB
171	Jaz1D		Fill BA
172	Jaz2A	Jazz 2	Jazz Blues
173	Jaz2B		Main B
174	Jaz2C		Fill AB
175	Jaz2D		Fill BA
176	Jaz3A	Jazz 3	Bebop
177	Jaz3B		Main B
178	Jaz3C		Fill AB
179	Jaz3D		Fill BA

## Latin(ラテン)

パターンナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
180	SlsaA	Salsa	Salsa / Mambo
181	SlsaB		Main B
182	SlsaC		Fill AB
183	SlsaD		Fill BA
184	BosaA	Bossa	Medium Bossa
185	BosaB		Main B
186	BosaC		Fill AB
187	BosaD		Fill BA
188	SmbaA	Samba	Samba / Songo
189	SmbaB		Main B
190	SmbaC		Fill AB
191	SmbaD		Fill BA

## Beat(ビート)

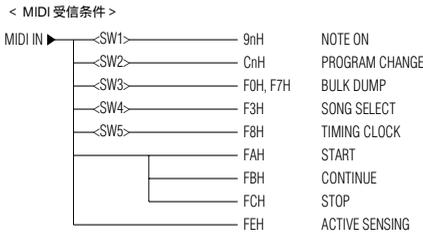
パターンナンバー	LCD表示	スタイルネーム	セクション
192	BeatA	Beat	Drum Pattern Variaton
193	BeatB		8-beat
194	BeatC		8-beat Shuffle
195	BeatD		16-beat
196	BeatE		Triplet
197	ClickA	Click	Click Variation
198	ClickB		Count
199	ClickC		Metronome
200	ClickD		Agogo
201	ClickE		Sticks

**NOTE** パターンナンバー 192 ~ 199 のパターンにはバックキック(ベース、コード)は含まれていません。

# MIDI データフォーマット

## MIDI 受信

### ブロック図



- <SW1> 送受信チャンネル
- <SW2> プログラムチェンジ受信チャンネル
- <SW3> パターン、ソングセレクトモード
- <SW4> ソングブレイモード
- <SW5> M I D I シンク時

### 受信データ詳細

#### 1. システムリアルタイムメッセージ

TIMING CLOCK	11111000	(F8H)
START	11111010	(FAH)
CONTINUE	11111011	(FBH)
STOP	11111100	(FCH)
ACTIVE SENSING	11111110	(FEH)

#### 2. チャネルメッセージ

- 1) NOTE ON
 

STATUS	1001nnnn	(9nH)	n=0-15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk		k=0(C-2)-127(G8)
VELOCITY	0vvvvvv		NOTE ON v=1-127
- 2) PROGRAM CHANGE
 

STATUS	1100nnnn	(CnH)	n=0-15 VOICE CHANNEL NUMBER
PROGRAM NUMBER	0ppppppp		p=0-15

\* プログラムチェンジを受信した時、本機はキットナンバーを対応する番号に変更する。

#### 3. システム共通メッセージ

- 1) SONG SELECT
 

STATUS	11110011	(F3H)	
SONG NUMBER	00ssssss		s=0-99

\* ソングブレイモード時に受信する

#### 4. システムエクスクルーシブメッセージ

BULK DUMP			
0	11110000	(F0H)	
1	01000011	(43H)	
2	00000000	(00H)	Device Number (00H 固定)
3	01111110	(7EH)	
4	00000100	(04H)	Byte count MSB
5	00001010	(0AH)	Byte count LSB
6	01001100	(4CH)	"L"
7	01001101	(4DH)	"M"
8	00100000	(20H)	" "
9	00100000	(20H)	" "
10	00110000	(30H)	"0"
11	00110002	(31H)	"2"
12	00110100	(35H)	"0"
13	00110011	(33H)	"3"
14	01000001	(41H)	"A"
15	01001100	(4CH)	"L"
16	0ddddd		Data
:	:		
17	0sssssss		Check sum
:	:		
18	11110111	(F7H)	EOX

\* バルクの受信は、パターンセレクトモード、ソングセレクトモードの時のみ有効である。

\* Byte count から Check sum までを 1 ブロックとし、複数のブロックを繰返し転送する。

\* Data は、1byte を MSB 4bit と LSB 4bit に分け、それぞれアスキーデータに変換して転送する。

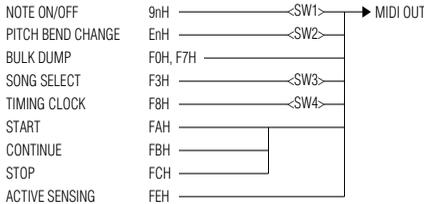
\* Data には、以下のものが含まれる。

- システムデータ
- MIDI セットアップデータ
- キットデータ
- パターンデータ
- ソングデータ

## MIDI 送信

### ブロック図

< MIDI 送信条件 >



<SW1> 送信チャンネル

<SW2> 送信チャンネル

<SW3> ソングプレイモード時送信

<SW4> インターナルシンク時送信

### 送信データ詳細

#### 1. システムリアルタイムメッセージ

TIMING CLOCK	11111000	(F8H)
START	11111010	(FAH)
CONTINUE	11111011	(FBH)
STOP	11111100	(FCH)
ACTIVE SENSING	11111110	(FEH)

#### 2. チャネルメッセージ

##### 1) NOTE ON/OFF

STATUS	1001nnnn	(9nH)	n=0-15 VOICE CHANNEL NUMBER
NOTE NUMBER	0kkkkkkk		k=0(C-2)-127(G8)
	0vvvvvvv		NOTE ON v=1-127
	00000000		NOTE OFF

##### 2) PITCH BEND CHANGE

STATUS	1110nnnn	(EnH)	n=0-15 EXTERNA LIN / HARMONEY CHANNEL NUMBER
LSB	0lllllll		l=0-127
MSB	0hhhhhhh		h=0-127

#### 3. システムコメントメッセージ

##### 1) SONG SELECT

STATUS	11110011	(F3H)
SONG NUMBER	00ssssss	s=0-99

\* ソングセレクトモード時にソングを選択した時に送信する

#### 4. システムエクスクルーシブメッセージ

\* バルクの送信は、MIDIモードのバルク ファンクションを実効した時に行われる。

##### 1) BULK DUMP

送信内容は、受信条件の「システムエクスクルーシブメッセージ」を参照。

# MIDI インプリメンテーションチャート

Date: 10. Apr. 1999  
Version: 1.00

YAMAHA [Rhythm Programmer] / Model: RY9

Function	Transmit	Receive	Remarks
Basic Channel Default Changed	1-16 1-16	1-16 1-16	
Mode Default Messages Altered	3 X *****	3 X X	
Note Number True Voice	0-127 *****	0-127 X	
Velocity Note ON Note OFF	○ 9nH, v=1-127 ○ 9nH, v=0	○ 9nH, v=1-127 X	
After Touch Key's Ch's	X X	X X	
Pitch Bend	○	X	
Control Change	X	X	

<b>Program Change</b>	<b>Range</b>	X *****	○ 0-15	kit select
<b>System Exclusive</b>		○	○	song data etc
<b>System Common</b>	Song Position Song Select Tune	X ○ 0-99 X	X ○ 0-99 X	
<b>System Real Time</b>	Clock Commands	○ ○	○ ○	
<b>Aux Messages</b>	Local ON/OFF All Notes OFF Active Sense Reset	X X ○ X	X X ○ X	
<b>Notes</b>				

Mode 1 : OMNI ON, POLY  
Mode 3 : OMNI OFF, POLY

Mode 2 : OMNI ON, MONO  
Mode 4 : OMNI OFF, MONO

○ : YES  
X : NO



## ユーザーサポートサービスのご案内

ヤマハデジタル商品は、常に新技術/高機能を搭載し技術革新を進める一方、お使いになる方々の負担とわずらわしさを軽減できるような商品づくりを進めております。また取扱説明書の記載内容も、よりわかりやすく使いやすいものにするため、研究/改善いたしております。

しかし、一部高機能デジタル商品では、取扱説明書だけでは説明しきれないほどのいろいろな知識や経験が必要とってしまうものがあります。

実際の操作に関して、基本項目は取扱説明書に解説いたしておりますが、「記載内容が理解できない」、「手順通りに動作しない」、「記載が見つからない」といったさまざまな問題が起こる場合があります。

そのようなお客様への一助となるよう、弊社ではデジタルインフォメーションセンターを開設いたしております。お気軽にご利用いただきますようご案内申し上げます。

お問い合わせの際には、「製品名」、「製造番号」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」をお知らせください。

### ヤマハ デジタル インフォメーションセンター

TEL : 053-460-1666  
受付日 : 月曜日～金曜日(祝日および当社の休業日を除く)  
受付時間 : 10:00～12:00 / 13:00～17:00

### デジタル楽器に関するお問い合わせ窓口

EM北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6113
EM仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10	TEL (022) 222-6147
EM東京営業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5476
EM関東営業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-5447
EM名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL (052) 201-5199
EM大阪営業所	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館	TEL (06) 6252-5231
EM広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル	TEL (082) 244-3749
EM九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2130

#### 電子楽器事業部

営業部 〒430-8650 浜松市中沢町10-1 TEL (053) 460-2432

所在地・電話番号などは変更されることがあります。

ホームページ	<a href="http://www.yamaha.co.jp/">http://www.yamaha.co.jp/</a>		
ニフティサーブ	「GO FMIDIVA」コマンドでFMIDIVAに入ると、ヤマハデジタル楽器およびDTM製品のフォーラムがございます。		
電子会議室	#16	ヤマハ Synth & CBX 情報ボード	
	#17	ヤマハ Synth & CBX ユーザーズカフェ	
	#18	ヤマハ Synth & CBX 相談室	
データライブラリー	#8	ヤマハ / デジタル CBX	

## 保証とアフターサービス

サービスの依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

### 保証書

本機には保証書がついています。

保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

### 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

#### 消耗部品の例

ボリュームコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

### 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

### 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

### 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目 1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL (044) 434-3100
浜松サービスセンター	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 6877-5262
四国サービスセンター	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL (087) 822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社]			
カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-1158

— 四角い憎いあんちくしょう —

# RY9 STORY

RY9 ストーリー

ヤマハ株式会社

